魔法少女消耗戦線 another record
ちいさきものたちのゆめ
デジタルラフ原画集

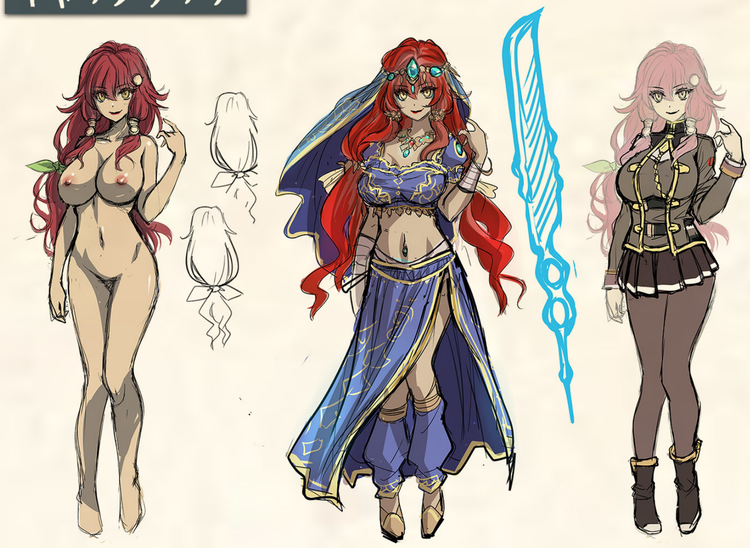


このファイルには
『魔法少女消耗戦線 another record –ちいさきものたちのゆめ–』
に含まれるキャラクターイラストのほぼすべてのラフや落描きが
含まれています。
ネタバレだらけなので、できればプレイ後に開いてください。

キャラクター：アリシャ1

01/キャラデザ

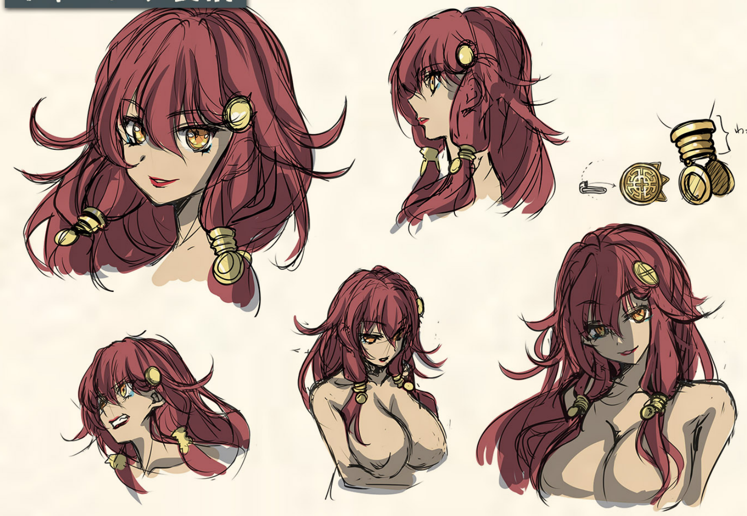
キャラデザラフ



前作では、死んだ後のC.C化状態でしか登場しないという不幸キャラのアリシャ。
とはいえ、デザインだけはありましたので、それをほぼそのまま持ってきています。

インド系、踊り子風装備、というのも丸谷さんの設定から。

キャラデザ表情



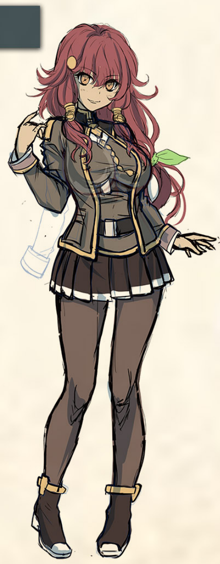
年上のお姉さん系のイメージでしたが、本編の絵を描いてるうちに、みのり達と同じ雰囲気になっていました。
シナリオでもそれほど年上イメージではなかったので、まあよかったかと。

02/個別・立ち絵デザイン

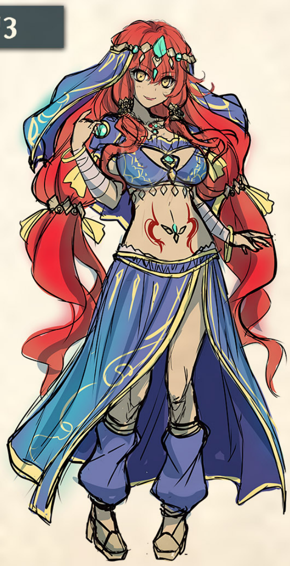
個別1



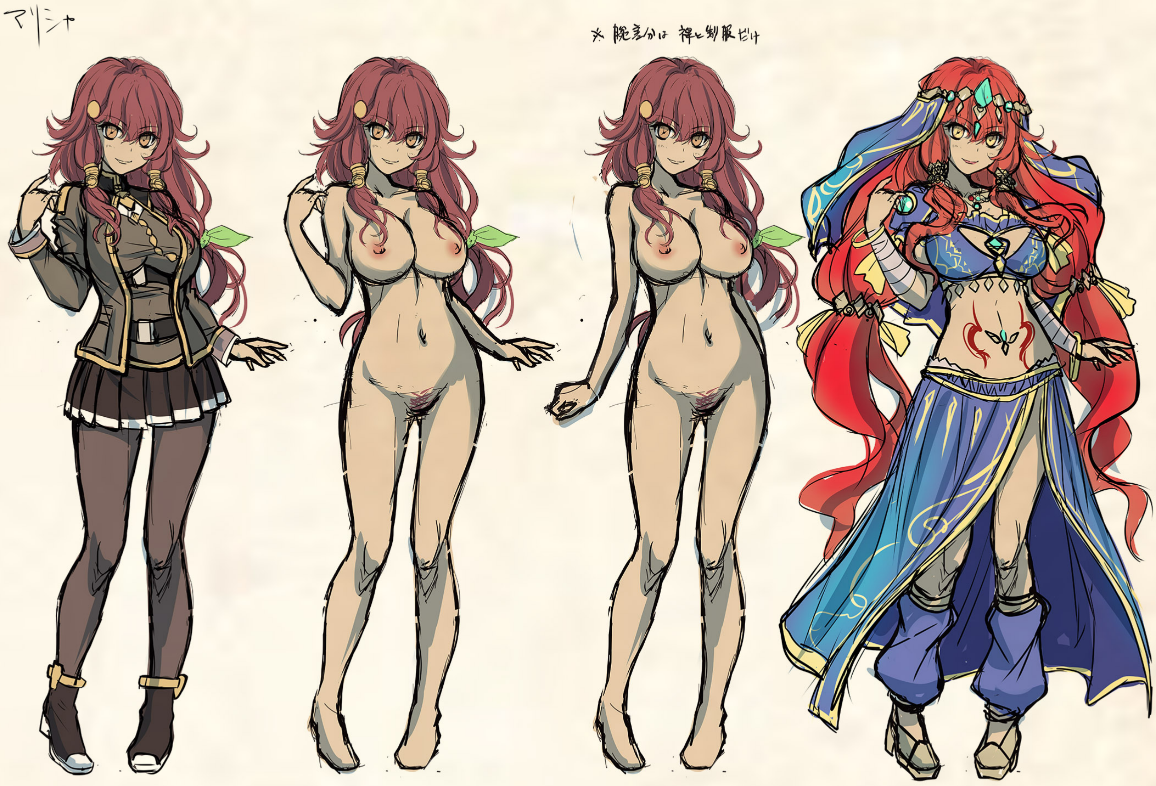
個別2



個別3



立ち絵デザイン



03/立ち絵ラフ

立ち絵ラフ1



立ち絵ラフ2



立ち絵ラフ3



04/CCアリシャ

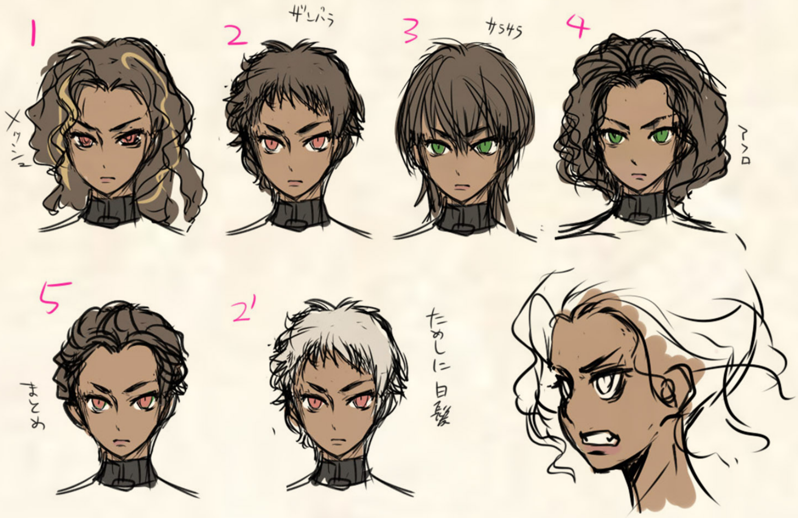


CCアリシャ →

既存のＣＣ状態絵がかなり雑なゾンビ状態でしたので、
今回メインキャラ昇格に合わせてリファインしました。
前作の人気投票で描いた、人間の状態を残したものが
ベースになっています。

キャラクター：キバキ1

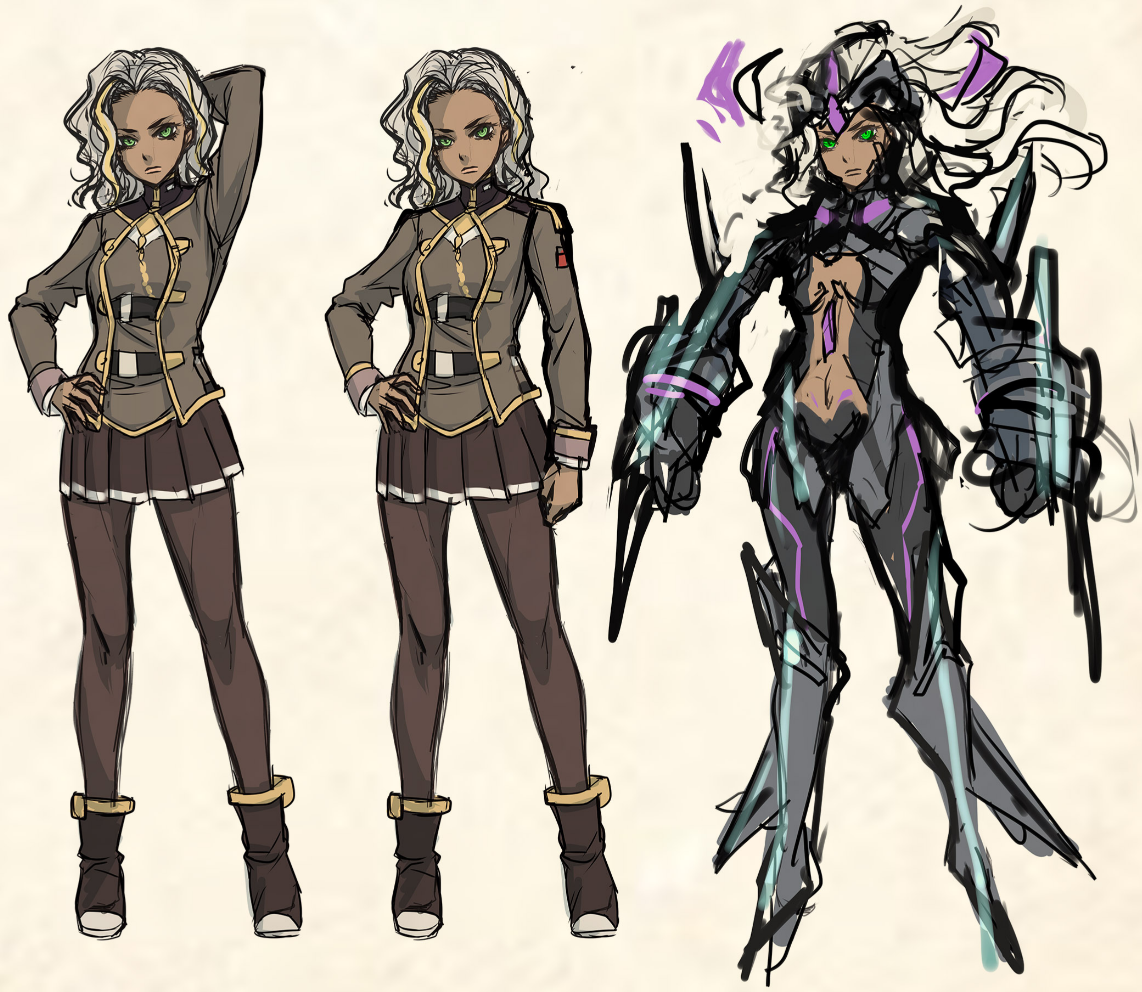
01/キャラデザラフ



サブキャラですが、今回立ち絵を追加する、ということでデザインを。
カッコいい姉御肌の黒人、という感じのシルエット案から、選んでもらいました。

02/立ち絵デザイン

立ち絵デザイン1



今見ると、もうちょっとガタイ良くしてもよかったかな。
特殊戦技兵装は、魔法少女…ではもはやないですね（笑）
パワードスーツ系との事でしたのでその方向で。パイルバンカーはロマン。

キャラクター：キバキ２

立ち絵デザイン2



シルバー系のこちらが確定デザイン。
ここから立ち絵にする際に、少し整理しています。

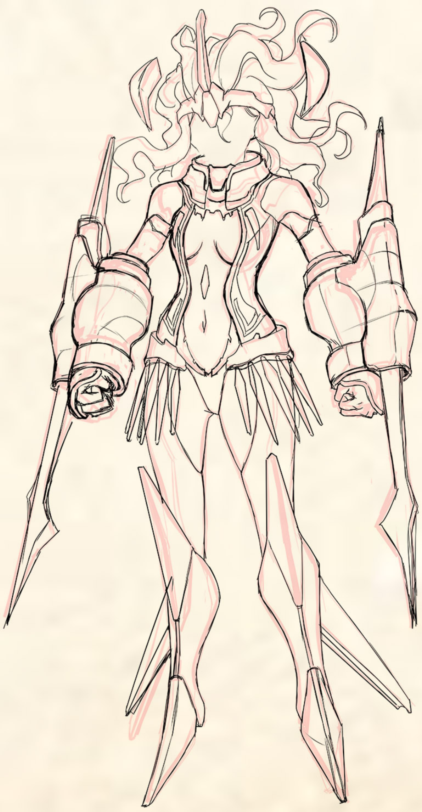
「どうせ立ち絵でしか描かないものだから」と勢いでごちゃごちゃさせてたら、まさかあと数回描くことになろうとは……

03/立ち絵ラフ

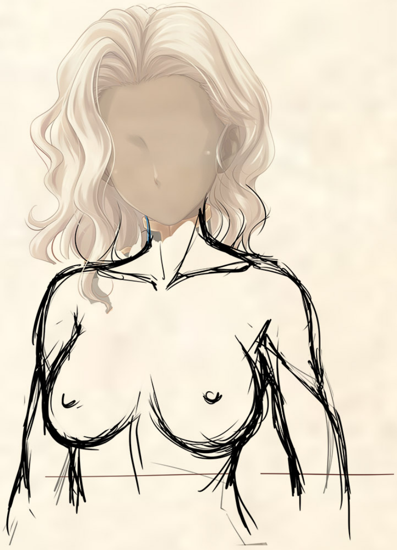
立ち絵ラフ1



立ち絵ラフ2



04/裸ラフ

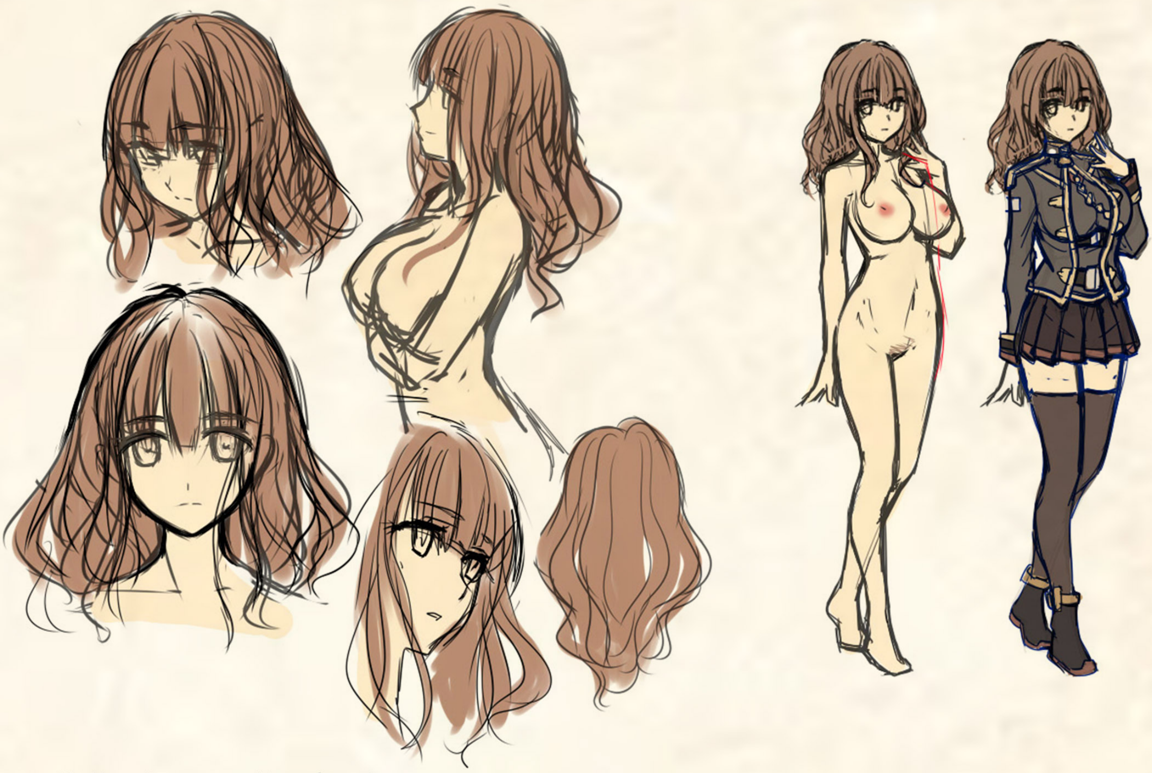


裸ラフ　↑

「ちいさきものたちのゆめ」のラストで、みんなが裸になるシーン用。
想定外でしたが、必要な部分だけをバタバタと追加。

キャラクター：キルケ（過去）

01/キャラデザラフ



「續・月軌道会戦」での若いキルケ。
前作特典の「月軌道会戦」では、シナリオがキルケ視点なのをいいことに立ち絵を用意しなかったのですが、今回はそうもいかないので用意。
絶望的な不人気っぷりが可哀相でしたので、「月軌道～」の時の想定より少し幼い＆可愛い系にしてみました。ただしバストは据え置き。
はたして今回はどう思われるでしょうか。

02/立ち絵ラフ

立ち絵ラフ1

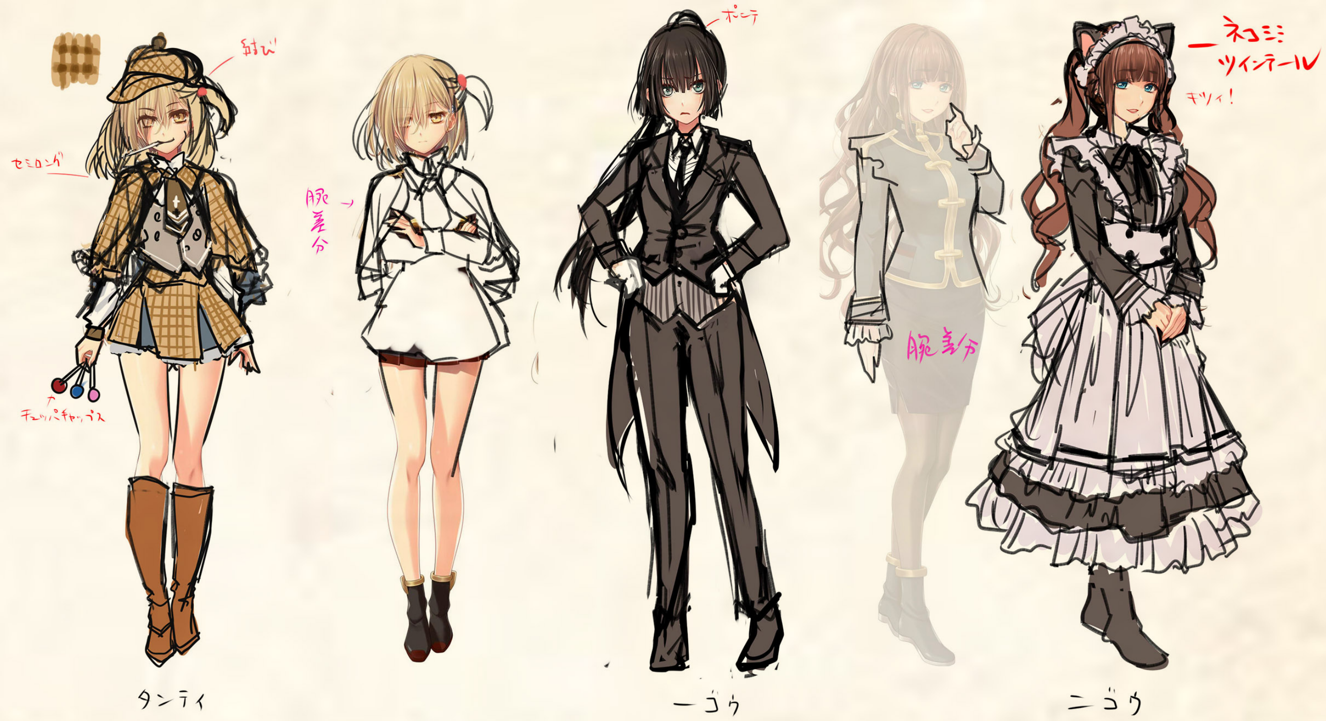


立ち絵ラフ2



キャラクター：探偵物語1

01/衣装デザインラフ



「名探偵は事件を捜査しない」専用の、先輩組の衣装差分です。
リゼットが探偵というのは決まってました。
コメディということなので、キルケはあえてきつめの猫耳メイド服。
残雪は…思いつかなかったので、こいつもメイド服かなあと思っていたら、丸谷さんから執事はという意見がでたのでバトラー残雪に。

02/立ち絵ラフ

リゼット探偵1



リゼット探偵2



「犯人はお前だ！」的な感じの差分を作ろうかと思ってましたが、すっかり忘れてました。
というか、
そんなシーンあったっけ……？

キャラクター：探偵物語２

キルケメイド



残雪執事



03/男キャラ



既存の男も可能な範囲で差分を作ろうか、ということで、カロリー低めなもののみ。
どうして統合軍制服なのかというのは気になるんですけど、さすがに服はね……

水着ラフ

みのり水着ラフ



七虹水着ラフ



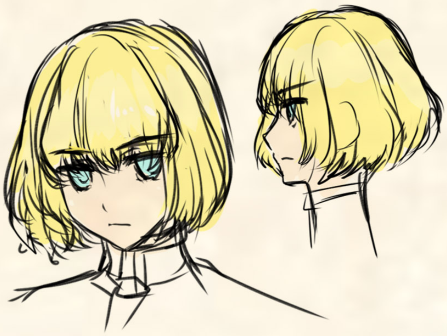
イリューシャ水着ラフ



「Re:バケーション」専用の、メイン３人組の衣装差分です。
散々ネタにされていたイリューシャの紐水着ですが、ようやく３人とも身に着けることが出来ました。
個人的には、もうちょっと布増やした方が可愛いんじゃないの？とも思いますが……

キャラクター：その他モブ１

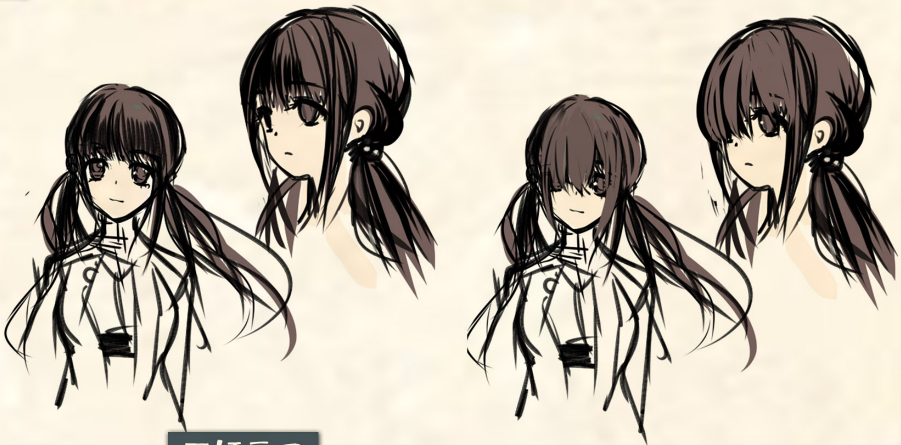
01/アビゲイル



アビゲイルラフ

イベント絵で登場する、
アリシャのチームメイト。
プライド高い貴族出身、
というイメージで。

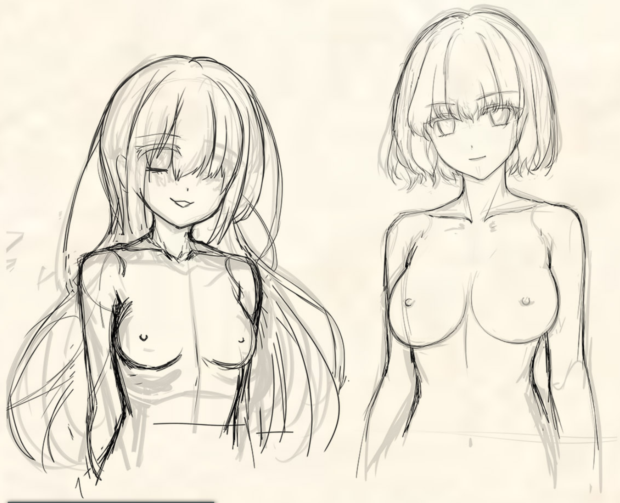
02/万姫



万姫ラフ

こちらもアビゲイルと一緒に登場するルームメイト。
前髪を長くして目がみえないくらいがいいのでは、
という案は朝妻Ｄより。イイネ。

03/アビゲイル&万姫 裸



裸立ち絵　↑

先のキバキ同様、「ちいさきものたちのゆめ」
ラストで登場する２人の裸立ち絵差分。
いや、もともと立ち絵なんかないんですが！！（笑）

04/量産型デザイン

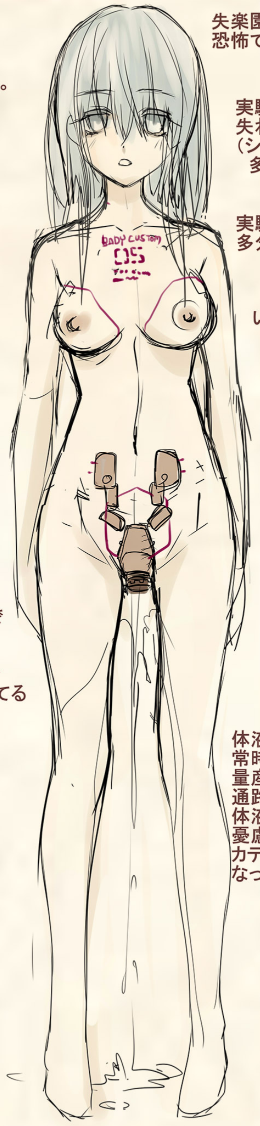


量産型デザイン　→

「続・月軌道会戦]で登場する、残雪の後輩の桐桐ちゃん。
可愛い元気状態と消耗状態の差を出すために、前半の絵も
いるだろうということで、これも急遽追加。
天真爛漫な感じにしてみました。

キャラクター：その他モブ２

05/量産型システム案



← 量産型システム案

魔法少女になった後の消耗自失状態になった
桐桐デザイン。
適当なアイデアが書き散らかしてあります。

06/量産型裸



量産型裸 ↑

まさかの量産型にまで裸が！という
「ちいさきものたちのゆめ」ラストの裸立ち絵差分。
ああいう時は、身にまとったものが無くなって、
結果髪の毛も下ろし髪になるのはよいですね。
(余談ですが、リゼットだけは髪留めがのこっています……さすがに用意できなかったので見なかったことにする…)

07/ミツコデザイン



ミツコデザイン ↑

間に合いそうだったので、リソース締め
土壇場でねじ込みました。どうかなー

キャラクター：戦闘用カットイン

戦闘用カットイン

01アリシャ



02キバキ



03アビゲイル



04万姫



05キルケ

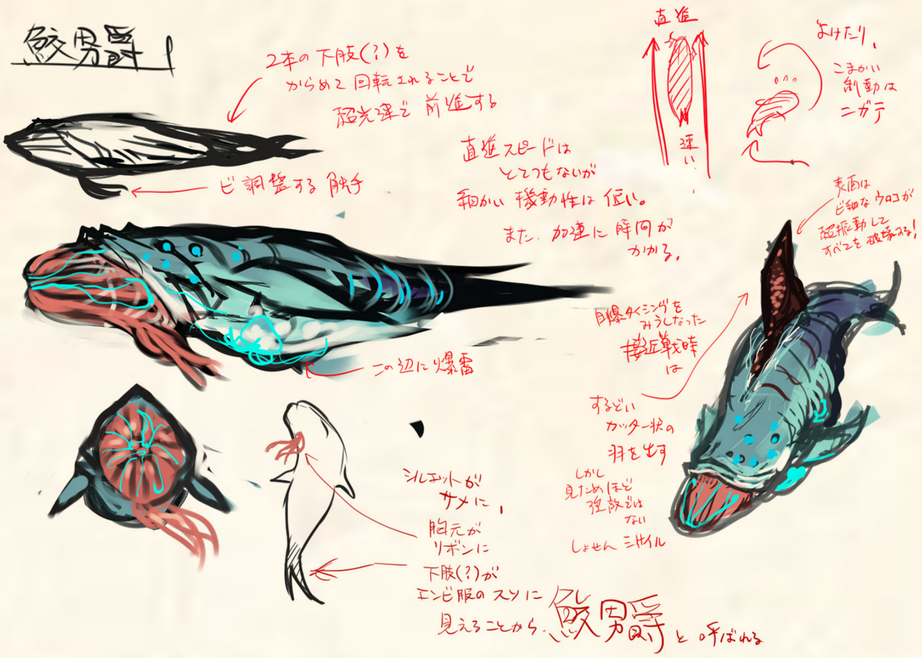


戦闘シーン用のカットインです。

アリシャとキバキは制作予定があったんですが、
アビーと万姫は完全に必要に迫られて。
キルケは、どう考えてもないと間が持たなかった。

アビーと万姫の特殊戦技兵姿が見られるのは
ここでだけ！

01/鮫男爵デザイン



今回のニューフェイスＣ．Ｃ。前作でも名前だけは出てくるんですが、今回ついにレギュラー入り出来ました。
クリーチャー好きとしては、Ｃ．Ｃをもうちょっと描きたかったです。

02/イリューシャアイドル服



「奈落」で、過去のイリューシャが着ているアイドル衣装。

元々の自分の衣装が具現化して特殊戦技兵装備になった、ということなら同じ絵使いまわせるだろ、って話でしたが

・髪の色が違う
・明らかに不思議な力が働いている部分
　（スコープとか）
・ビットとかのごつい兵装

といった複数の修正点があり、全然楽でありませんでした。

キャラクター：その他２

03/キルケ裸



[ちいさきものたちのゆめ]ラストではキルケも裸になる、ということで頭を抱えていたのですが、そこで気が付きました。
前作、魔女化したキルケの立ち絵を描きかけて、結局使ってない！
…ということで無事流用成功。
角？耳？を取っ払って、やばげな表情を安らかなものに書き換えればあら不思議。浄化されたキルケさん。
髪の毛のわらわら度が強めなのは気にしない。

なお、修正は全て仕上と同時に行ったので、このラフは魔女状態のものです。

04/みのりアイマスク



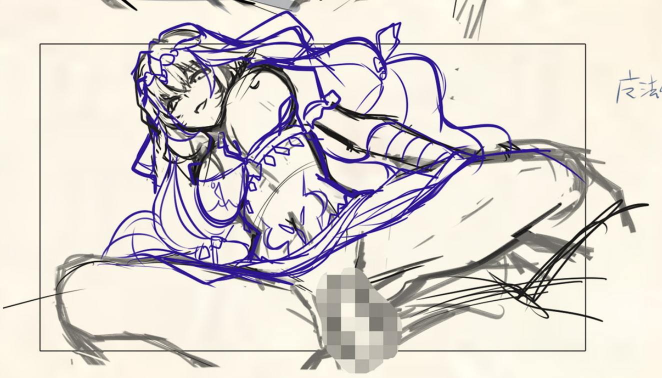
[Re:バケーション]のスクリプトチェックしてたら、みのりがアイマスクを付けられてて、でも絵としてはそれが反映されてないのが気になったため追加。
その時にでっちあげた確認ラフ案。

なお、完成品は違うデザインになってます。

イベントCG：男に乗っているアリシャ

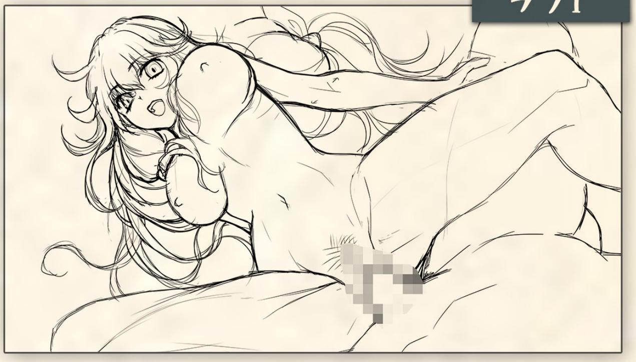
01/コンテ



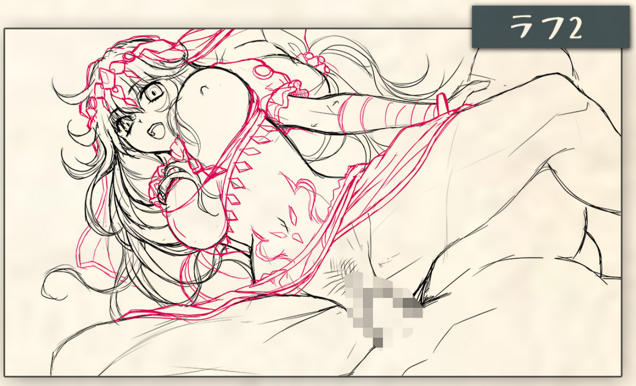


02/ラフ

ラフ1

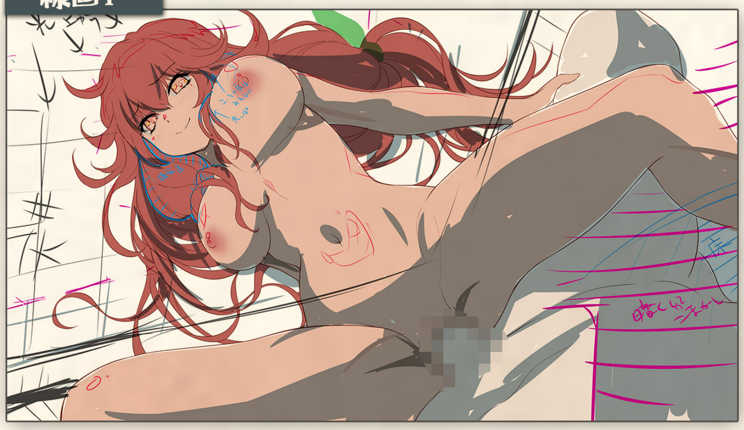


ラフ2



03/線画

線画1



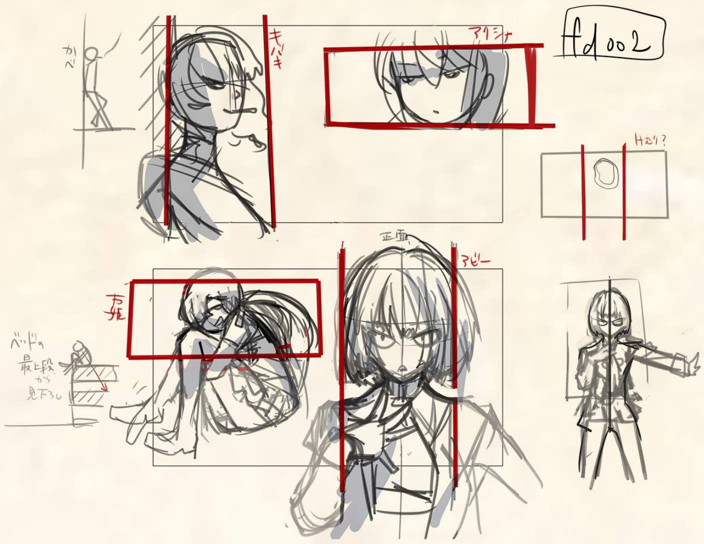
線画2



[アリシャ・オラオンは死んだ]の
メインヒロイン、アリシャの絵。
アリシャというキャラを一目で表せる感じの
アダルトシーン、ということで、
まあ女性上位なオーソドックスな絵です。
前作ではあまりなかったタイプです。

イベントCG：アリシャ、キバキ、アビゲイル、万姫の会話カットイン

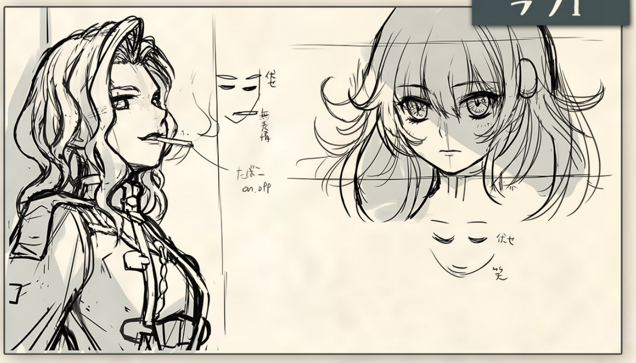
01/コンテ



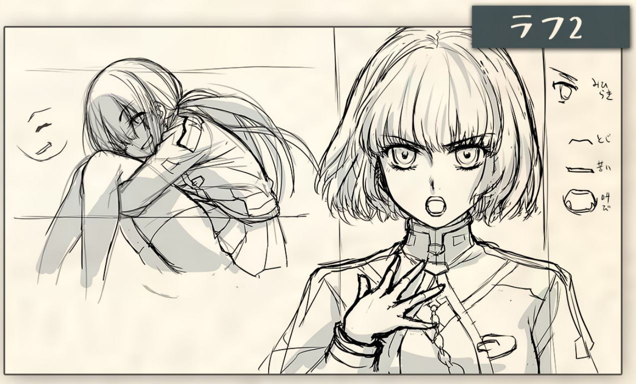
かなり初期の作業なのに、
すでにコンテがポンチ絵になってる…何故…

02/ラフ

ラフ1

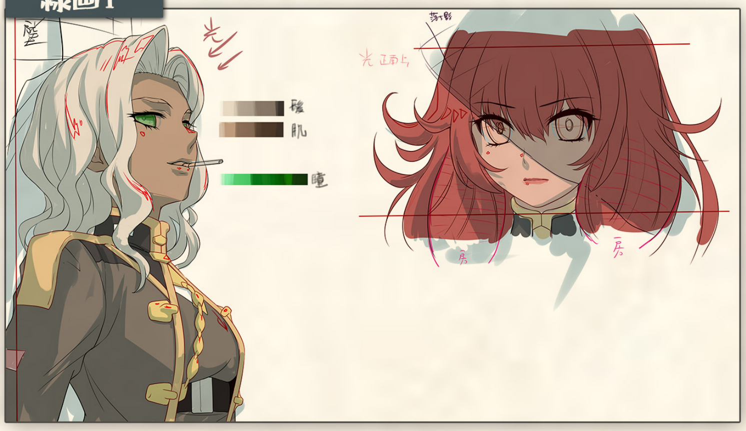


ラフ2

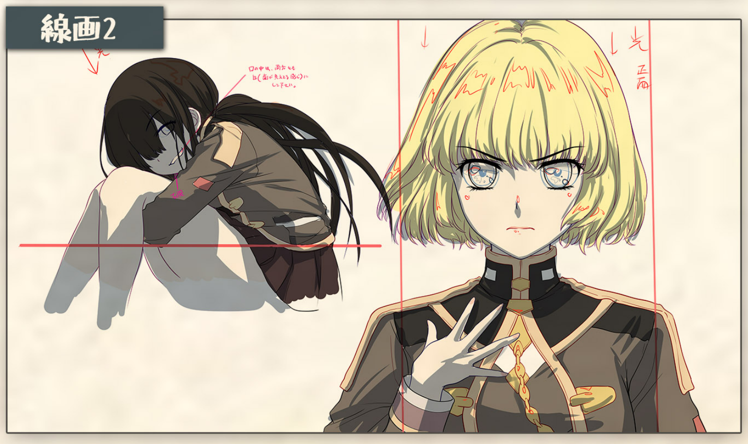


03/線画

線画1



線画2



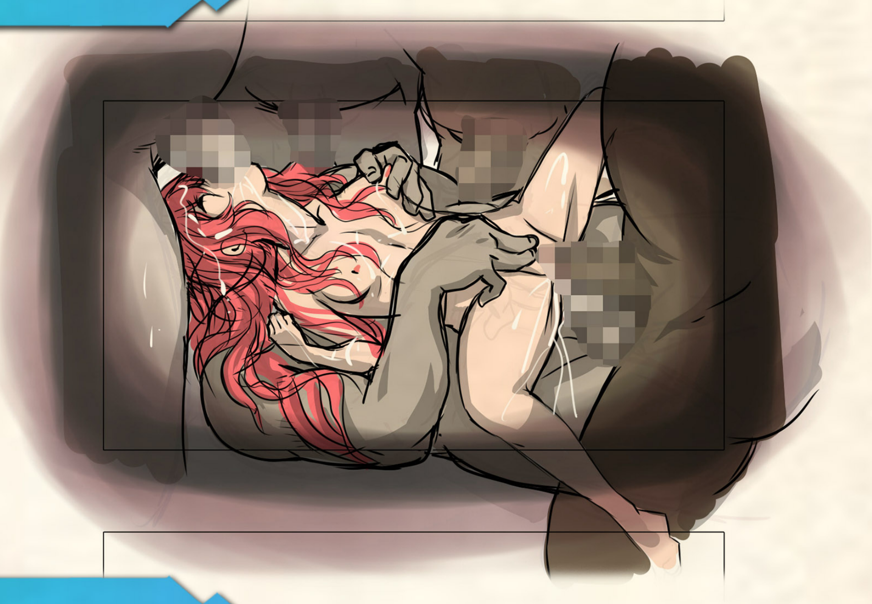
[アリシャ・オラオンは死んだ]は、モブキャラが多いです。
もともとモブだった人たちの話なので仕方ないですが。
当然立ち絵もない人たちなので、なんとかそれをフォローするための絵。

元は、アリシャとキバキの喫煙会話シーンの予定でしたが、いろいろあって（忘れた）
ルームメイト２人もいれた会話用カットインに。
アリシャが自室でルームメイトと会話するあたりは、アビゲイルと万姫の絵がないとちょっと辛いと思うので、こういう形でもあった方がいいのかと思います。

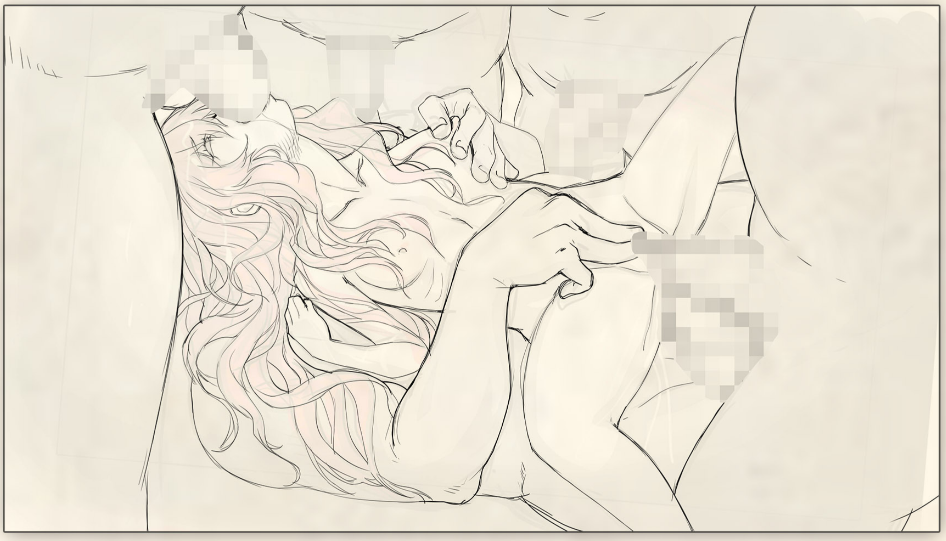
イベントCG：難民キャンプ時代のアリシャ

01/コンテ

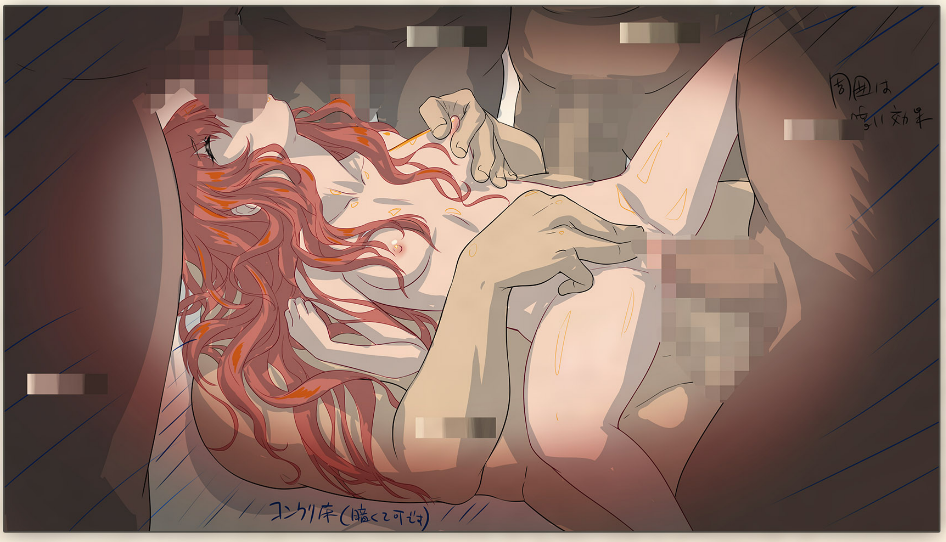
FDev003



02/ラフ



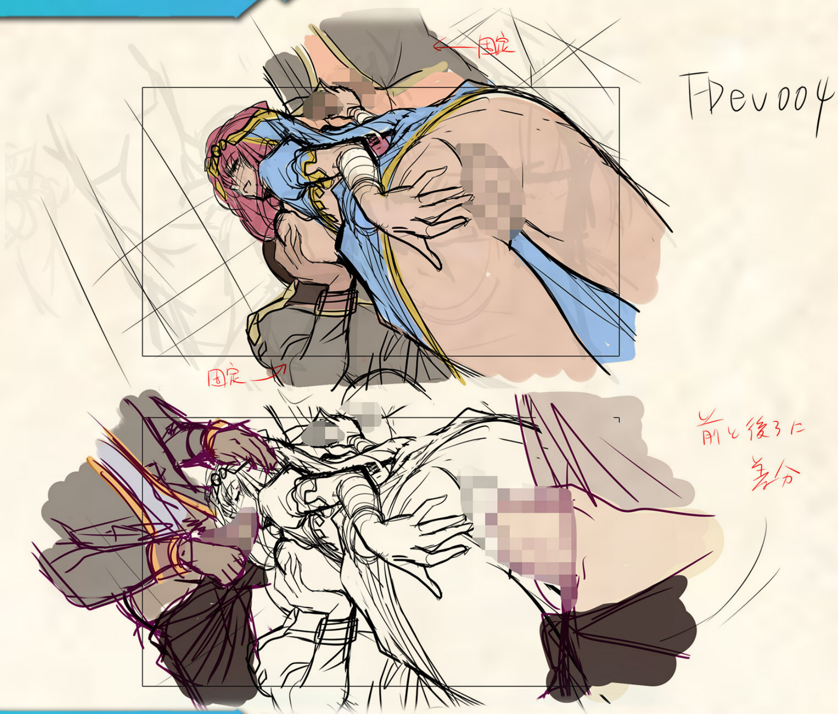
03/線画



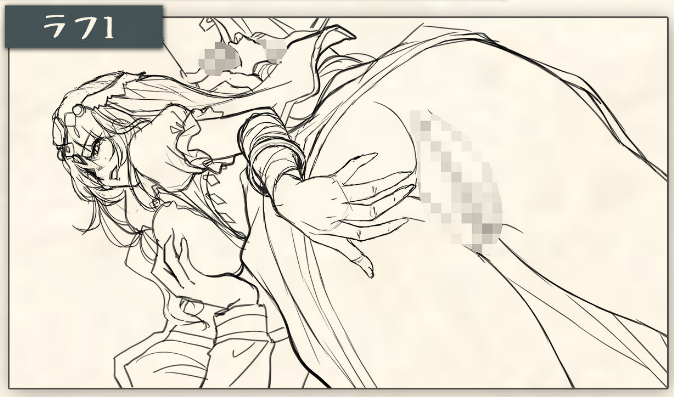
アダルトシーンだけど、回想シーンなので特に差分もなく、いいのかなーとおもいつつ作業としては楽でした。

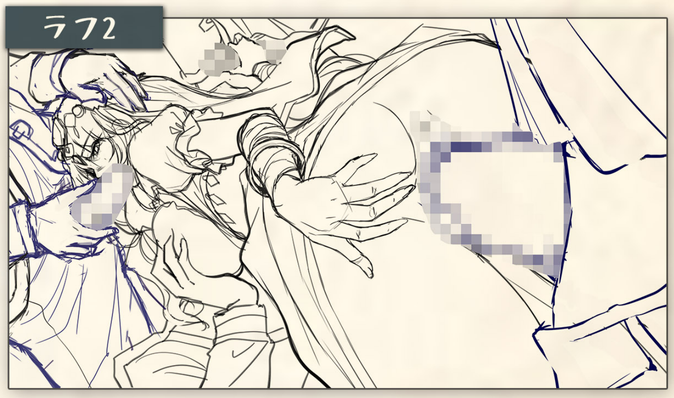
イベントCG：男を誘うアリシャ

01/コンテ

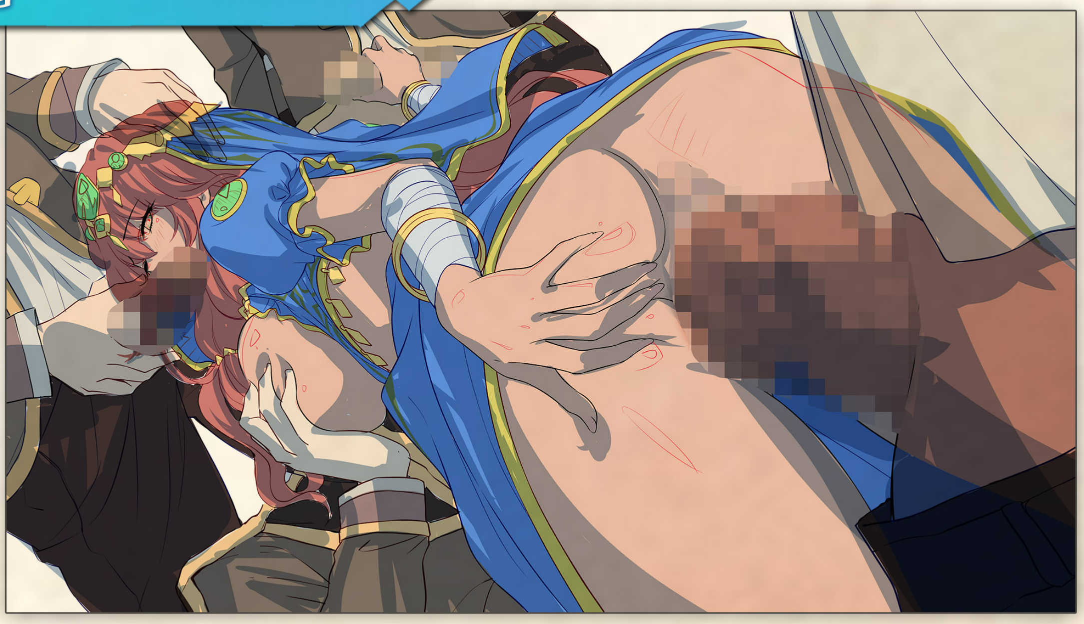


02/ラフ





03/線画



女性キャラから男を誘ってるシチュエーションって、前作にはほぼなかったので新鮮です。

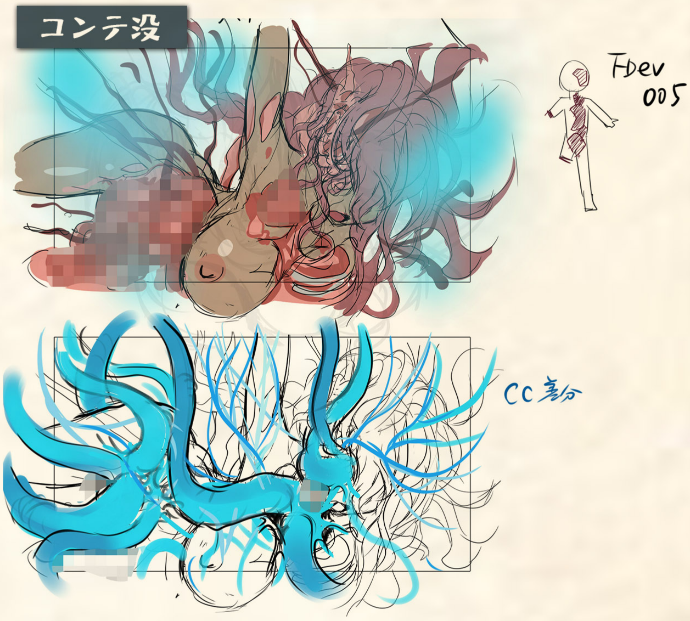
イベントCG：死んで失楽園でC．Cに寄生されるアリシャ

01/コンテ

コンテ



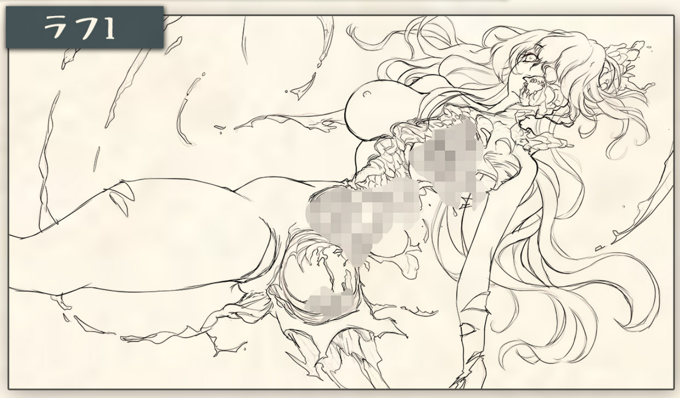
コンテ没



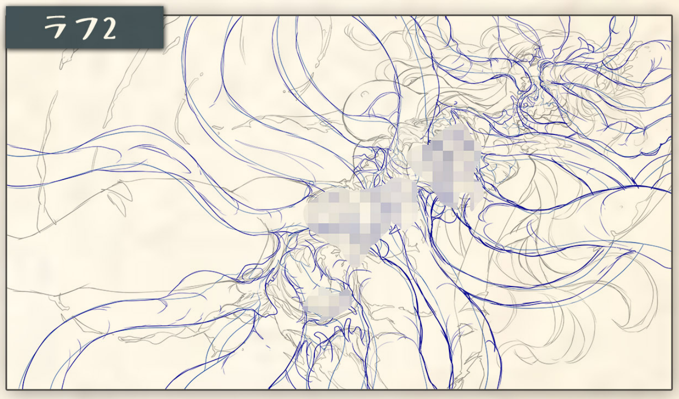
↑　最初は顔アップでしたが、もうちょっと俯瞰がいいかなと思って今の形にしました。

02/ラフ

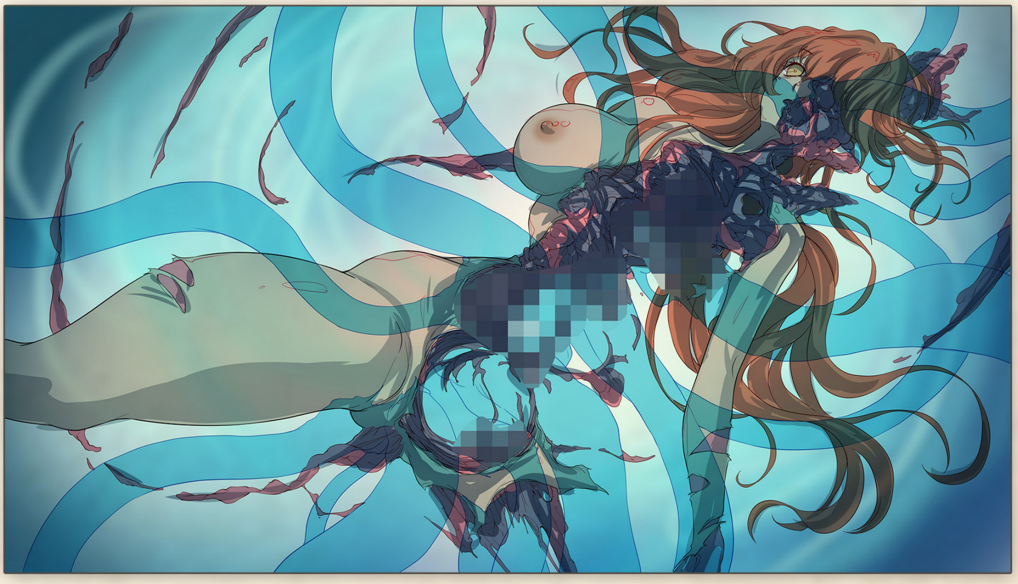
ラフ1



ラフ2



03/線画

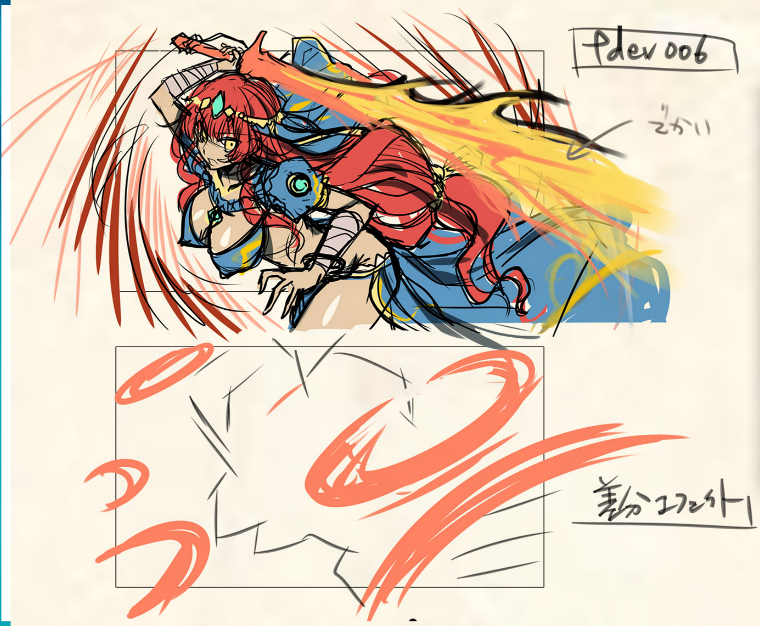


C．Cによる蘇り行為の絵です。
不気味だけど綺麗な感じを目指しました。
身体のほとんどはC．Cに乗っ取られている状態なので、断面に人体臓器はほとんど見えていません。

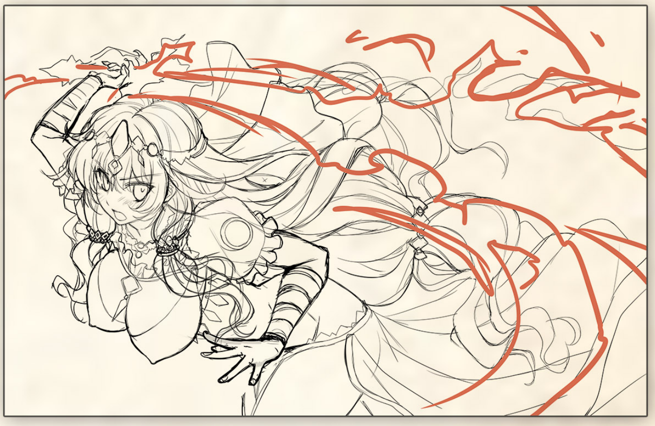
イベントCG：アリシャ戦闘カット

炎の剣とチャクラムを駆って攻撃する、アリシャの戦闘バンクカット。
チャクラムのことをすっかり忘れてて土壇場で（言われて）追加しました。

01/コンテ



02/ラフ

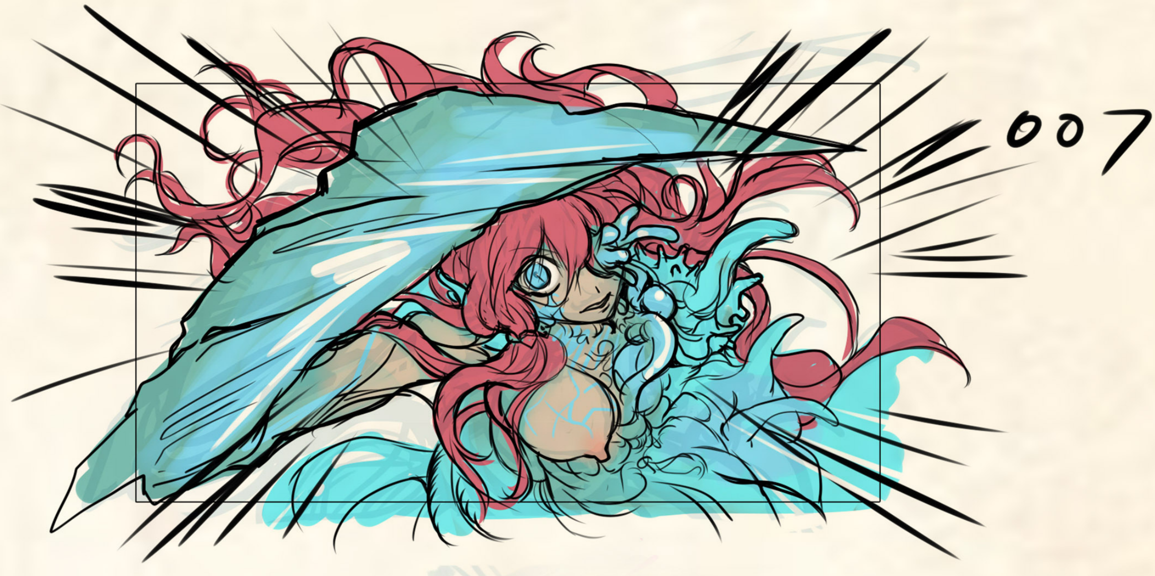


03/線画

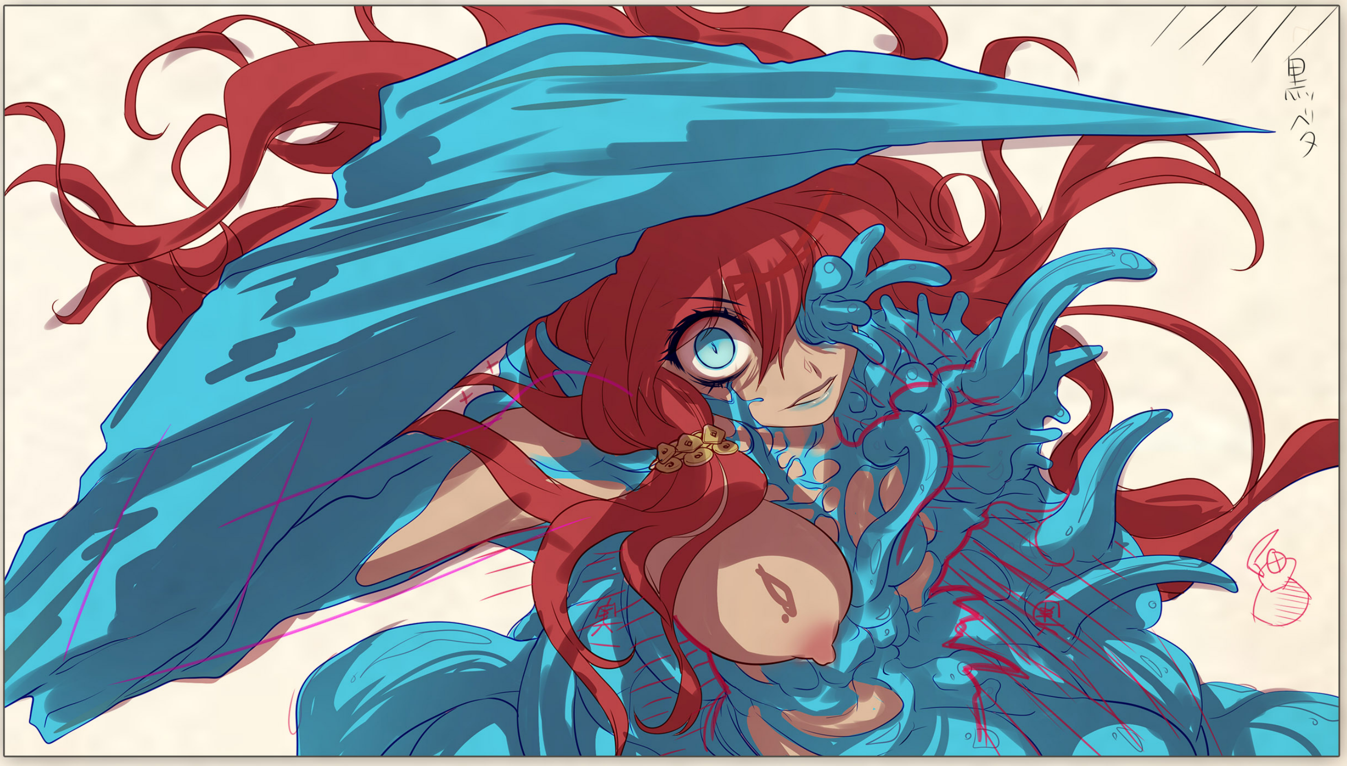


イベントCG：C．Cアリシャの戦闘カット

01/コンテ



02/線画



C．Cになった死体アリシャの戦闘バンクカット。
これは前作でも欲しかったですね。
にじみ出る中ボス感。

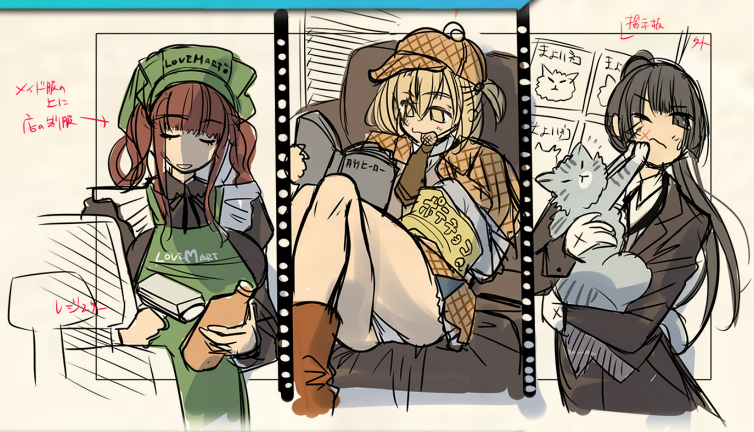
これはコンテから直接線画を描いたので、ラフが存在しません。

イベントCG：名探偵は事件を捜査しない

ここからは[名探偵は事件を捜査しない]の絵。オープニング想定で用意したイメージ絵です。
キルケはメイド服の上にお店の制服を付けてるのがポイントです。残雪は、なつっこいはずの猫に抵抗されているのがポイントです。リゼットは……パンチラ？？

また、完成版には色々くだらない小ネタがしこんであります。

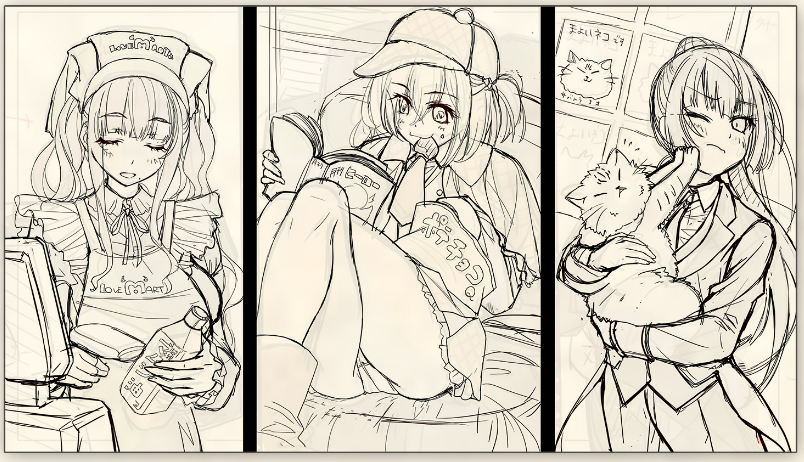
01/コンテ



fdev008

← 当初はノワール映画っぽいイメージだったので、コンテ段階ではコマ線をフィルムにしていました。

02/ラフ



03/線画

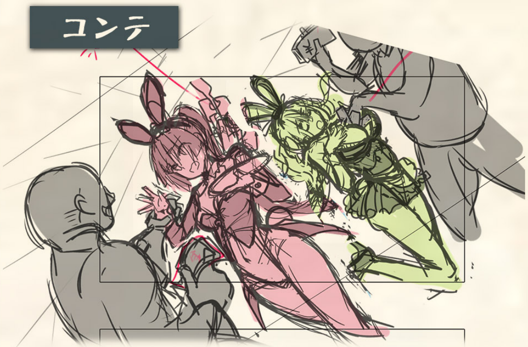


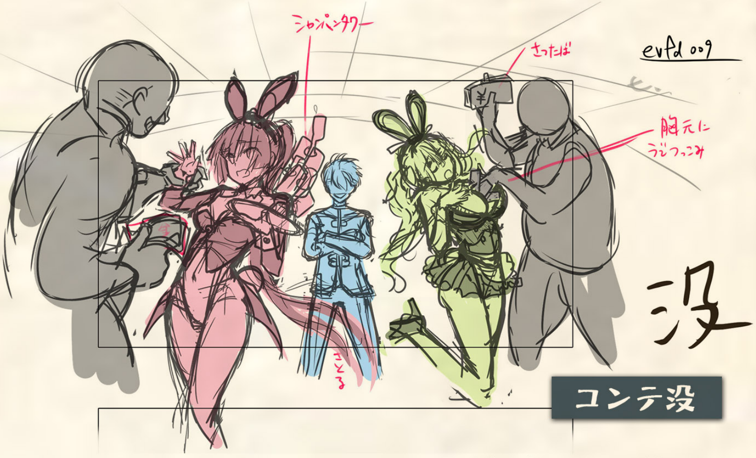
イベントCG：バニーコスで働かされる残雪とキルケ

[名探偵は事件を捜査しない]でのコスプレ絵です。なんのゲームを作っているのか分からなくなります。
そしてもしかしたらバニーガールの絵を描いたのは初めてかもしれない。

01/コンテ

コンテ

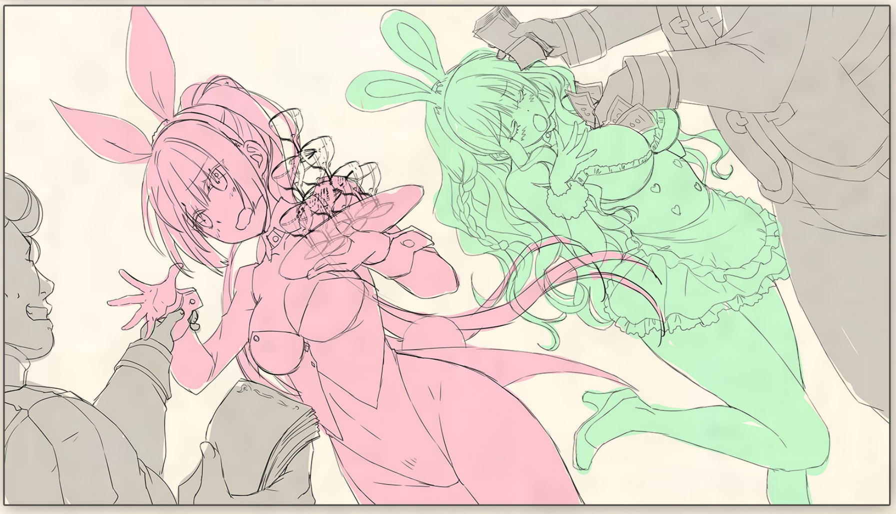




コンテ没

↑最初は中央で高笑いする悟がいたのですが、
女性陣をアップにする方向に修正。
悟なんて誰も喜ばない。たしかに。

02/ラフ



03/線画



イベントCG：３人合体技！

01/コンテ

改造された（？？）３人が必殺技を放つ絵。
キルケの変身姿が見られます。
そう、リゼットとお揃いなのです。
更に微妙な態度で、それでも参加してる
残雪が可笑しい。

非常にどうでもいいですが、３人の手は
グーチョキパーになっています（ホントにどうでもいい）



↑　コンテ段階から、
エフェクトは「バカ」だった。

02/ラフ



03/線画

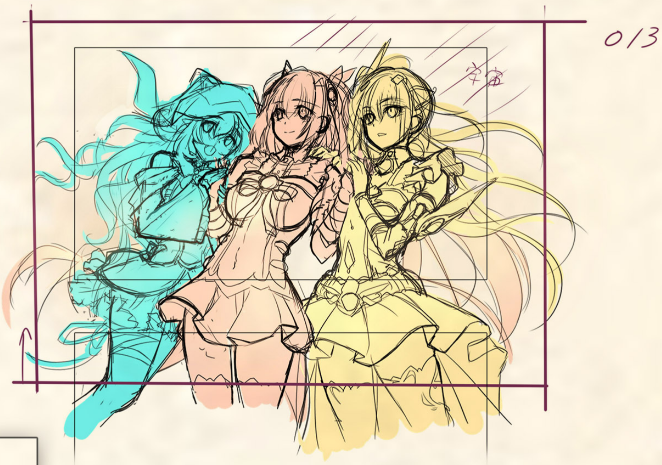


イベントCG：戦いを終えた３人の魔法少女

順番がおかしいですが、
唐突に「ちいさきものたちのゆめ」の
エンディングシーンです。

まっとうなルートで、
この３人が幸せそうにしているシーンで
終わって良かったと思います。

01/コンテ



02/ラフ



03/線画

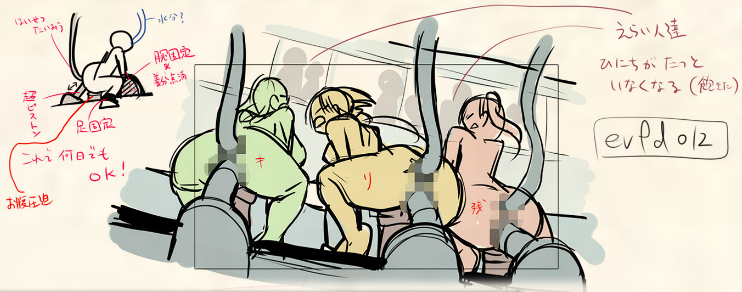


イベントCG：実験されるリゼットたち

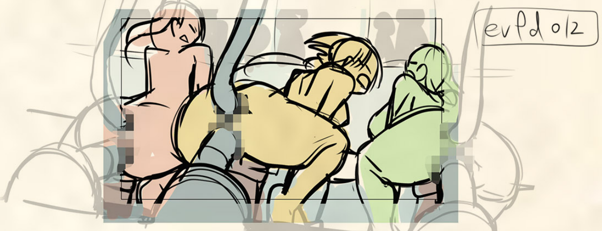
ここから[續・月軌道会戦]に移ります。
３人で変身した状態でのブラカーシエロ実験……ということで、うっかりキルケを特殊戦技装備にしたまま作業をすすめていました。（このタイミングでは、キルケは変身できなくなってる）
なので、ラフまでのキルケは変身状態。
線画の直前に朝妻さんに指摘されてあわてて裸に。気づいてよかった…

01/コンテ

コンテ

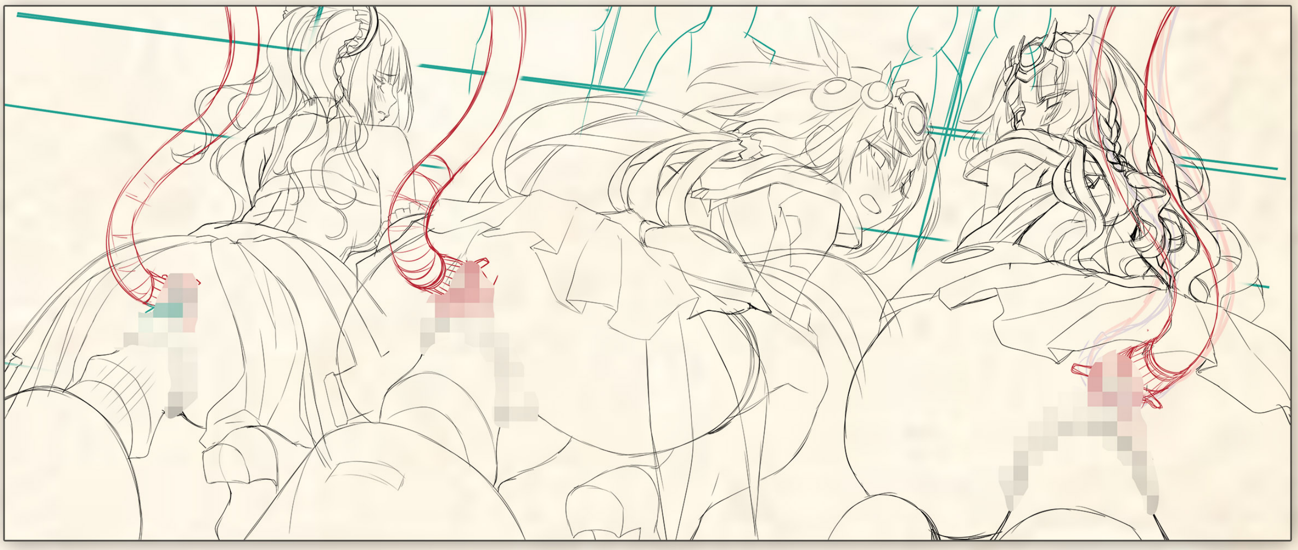


コンテ修正

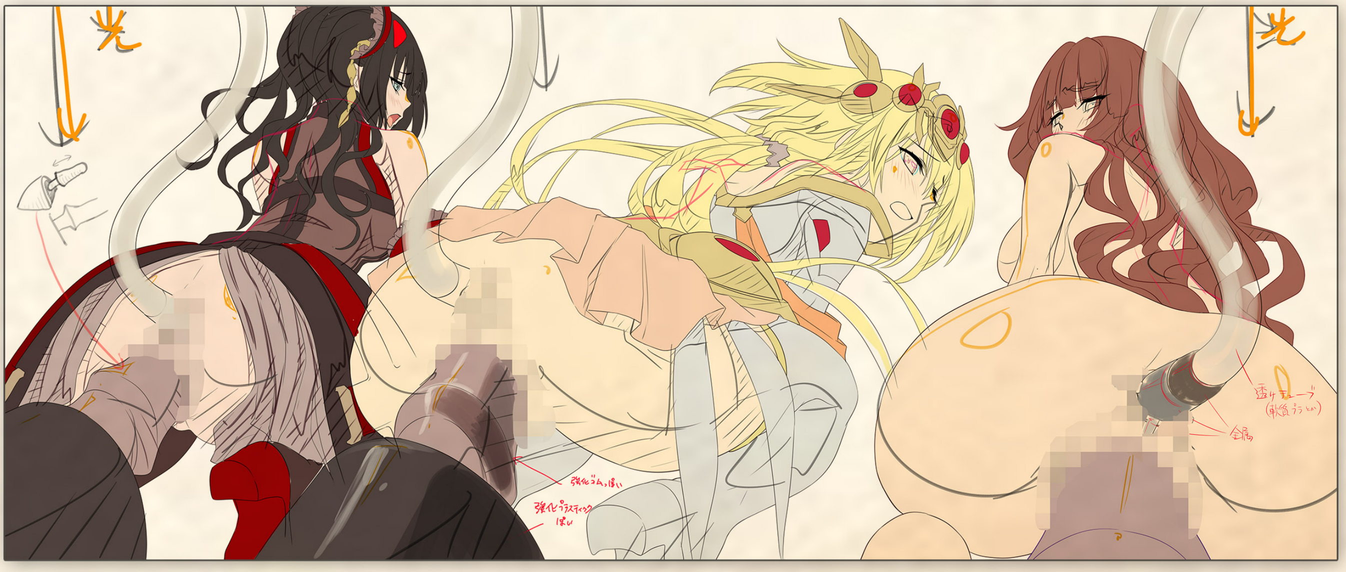


↑　リゼットをメインということで、寄りアングルに修正。
結局横長にして端の２人も入れることになるのですが。

02/ラフ



03/線画



イベントCG：キャラハン達に襲われるキルケ

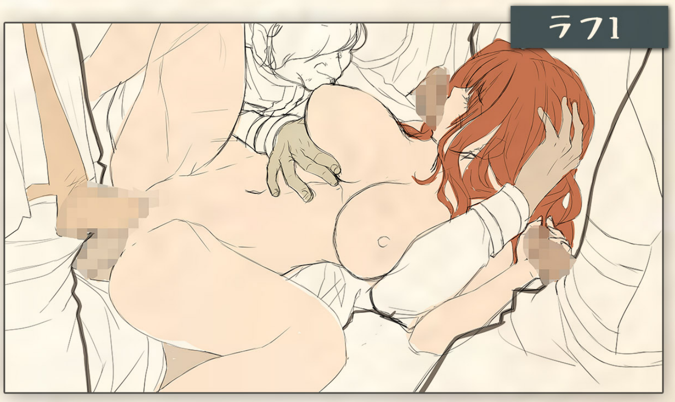
01/コンテ

「續・月軌道会戦」でひどい目にあうキルケ。
立ち絵より、ちょっと大人体形になってるな……

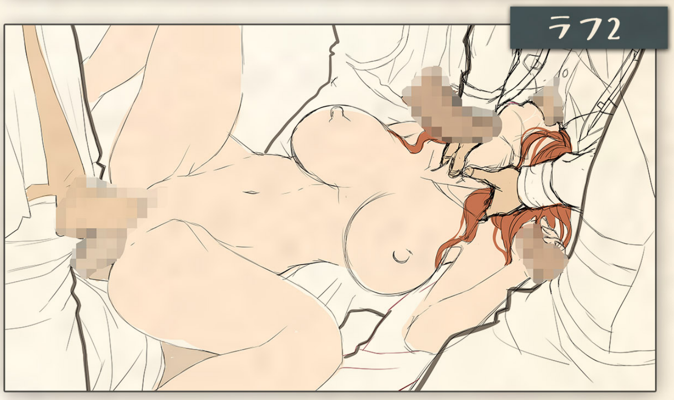


02/ラフ

ラフ1



ラフ2



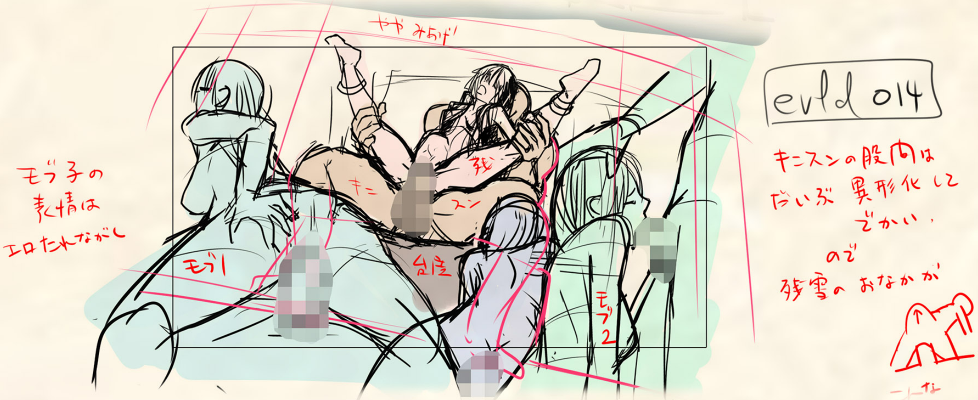
03/線画





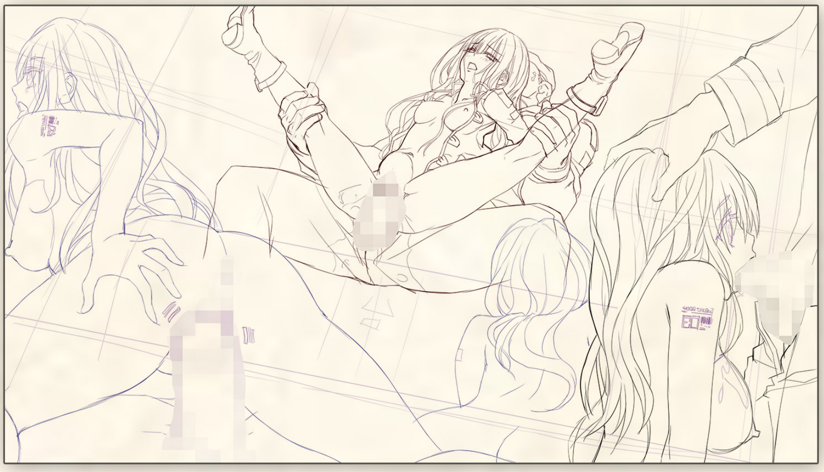
イベントCG：地獄と化していくカテドラル

01/コンテ



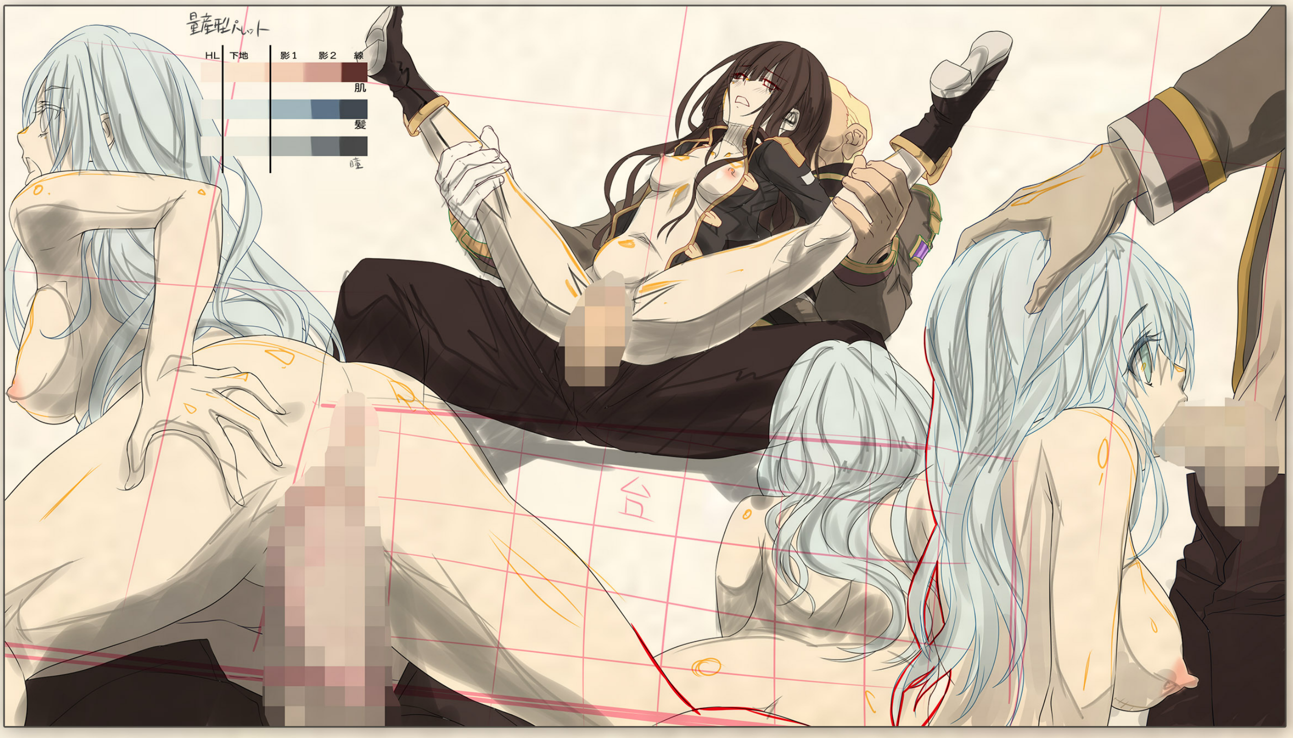
← キニスンの股間が異形化…って、多分なにか時系列を勘違いしてますね。

02/ラフ



「續・月軌道会戦」で、残雪がキニスンにやられつつ、第二世代の特殊戦技兵達の性強化訓練がはじまる、というシーン。第二世代は自失状態の量産型だと思ってたのですが、実際のシナリオでは結構まともな反応だったんで、表情だけちょっと意識がある感じに修正してます。

03/線画

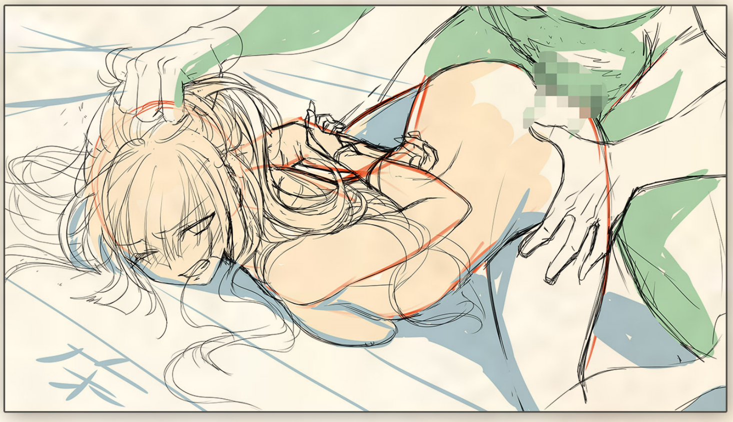


イベントCG：キャラハンに支配される残雪

01/コンテ



02/ラフ



03/線画

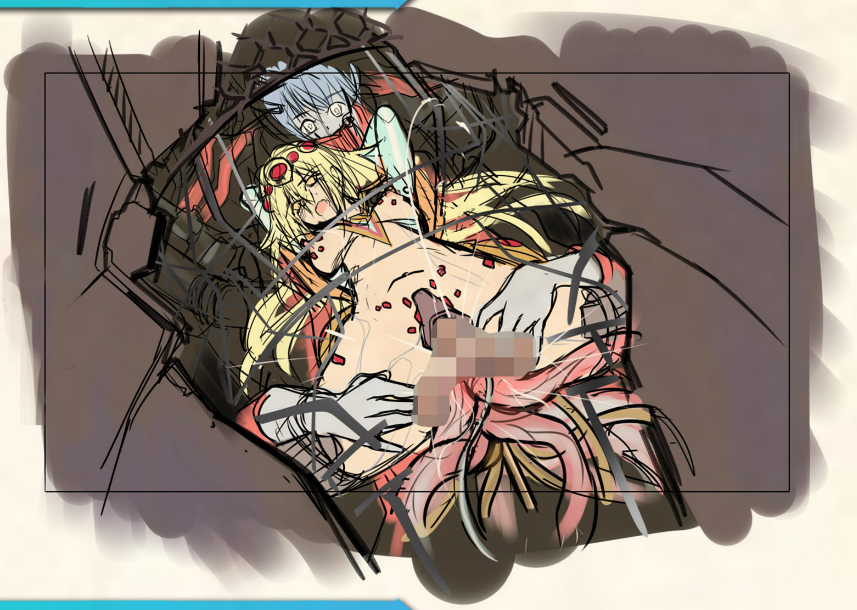


よくある感じですが、唐突に鉄パイプが出てくる辺りで差別化をねらってます。

あと、この後の本編に続くキャラハンの嗜好も垣間見えます。

イベントCG：プロトタイプモビルアーマーに入れられるリゼット

01/コンテ

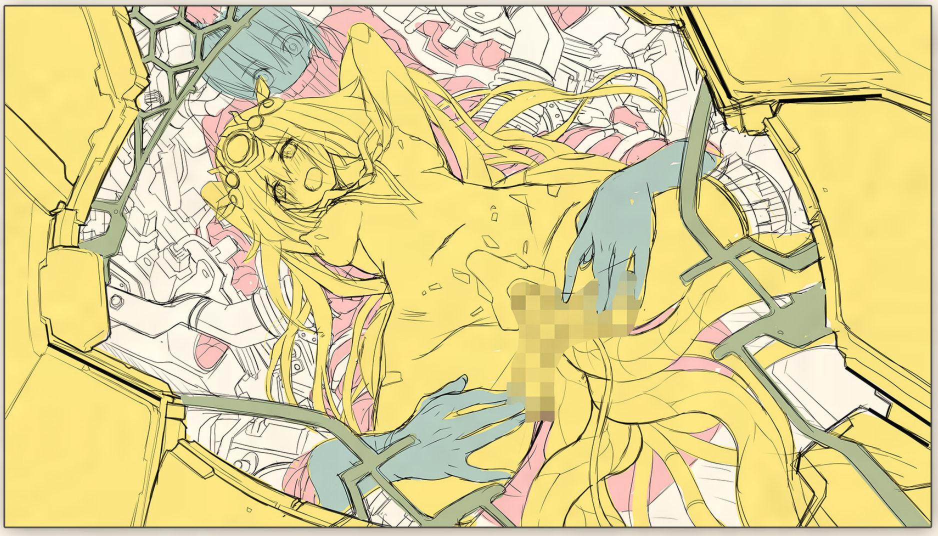


車のエンジンのような
ぐちゃごちゃした中に
一部量産型から
作られた肉（臓器
パーツあり。
（リゼットの体を支える
シートみたいな部分に
肉パーツが多い）

量産型の手や顔を
使っているのは
魔力がより伝わりやすく
うんぬん。

股間の触手も有機体

02/ラフ



プロトタイプなので、かなり
メカメカしい感じにしてみま
した。
ついつい描きこんで無駄に
手間かかってます。
桐桐ちゃんの部位がパーツに
されてる辺りには悪趣味さの
片鱗が。

03/線画

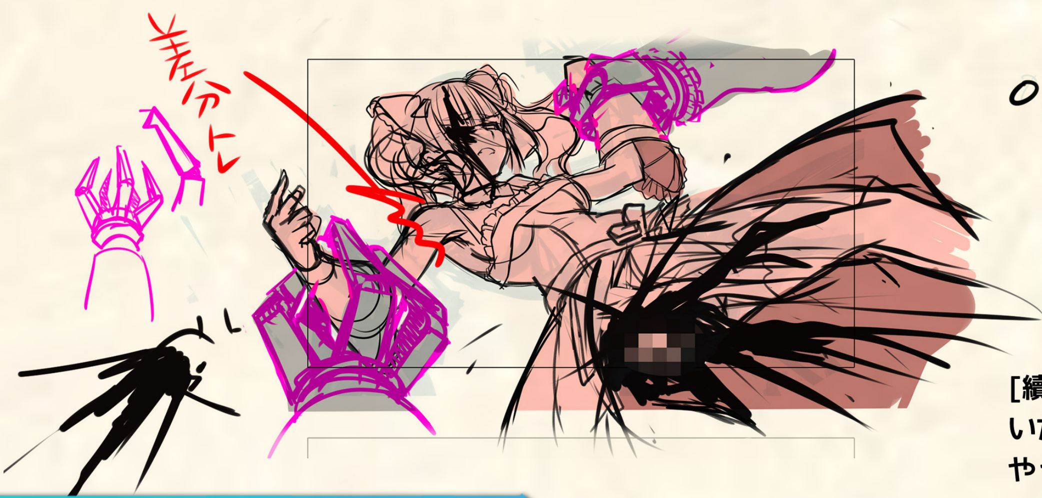


なお大真面目なシーンなのに、
どう見てもコントです。
メインがリゼットだと
アダルトシーンの温度が
おかしくなりますね。
（キルケのせいかもしれないが）

大分後になって、リゼットに
触手が入ってないシーンが
結構長いということを知って、
バタバタと入ってない状態を
でっちあげました。

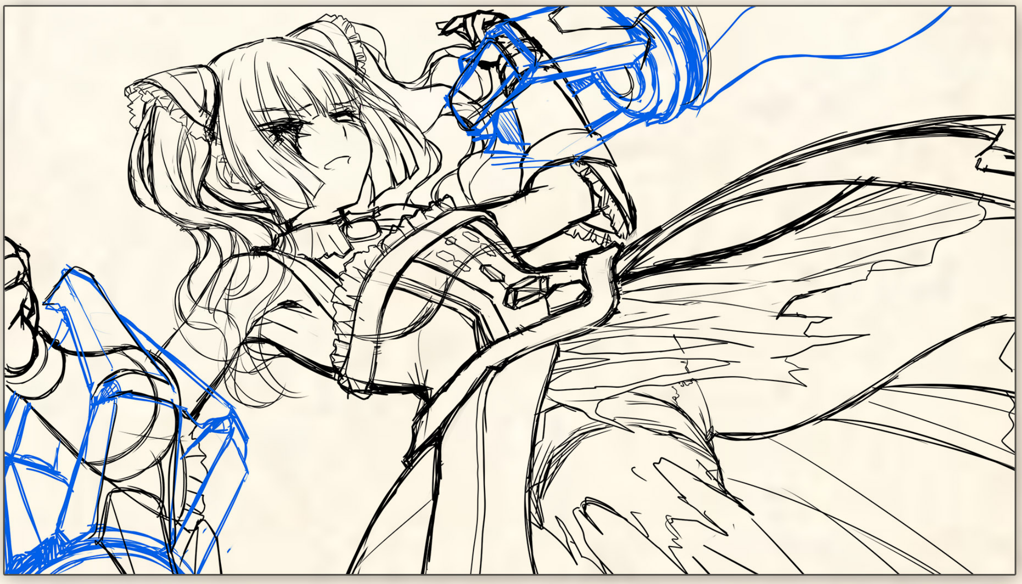
イベントCG：右腕を奪われる残雪

01/コンテ



[續・月軌道会戦]のラスト。
いたい。
やっぱりキルケひどい人だよ。

02/ラフ

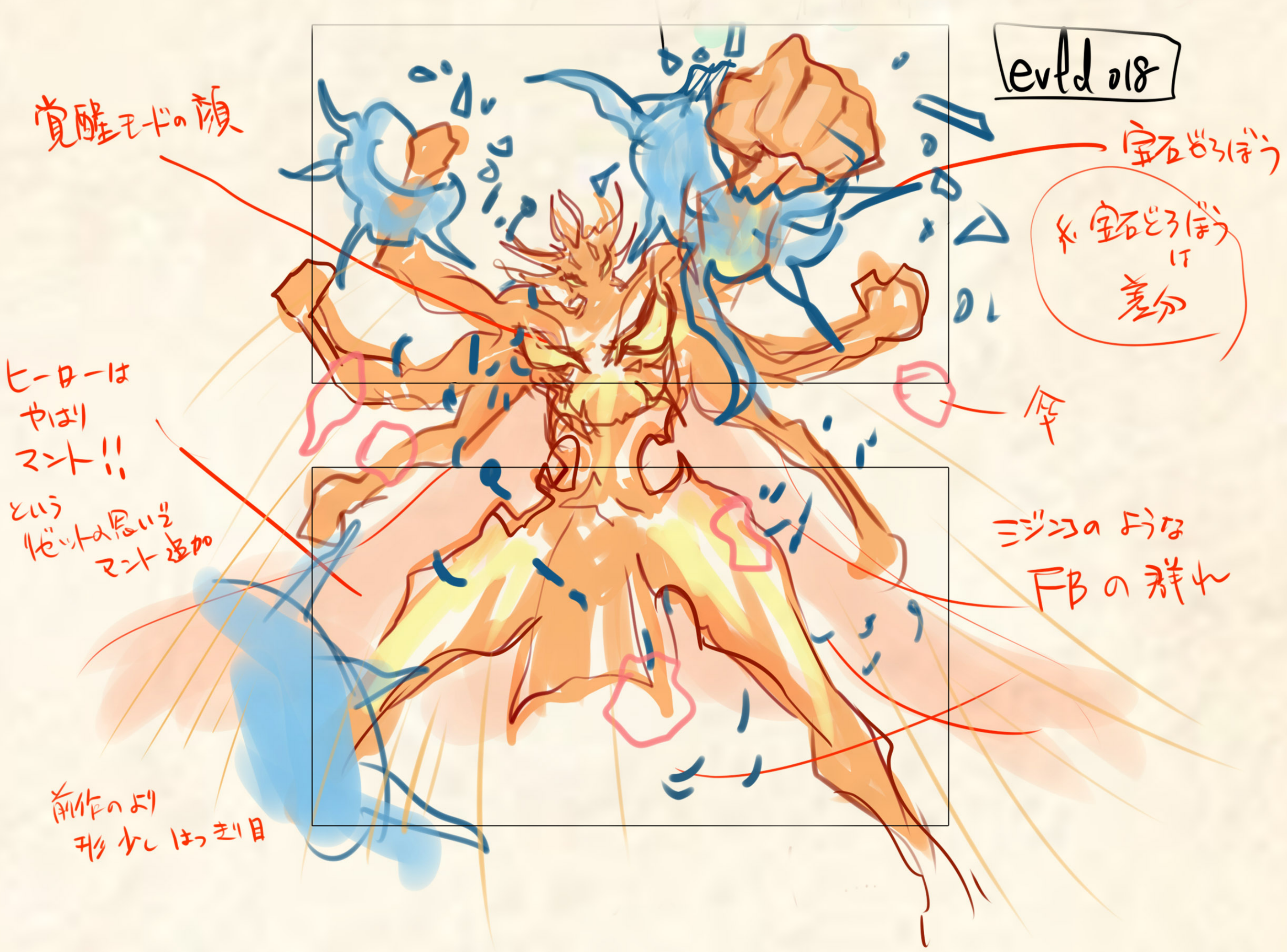


03/線画



イベントCG：光の巨人１号

01/コンテ



これは線画無しに直接描き上げていったので、コンテのみです。

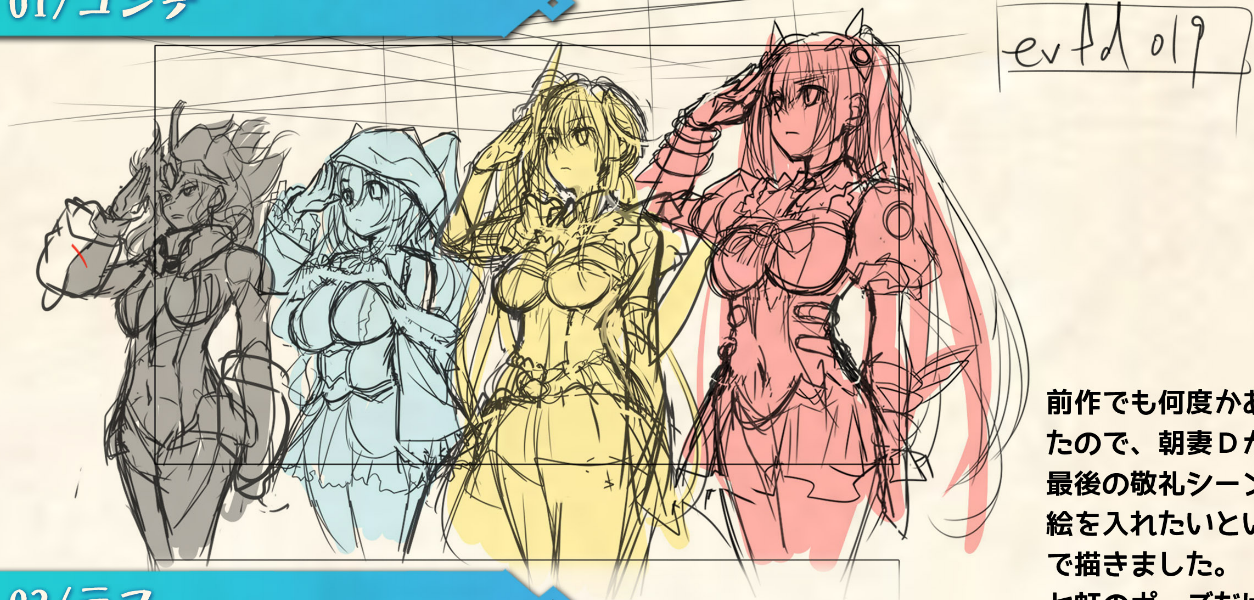
前回のリゼットの巨人をみのりの人型巨人にして、今回はリゼットを最初からこの絵にしています。
２体の巨人が会話するシーンもコントですね。大真面目なのが余計に。

みのりとリゼット合体の巨人は、これをさらに描き換えたもので、コンテすらありません。

光の巨人関連は、みのり巨人の手がなくなったりとか、スクリプト組んでる最中に「うへ」ってなることが多かったです。

イベントCG：特殊戦技兵の敬礼

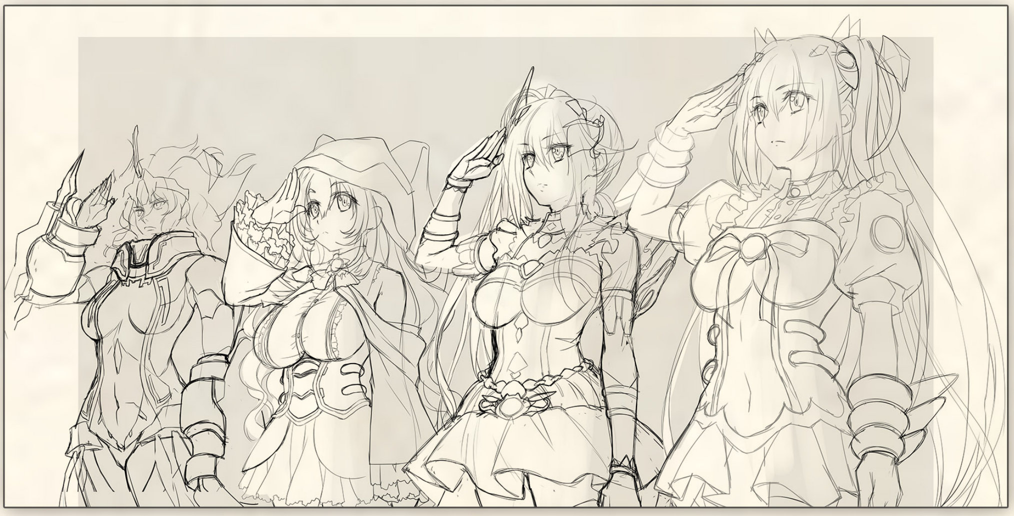
01/コンテ



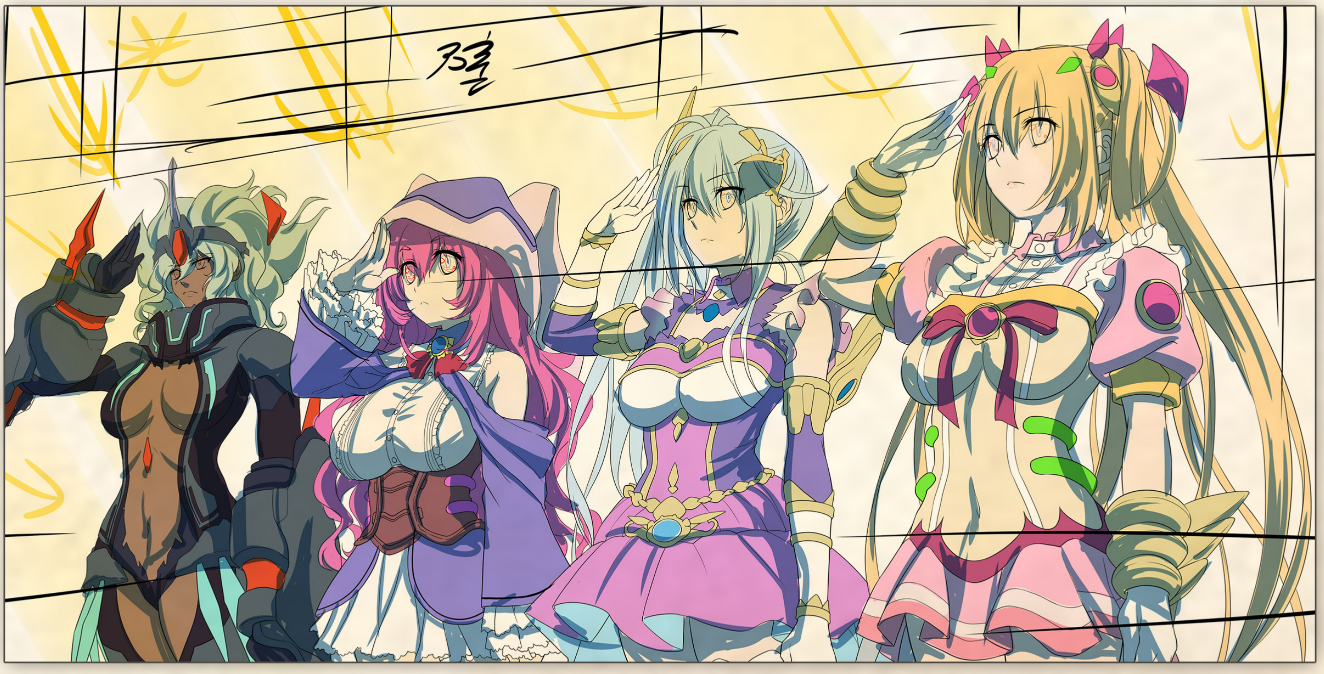
前作でも何度かありましたので、朝妻Ｄから最後の敬礼シーンは是非絵を入れたいということで描きました。
七虹のポーズだけちょっと悩みましたけど、七虹っぽい感じに出来たかと。

ＢＧＭもここ専用（多分）なので、なかなかよいシーンだと思います。

02/ラフ

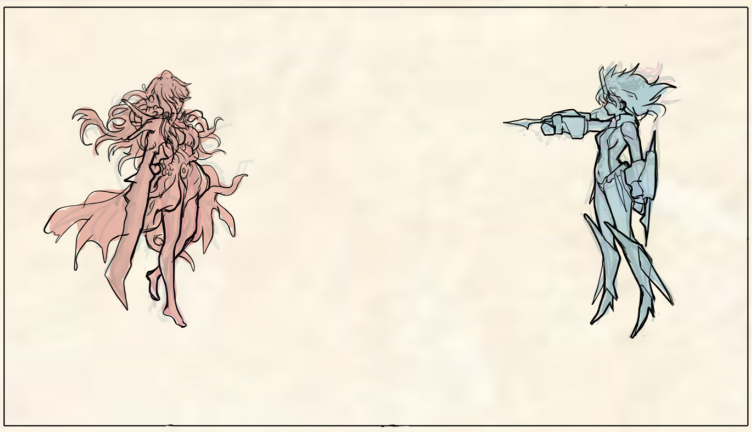


03/線画



イベントCG：アリシャとキバキ

01/コンテ

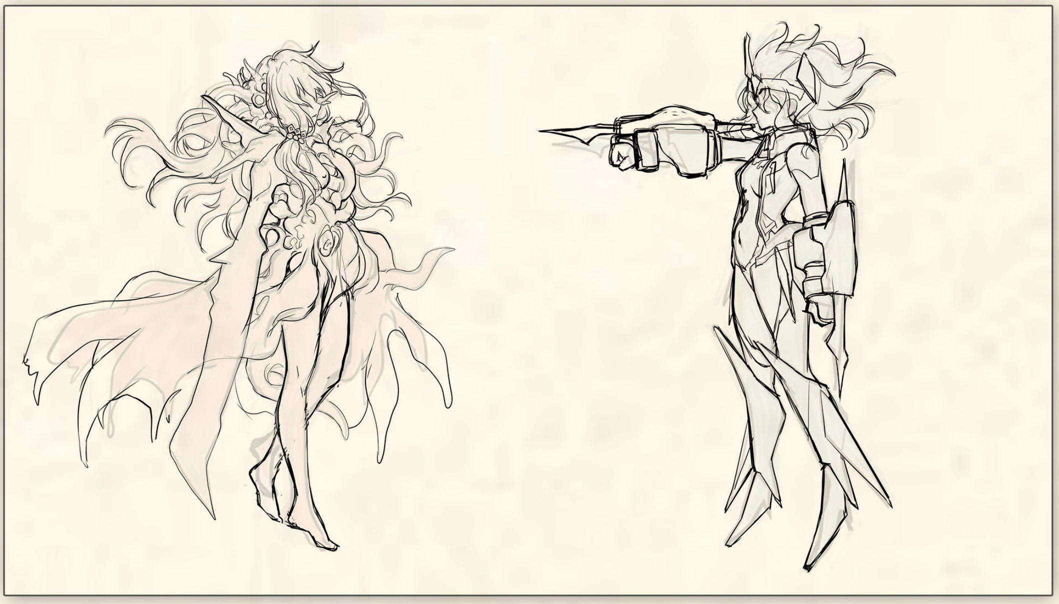


020

朝妻D一押しのシーンです。たしかに良いです。
「アリシャ・オラオンは死んだ」から
「ちいさきものたちのゆめ」でのこの流れは、
自分が作ってるもののジャンルを一瞬忘れて
しまうものがあります。

その上でいろいろぶち壊す発言ですみませんが、
作画担当としては楽させていただきました。

02/ラフ



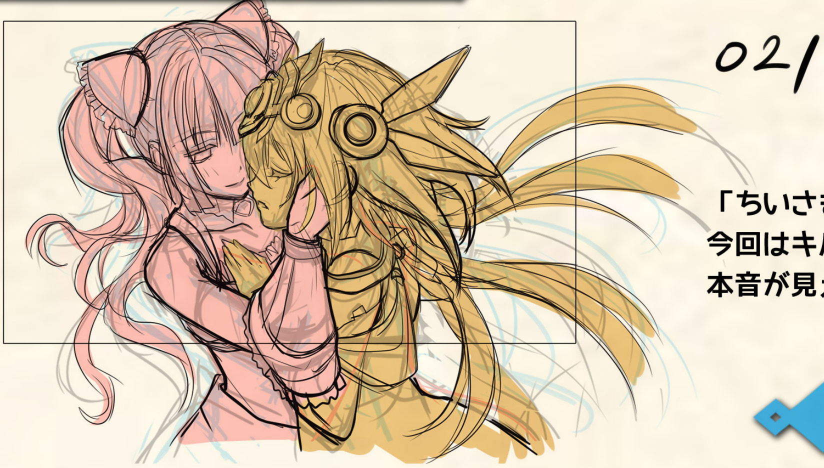
スクリプト作業の時点で
「腕下ろす差分ないと
まずいなー」ということ
で、後になって腕下ろし
を追加してます。

03/線画



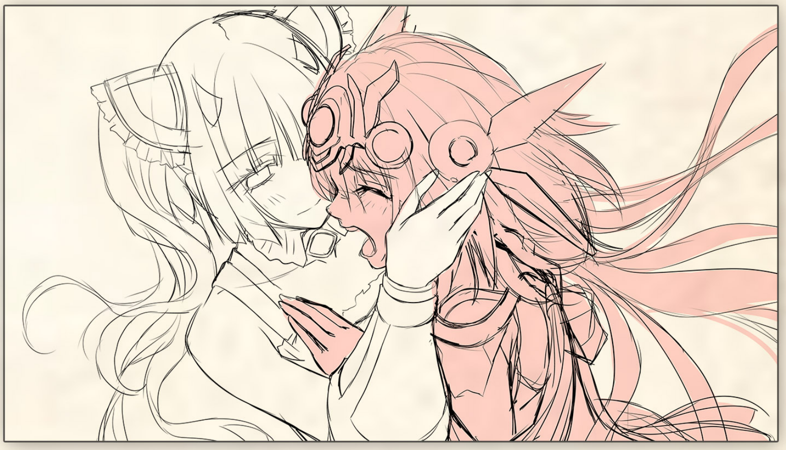
イベントCG：リゼットと残雪

01/コンテ



「ちいさきものたちのゆめ」のラスト絵その２。
今回はキルケはいません。そしてリゼットの
本音が見えるシーンです。

02/ラフ



03/線画



↑　構図的にはコンテ段階の方が気持ちいいんですが、残雪の目のことを忘れてまして、反転させました。
彼女の欠損が右だったか左だったか、たまに間違えます…

イベントCG：光の女神

01/コンテ



「ちいさきものたちのゆめ」のラストに現れる、すべての魔法少女の集まった姿。
巨人の上に大巨人…の更に上ってことで、もう女神＋天使しかないだろうと。

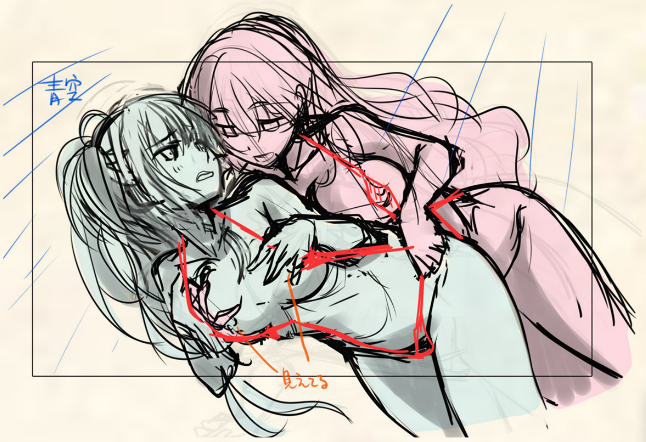
これも直接描き上げたので、コンテしかありません。
宇宙規模のスケール感を出すの難しいです。

この前後のシーンは追加素材が大量に発生してて(キャラの項参照）ほんとに大変だったんですが、専用で流れるＢＧＭが全てを押し流しました。
皆さんも是非浄化されてください。
ひとつになろうよ、気持ちいいよ（違）

イベントCG：イリューシャをおそう七虹

01/コンテ

FDev 023

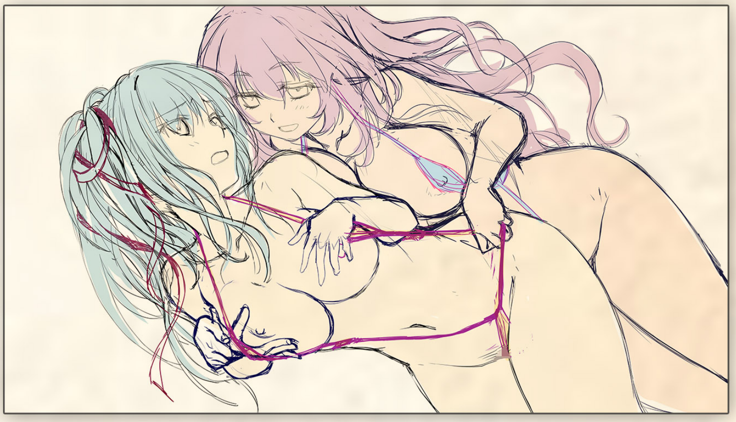




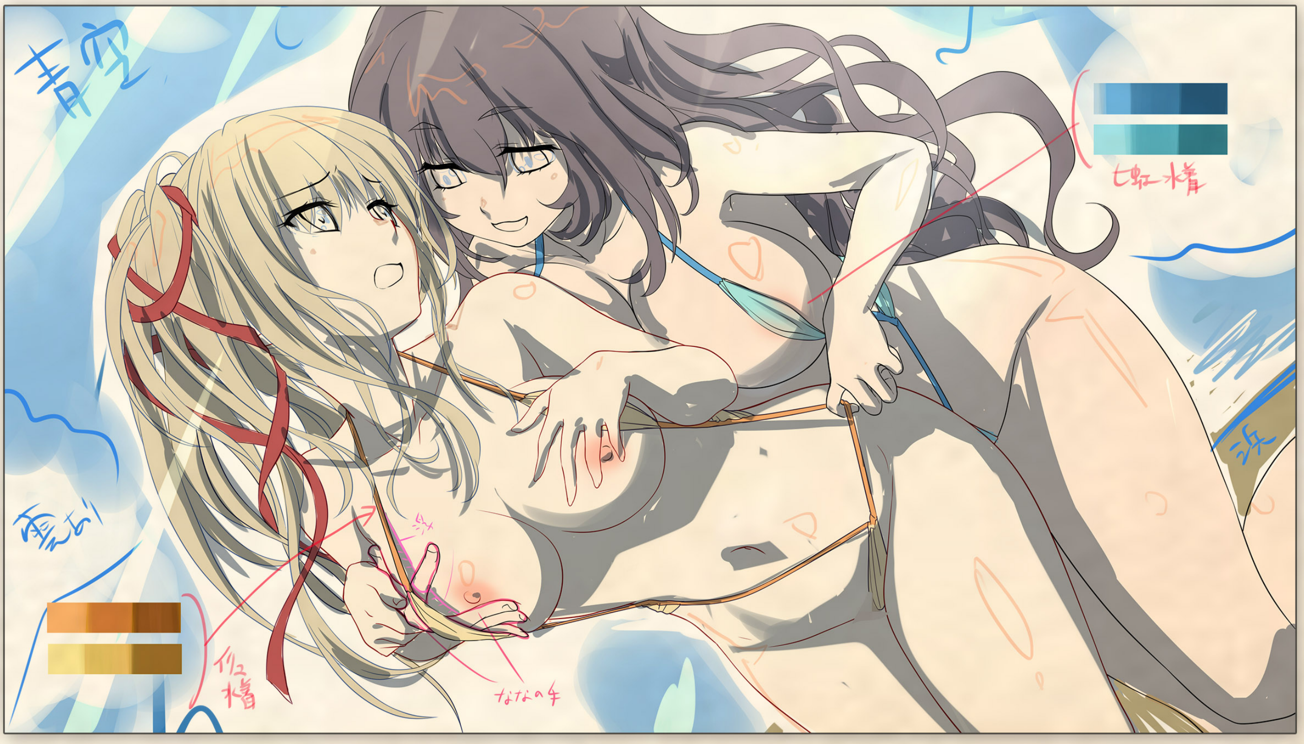
ここからは[Re:バケーション]
消耗戦線らしからぬ絵が続きます。

このイリューシャの体がすげえ変で、彩色上がってきた後にかなり大改造しました。
なんかね、首とか体が長い……うなぎかよ……

02/ラフ

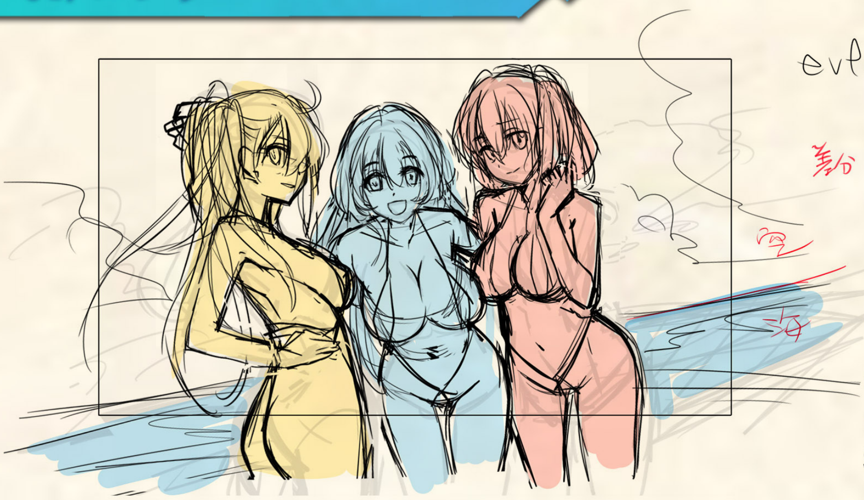


03/線画



イベントCG：紐水着の３人

01/コンテ



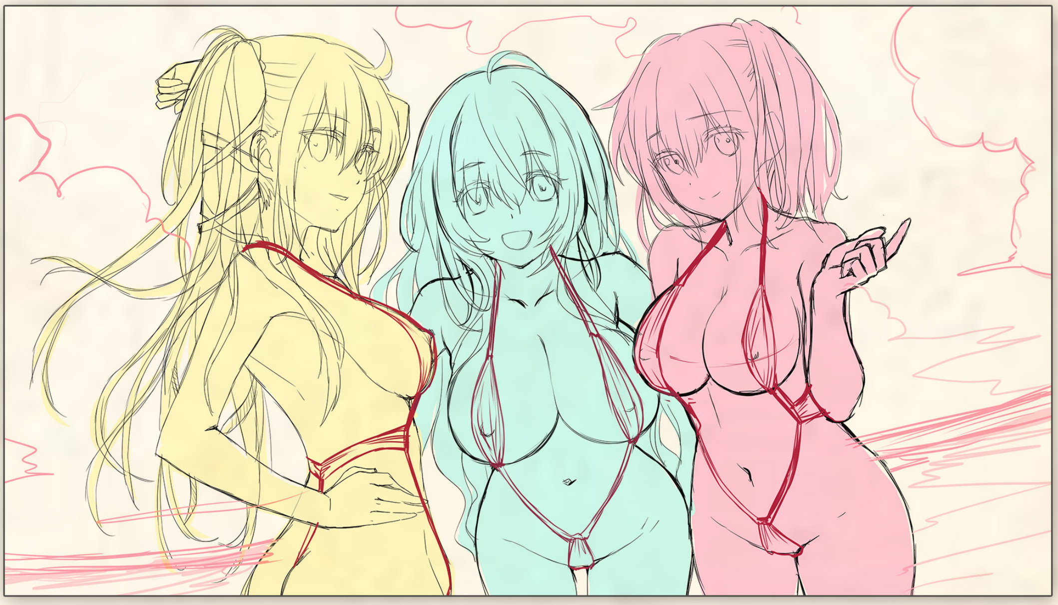
eved024

差分：水着とれ
&
表情（びっくり）

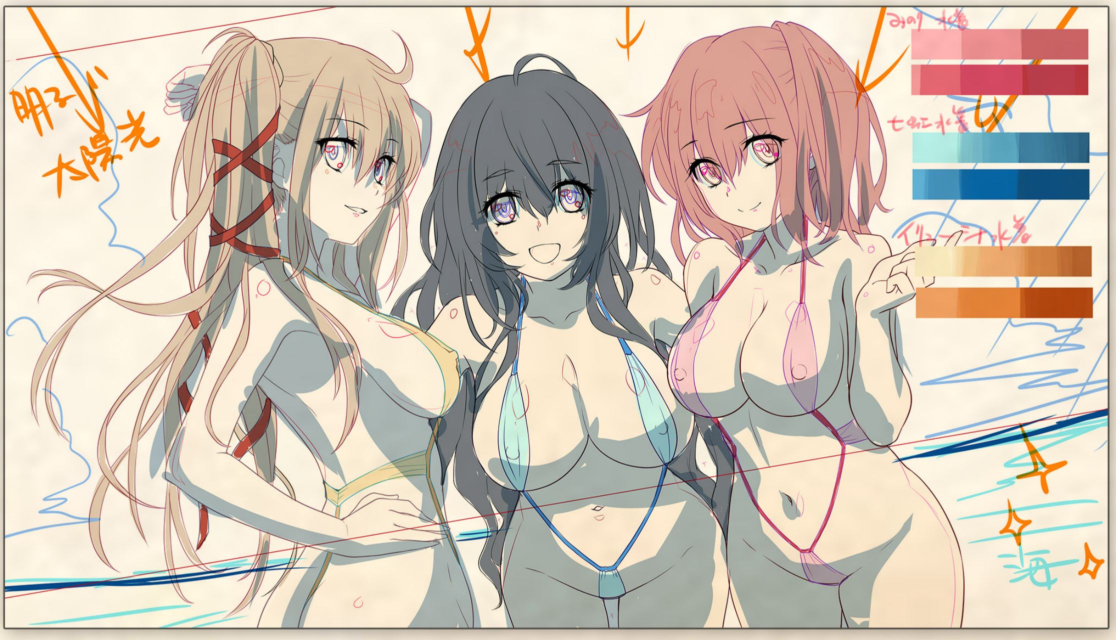
なかよく笑顔で記念写真をとる３人。
なんだろ、ゲームでこういう原画描くの初めてな気がする。

この後に波で水着がさらわれます。

02/ラフ

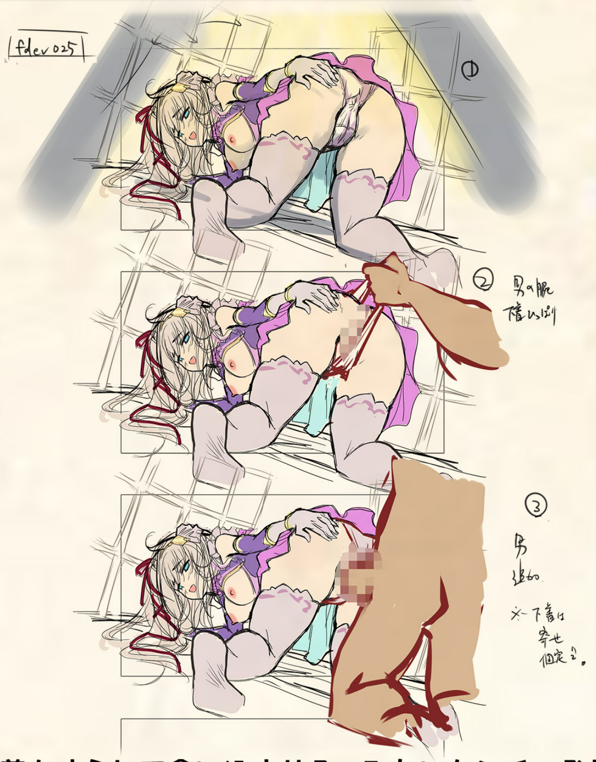


03/線画



イベントCG：AV撮影のイリューシャ1

01/コンテ



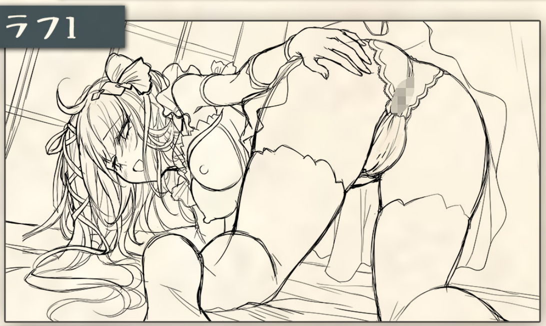
下着をずらして食い込ませる、みたいなシチュ発想が
自分に無いので、なるほどーと思いながら描いてました。

周囲がレフ版、というか、撮影機材に取り囲まれてる
イメージなので、きっと全方位撮影で
最新ＶＲ＆３Ｄデータキャプチャとかされてるんでしょう。

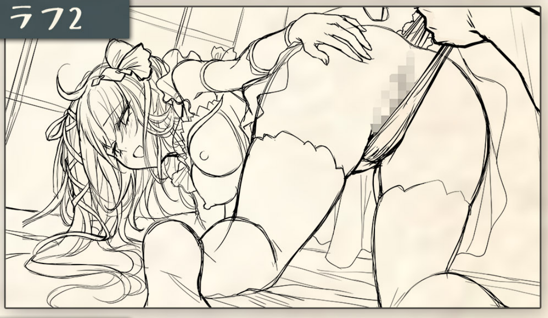
ここからは[奈落]
イリューシャの憂鬱な過去編です。
落差が酷い。

02/ラフ

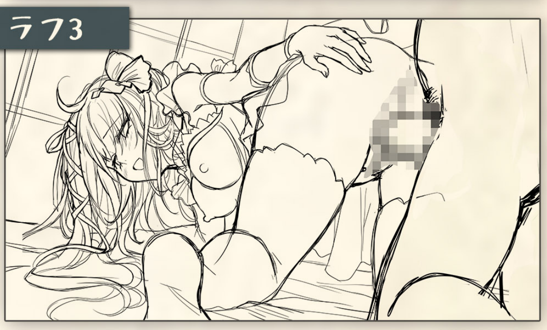
ラフ1



ラフ2



ラフ3



03/線画



イベントCG：AV撮影のイリューシャ2

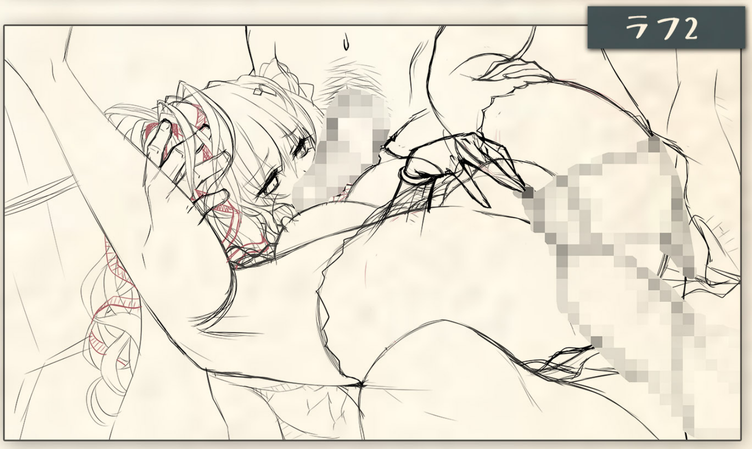
01/コンテ



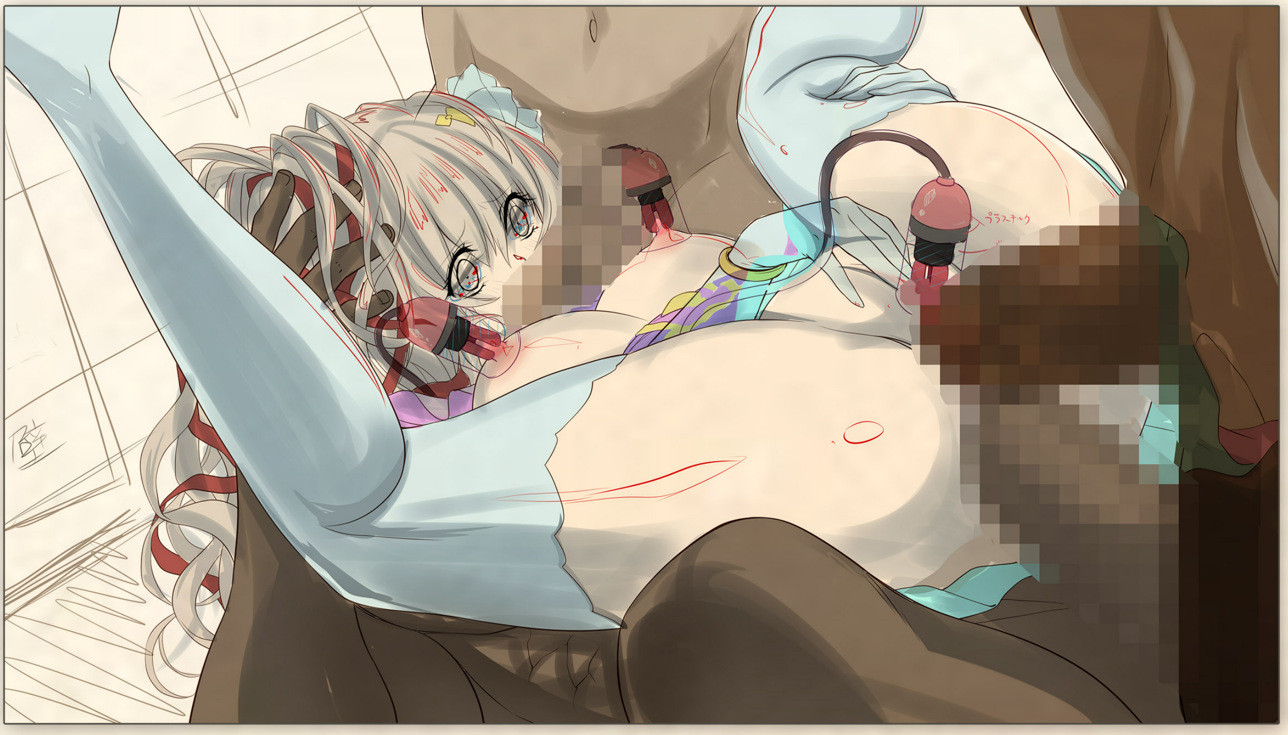
AV撮影の続きです。
ひたすらひどい目にあいます。

02/ラフ



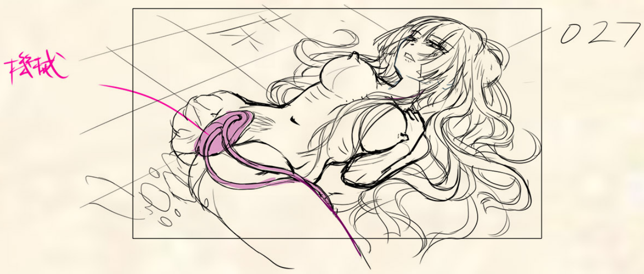


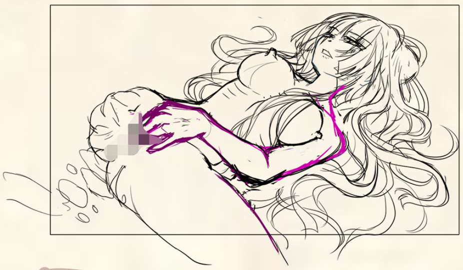
03/線画

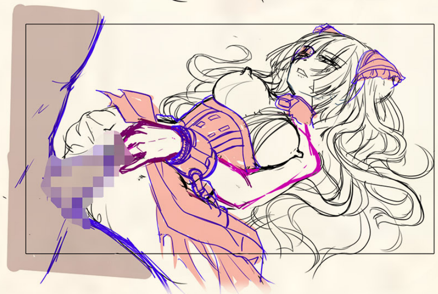


イベントCG：監禁されている残雪 1

01/コンテ

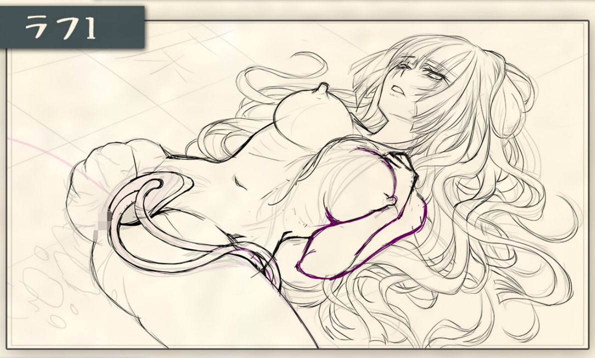




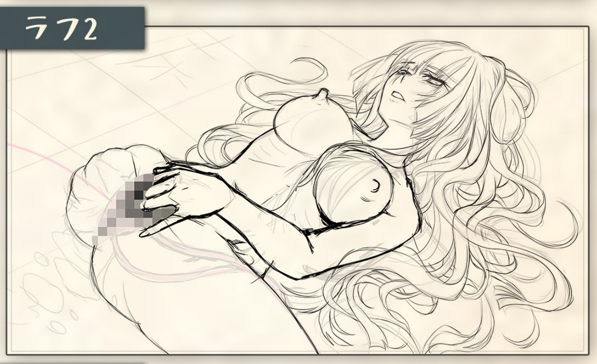


02/ラフ

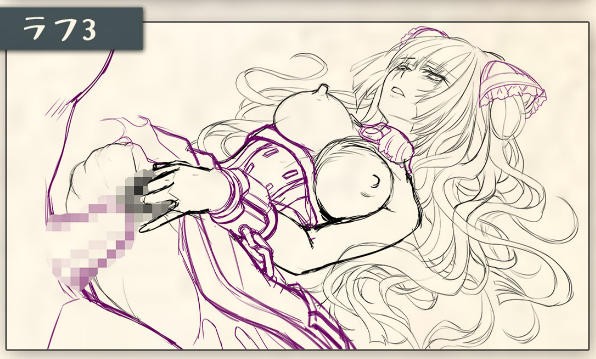
ラフ1



ラフ2

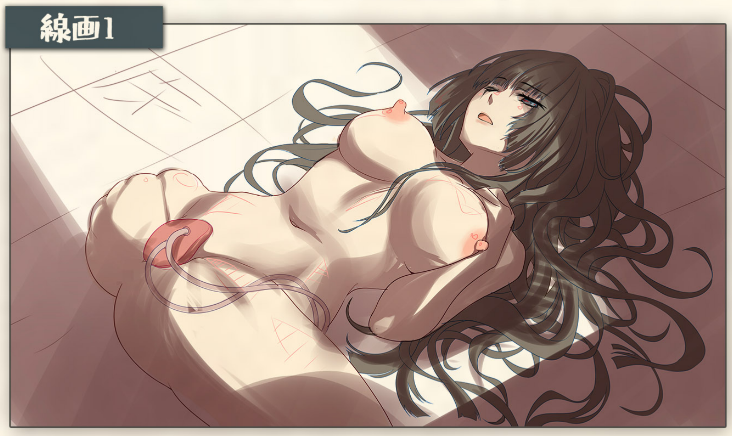


ラフ3



03/線画

線画1



線画2



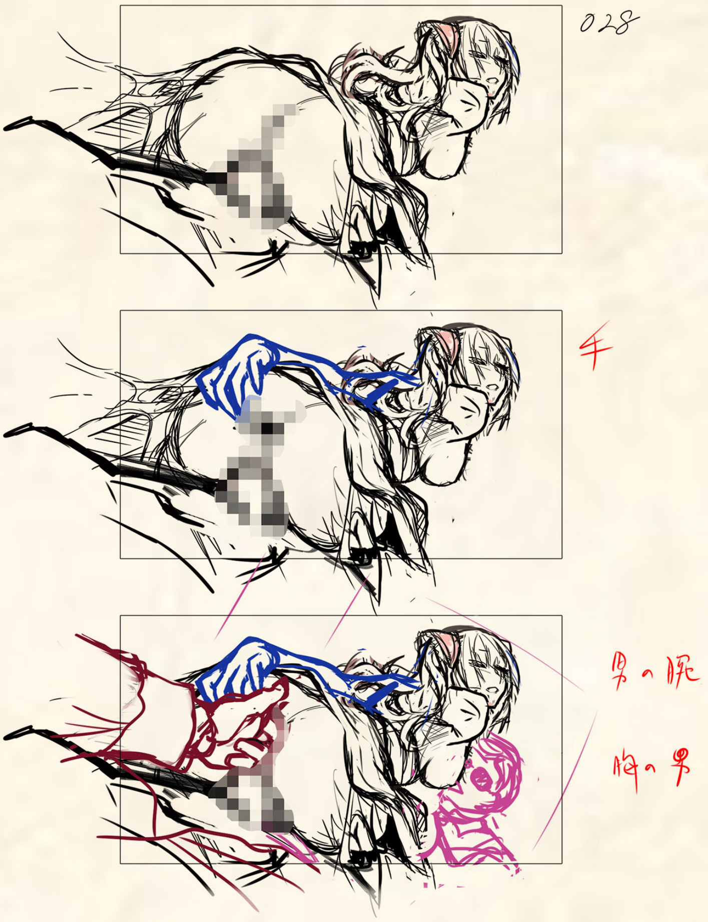
ここからは[熱の檻]
前作月ルートで、研究所を破壊するために自ら捕まりに行った残雪がどういう目にあっていたのかという話。

このエピソードでは義手義足眼帯が外されているのですが、構図的にそれを見せようとすると表情も見せにくい（傷のある方が手前に来る）というのが意外と厄介でした。

あとこれも魔法少女衣装が差分なのですが、さりげなくデザインが変わってます。
眼帯は完全に忘れてて、仕上の時に描き足しました。

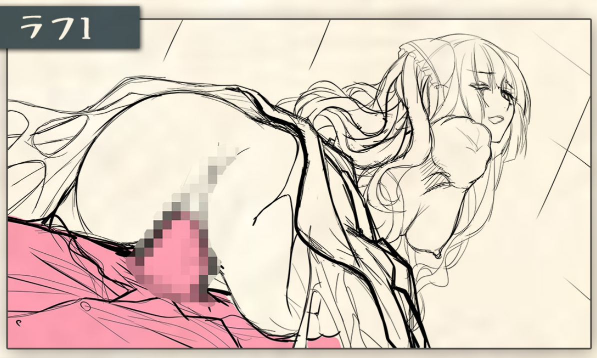
イベントCG：監禁されている残雪２

01/コンテ

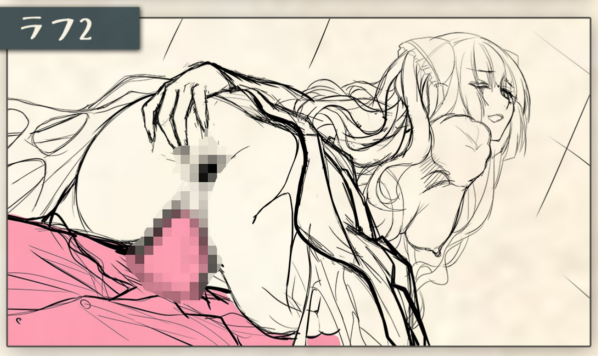


02/線画

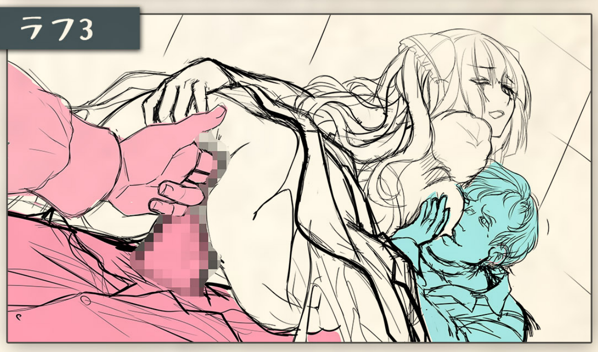
ラフ1



ラフ2

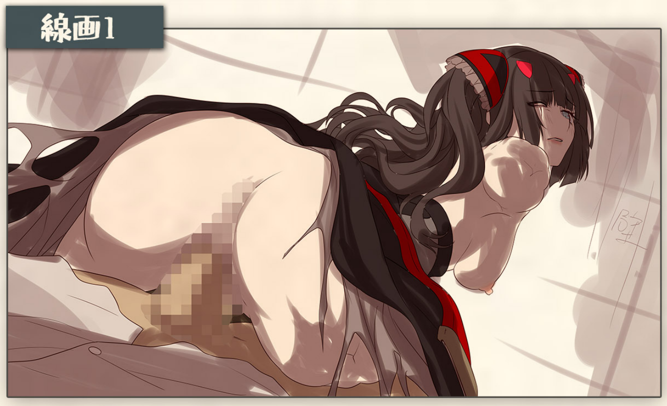


ラフ3

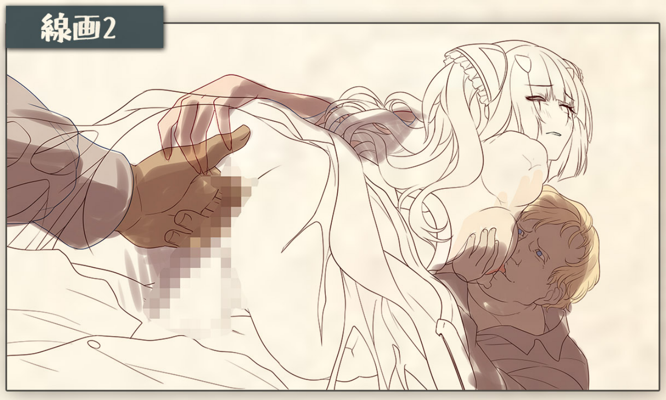


03/線画

線画1



線画2



[熱の檻]の続き。

ユキちゃん（仮）になった後の姿。

胸のところの男（ジャック・ピーターセン様３７才）が主張強いなあ。

イベントCG：手をつなぐ魔法少女

01/コンテ



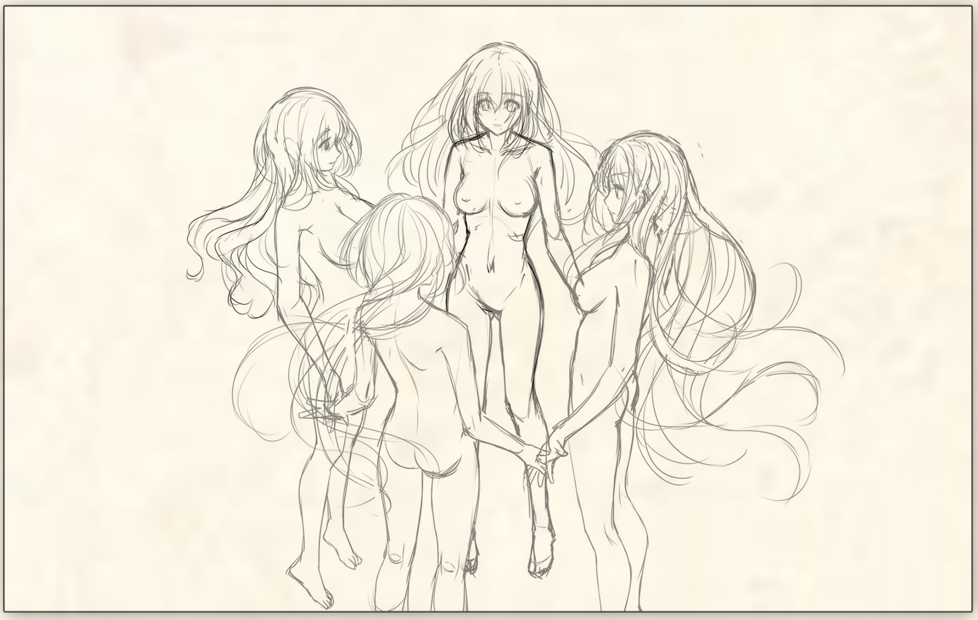
↑　完全に時間がないのがわかるコンテ

029

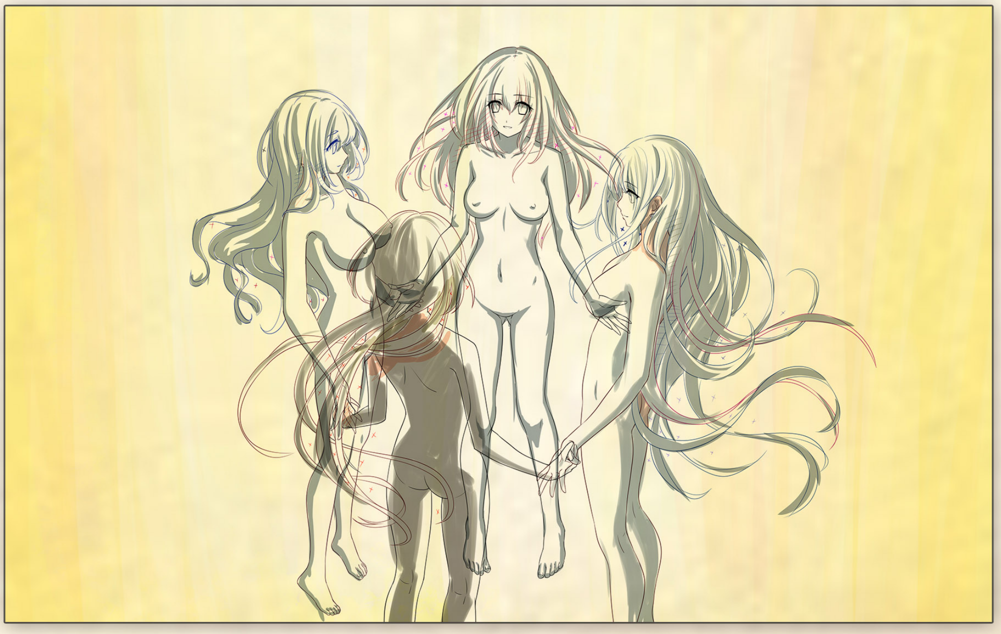
ここからまた「ちいさきものたちのゆめ」に戻ります。

光の女神になる直前の、手をつなぐシーン。
ナチュラルにリゼットが混じってるのがよいです。

02/ラフ

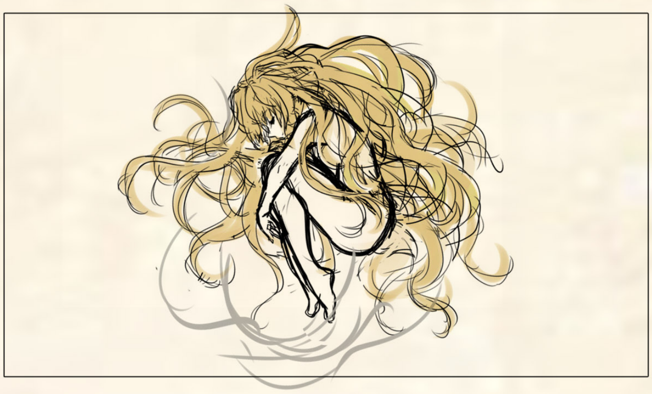


03/線画



イベントCG：あなたが夢みる、わたしのものがたり

01/コンテ



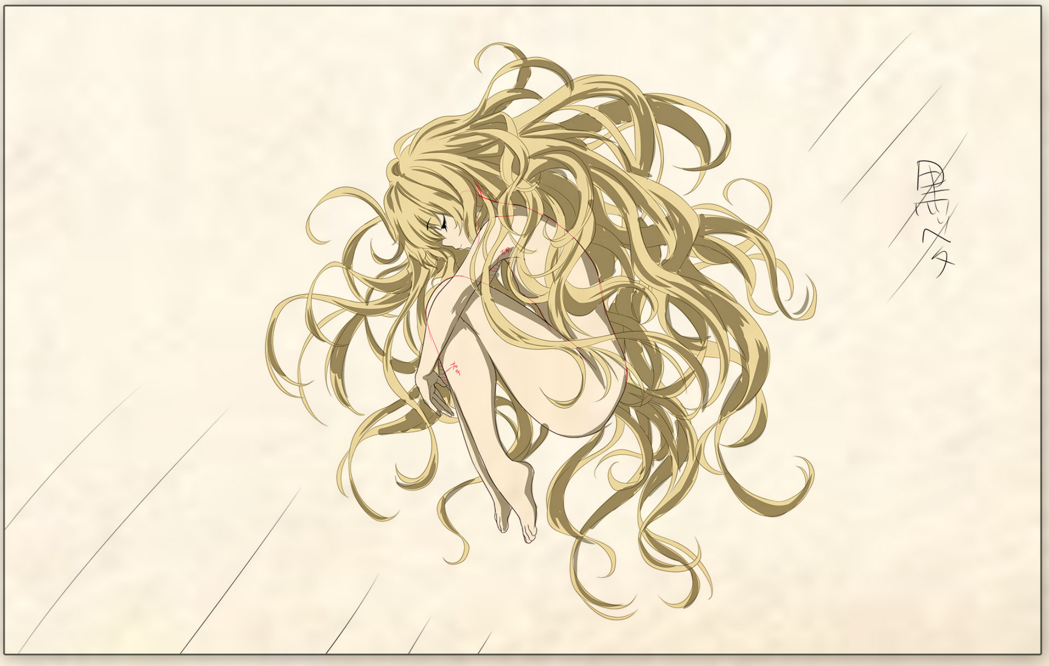
エピローグ[あなたが夢みる、わたしのものがたり]
での最後の絵です。

良い夢を。

02/ラフ

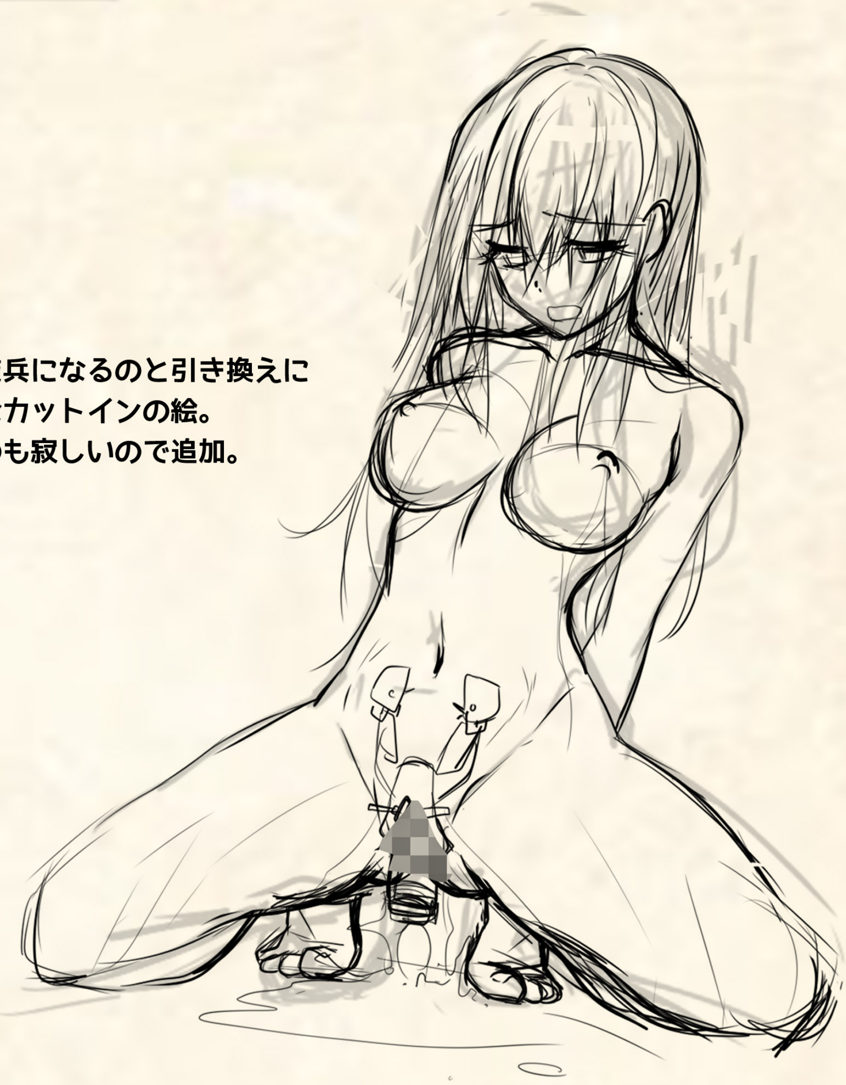


03/線画



イベントCG：その他

01/雨桐カットインラフ



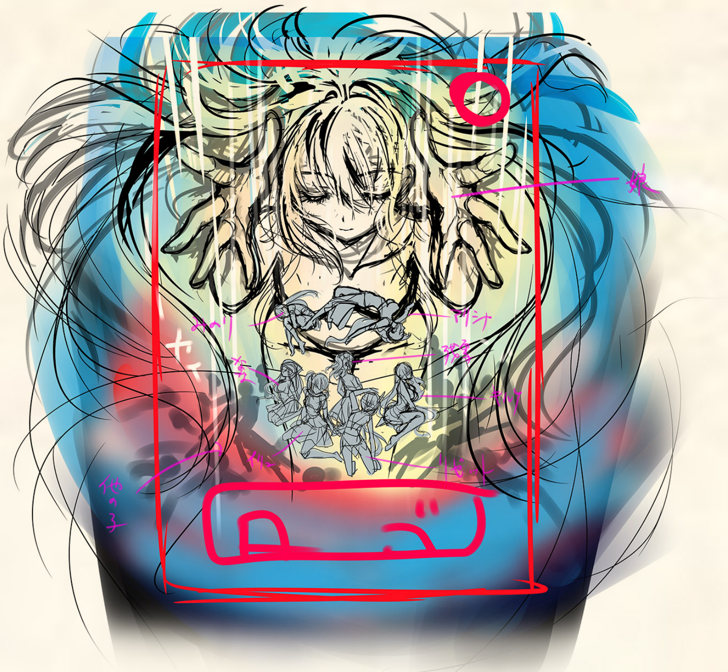
[續・月軌道会戦]で特殊戦技兵になるのと引き換えに
精神崩壊した桐桐のエッチなカットインの絵。
折角声があるのに絵が無いのも寂しいので追加。
最後に描いたキャラ絵です。

02/キバキの手ラフ



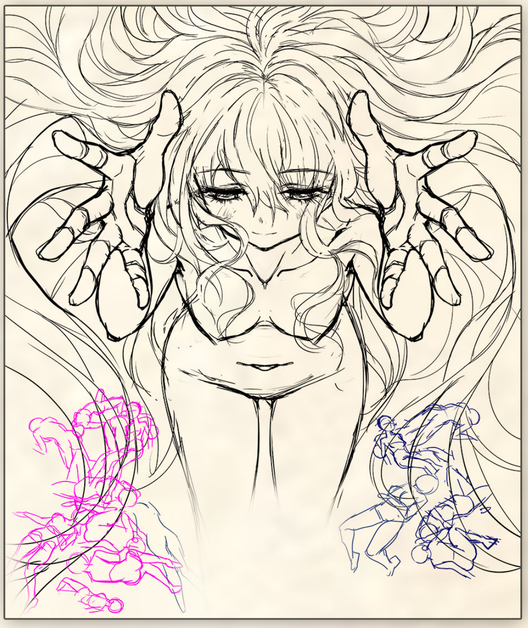
[ちいさきものたちのゆめ]でアリシャを葬ったキバキが
指にアリシャの髪を結ぶカットインの絵。
朝妻Ｄがとても入れてほしがっていたのでこそっと入れ
ました。

01/デザイン



↑　打ち合わせで朝妻Ｄから頂いた案で
膨らましたもの。
内容をとても表したものになっています。

02_1/背景ラフ



↑　少女は、ここで顔描いたことでデザイン
が決まりました。
両端は、他の魔法少女達の体です。
完成版には、キバキ、アビゲイル、万姫
に見えるシルエットがいます。

02_2/各キャララフ

01みのり



02七虹



03イリューシャ



04キルケ



05リゼット



06残雪



07アリシャ



ラフ01～07について

メインヒロイン達それぞれのラフ。
アリシャが特別扱いなのは、一応新キャラだから。
で、前作主人公のみのりも一応上に上げといてあげるか、みたいな。

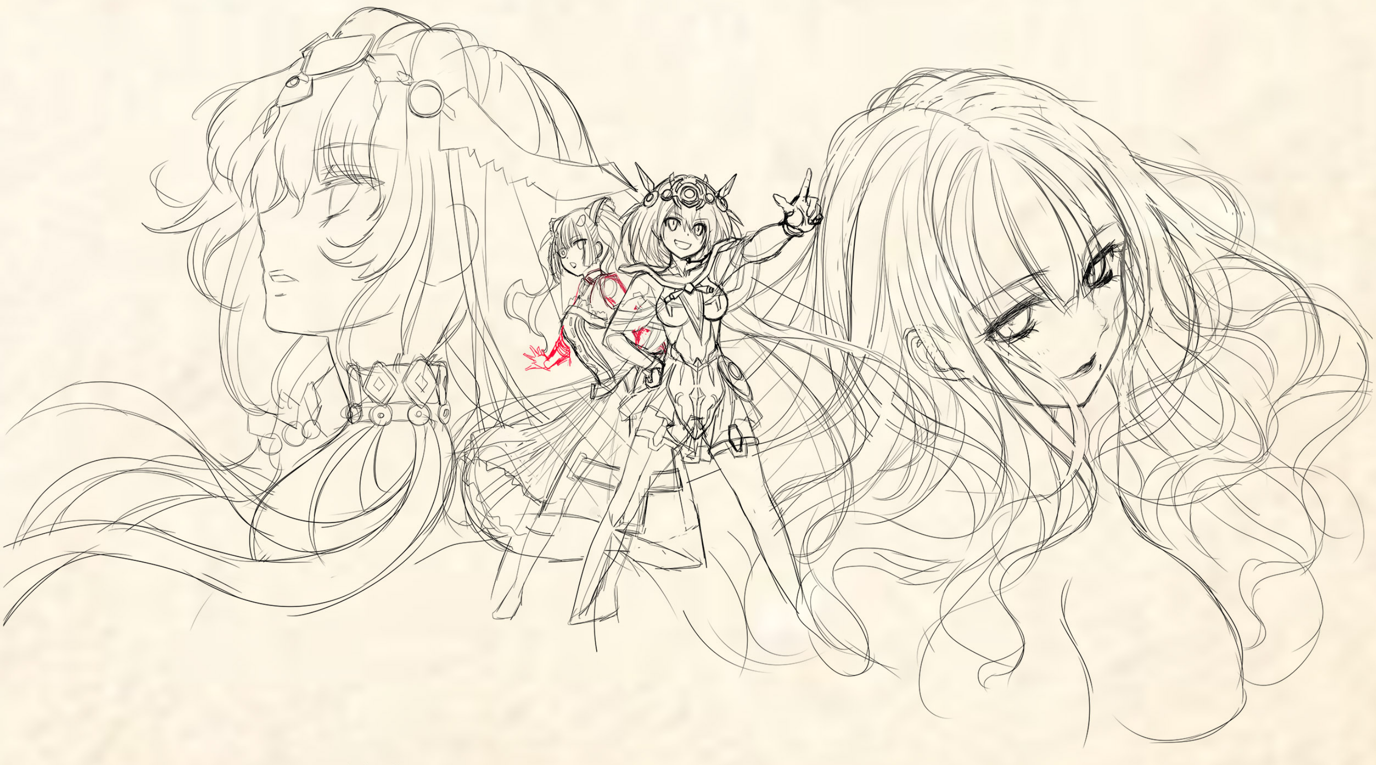
描き下ろし：カテドラルエディション　パッケージアート

01/デザイン



← 当初は立ち絵やありものを組み合わせて作る、
みたいなお話でした。
で、それはちょっと寂しいなあと思ったので、
最低限の追加で作れるものを考えた結果、
全入りボックス＝前作のビジュアルを使いつつ
オールキャスト＋新キャラ、という構成に
しました。

02/ラフ

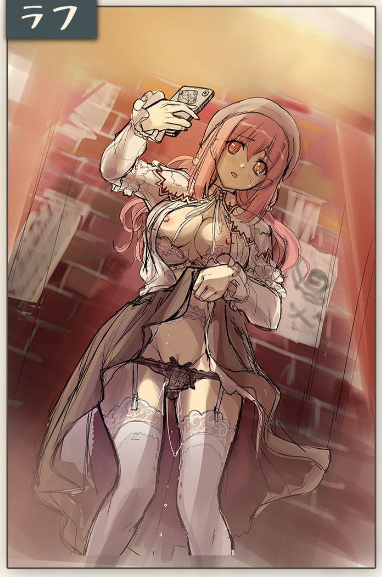


↑ 追加部分のラフ。
リゼットのキャラがようやく掴めてきた気がします（笑）

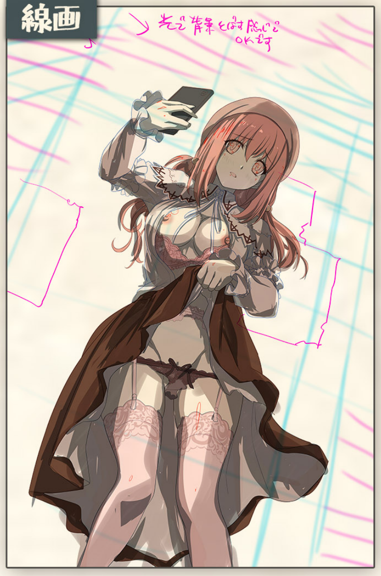
描き下ろし：店舗様特典1

01/みのり

ラフ



線画



光臣くんに微エロ自撮りを送っているみのり。
どういうシチュエーションだ？
しかも背景が胡散臭すぎる。自分で描いて
おいてなんですが全てにおいて謎の一品。

02/イリューシャ

ラフ



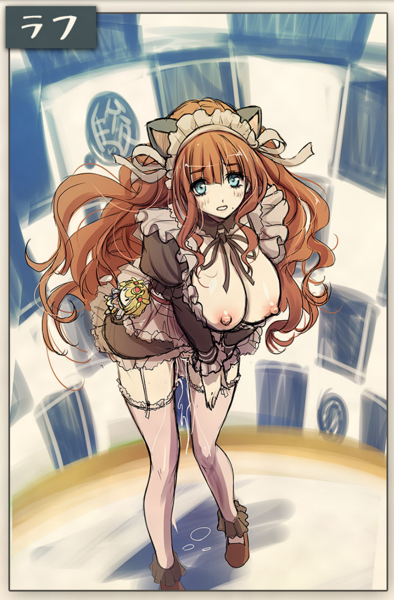
線画



[奈落]の後、カテドラルに行っていなかっ
たら、こんな感じで始まるショーに出たり
してたのかも、という感じです。
ちょっと化粧も濃い気がする。

03/キルケ

ラフ



線画



駿河屋さんのステージに上がらされてる
キルケ。正式ロゴ頂けたので本物です（笑）
今回は若くなったせいか店舗特典に呼ばれ
ました。

描き下ろし：店舗様特典２

04/リゼット

ラフ



線画



捜査をさぼる半裸探偵。携帯ゲーム機は
クラシックな奴。多分。
これもなんかおかしくて、最終的に首回りを
結構修正してます。

05/残雪

ラフ



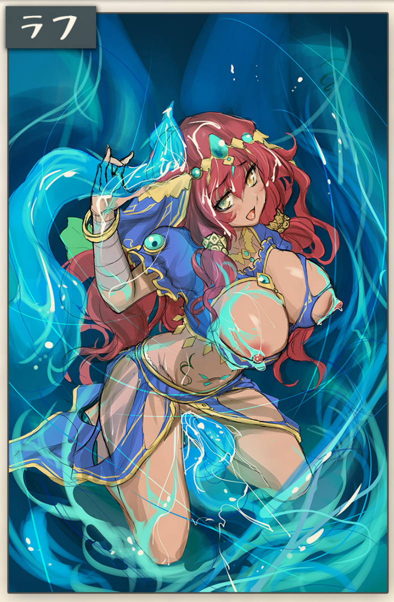
線画



お嬢様時代の優雅なひととき、
というイメージで。
ああいう態度ですが、テディベアを
溺愛してたに違いない。

06/アリシャ

ラフ



線画



この子だけが魔法少女コスチュームに
触手持ち。
「作品世界を宣伝します」という
意志と覚悟を感じます。
さすが新人。

描き下ろし：店舗様特典（没）

没ラフ

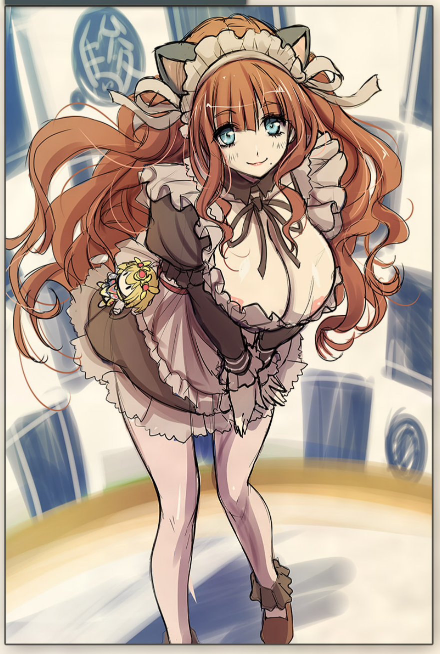
みのり



イリューシャ



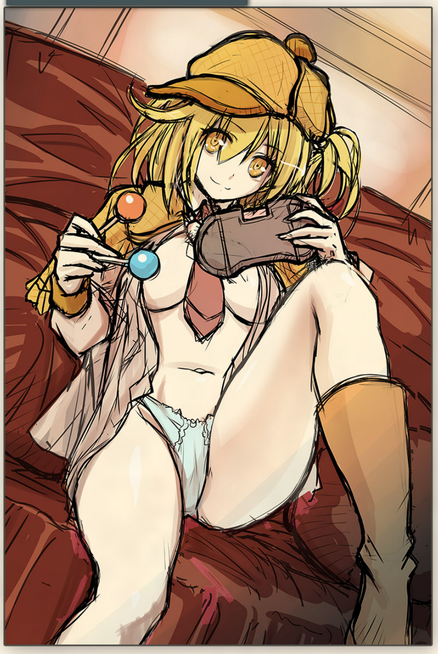
キルケ



残雪



リゼット



アリシャ



最初に出した「エロさが足りなかった」バージョン。
服をはだけさせたり、下着を脱がせたり、胸を出したり、何か出させたり、という修正をしました。

……ところで、誰か１人足りな（記録はここで途切れている）

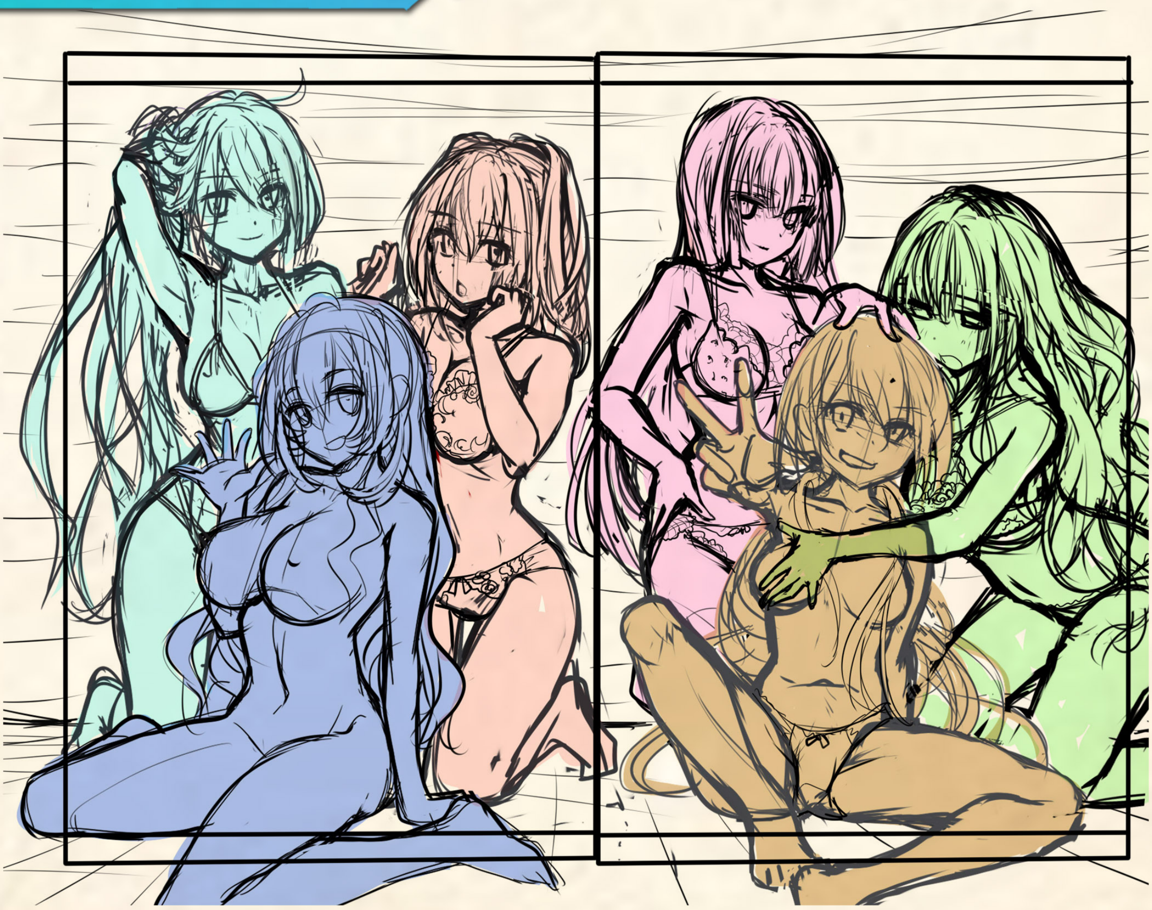
描き下ろし：おまけ

01/サントラジャケラフ



ポップアートっぽいタッチと色味で、見る人をだます気満々のジャケ。
楽曲はとても良いですよ！

02/タペストリーラフ



公式グッズのタペストリー
本当は一人１枚でつながるようにしたかったけど、さすがに無茶なので３人づつにまとめました。
店舗特典と違って、こちらは露出に厳しかったので、水着のような下着のような水着。

スタッフ対談１

◆参加者◆

丸谷秀人（シナリオ）　上田メタヲ（原画）　朝妻ユタカ（ディレクション）

◆『魔法少女消耗戦線 DEADΩAEGIS』誕生

【朝妻】
この度、スタッフ対談を行わせていただくことになりましたが、お二人ともよろしくお願いします。あらためて、前作【魔法少女消耗戦線 DEADΩAEGIS】の企画スタートの経緯などお伺いできればと。

【上田】
記憶がおぼろげなんですが、なんかミドルプライス（ここ重要）でSFホラーを作りたいという話をもって、丸谷さんにお話した記憶があります。
で、それだけでは地味なので、魔法少女とかアイドルとかがいいなーみたいな話をしていた記憶が。違いましたっけ？

【丸谷】
ああ、アイドル案も出ました。イリューシャとかにその名残があるのでは。
私の記憶では『触手→エイリアン→エイリアンvs人類→軍→軍に魔法少女が』みたいな連想で進んだような。

【上田】
触手は当然のようにあった覚えはあります。
あとは丸谷さんに直接お会いした時（まだコロナじゃなかった！）にいろいろお話して、じゃプロットよろしくおねがいします、みたいな。

【朝妻】
なるほど、元々はミドルプライスのSFホラー企画だったんですね、それがいつのまにか予定より膨らんでいたと。丸谷さんがシナリオを担当されるのは、どの段階から決まっていたのでしょうか。

【上田】
昔お会いした時に一緒にお仕事する機会があったんですが、いろいろあって流れまして。で、その時の丸谷さんのSF感がとても好きだったので、リベンジも兼ねてご連絡した感じです。
MAID iN HEAVENつくった人だし！

【丸谷】
そういえばPULLTOPに最初に声かけられた時も、
MAID iN HEAVENの人、だったなぁ。
仕事なかったしね！

【朝妻】
そうでしたね！（元PULLTOP所属）
では上田さんからのコンタクトで実現したと。丸谷さんとしては、お話があって、すぐに決められたのですか。

【丸谷】
もうこのままエロゲー書けないんじゃ無いかみたいな。お金もつきかけてたし。
もう声かけてもらったら、ガツガツ飛びついた感じで。

【朝妻】
なかなかに生々しいお話が……！
では、丸谷さんとしてもちょうどよいタイミングだったんですね。

【丸谷】
そうですね。しかも、ちょっと最近の仕事がみんな、ラブでコメばっかりだったんで。
上田画伯で触手で凌辱、Black Cycわっしょいな感じ。
実はハードなものは、仏蘭西少女ぶり。しかもがっつりＳＦは初めて。

【朝妻】
久々にハードな方向性のタイトルが作れるチャンスだったと。
そこで最初にお伺いした上田さん提案のミドルプライスのＳＦホラー企画があり、諸々の要素を加えていって消耗戦線のひな形ができていったのでしょうか。

【上田】
たしか最初にお話したのは2019年の12月でしたから、まさか完成まで1年以上かかるとは……。実は初期プロットのあたりで、小規模ミドルプライスという枠が怪しくなってるんですが、話してると楽しかったんで見ないふりをしてました。それが後になってボディブローのように祟ってくるのですが、それはまた後程。

【朝妻】
なるほど（汗）
ファンの方々からすれば嬉しいお話ですが、ミドルからフルへの移行はそもそもの予算も異なりますし、いろいろとご苦労があったとお察しします。そのあたり、のちほど可能な範囲でお伺いできればと。

【上田】
フルになったのはシナリオだけで、絵の予算はほとんどミドルプラスアルファくらいのまんまですから！

【朝妻】
あわわ（これは大変そうだ……）

【丸谷】
いまプロット第2稿を読み返していましたが、すでにブラック魔法少女という形で『死体』が出てきますね。

スタッフ対談２

【上田】
多分この辺りのプロットで救世主ルートがほぼ出来てますね。細かいニュアンスや着地点はさておき。

【朝妻】
ではプロット第2稿の段階で、全体のベースは出来上がったのですね。この時点でいわゆる天使、月という2ルート構想はあったのでしょうか。

【丸谷】
この次のプロット第3稿でもまだ月ルートは無いですね。テキスト量は一気に2.5倍になっていますが。

【朝妻】
月ルートは割と後になってから構想されたのですね。

【丸谷】
そうですね。今、読み直したらプロット第4稿でさえ月ルートが出てこない！

【上田】
月ルートについては、まだこちらは聞いてなかったかも。
でもヒロイン2人が確定で死んじゃうので、ちょっとまずいかなと思った覚えはあります。

【朝妻】
天使ルートではイリューシャと七虹の退場が意外と早いですよね。特にイリューシャは。上田さんが、ちょっとまずいと懸念されるのも分かる気がします。

【上田】
最後の方のプロットが上がってきた時は、もっと分岐が複雑で、他にも細々したバッドエンドがあったりして。
みのりがバーゲンホルム研究所でエンジンにされて２人で地球脱出とか（笑）。あれはちょっと惜しかった……。

【朝妻】
そんな幻のルートが（笑）

【上田】
ただ、途中でかなり僕の方から切ってもらった覚えがあります。分岐する割にあまり変化がないものとか、ご褒美（エロ）が無いとか。主に作業工数の問題でしたが。で、残ったのが月。これもやばかったですけど……。
前半でみのりが実験を受けたかどうかで後半に謎の分岐が発生するのは、あの辺のルート整理の名残ですね。

【丸谷】
そうですね。確かにもっとバッドエンドがあったような薄っすらとした記憶が。

【上田】
あの実験分岐はつじつま合わせにしか意味がなかったんで、ギリギリで月ルートのフラグにしたような覚えが。実験してるとブラカーシがみのりを勿体なく感じてて、地球行きの分岐が出てこない。

【丸谷】
おそらく先輩3人組の構想が出てきたあたりで月ルートが出てきたのではないかと。最初リゼットは英雄ちゃんでした。

【朝妻】
ということは、リゼットたち3人は割と後から存在が確立したのですか？

【上田】
リゼットとキルケはいましたね。みのりたちG14組を含めた5人は、確かプロットと並行というか先行でデザインやネタを出して、随時送っていたと記憶しています。

【丸谷】
多分ですが後輩3人組、先輩3人組だとバランスが良いみたいなのがあって、それから月ルートが出てきて、それと共に残雪のキャラデザが出来たのではないかと。

【上田】
あるとき、もう一人増やしたいって言われて、バランスの話をされた覚えはあります。

【朝妻】
前作のデジタル原画集でも急遽増えたサブヒロインとありますね。
では残雪が追加されたことで、先輩三人組と現役三人組が揃ったと。

【丸谷】
残雪は後付け。だから上田さんからぽーんと出してもらって、これで！　みたいな感じだった。最初から欠損眼帯少女でした。少なくとも眼帯はあったような。

【上田】
ありました。なんか欠損包帯黒髪ロリ美少女なイメージでちゃちゃっと描いた記憶が。

【丸谷】
なんせ、初期のデザインだと残雪さんマシンガン装備してる。

【上田】
テロリストだし。

◆『魔法少女消耗戦線 DEAD Ω AEGIS』開発消耗戦線

【朝妻】
この辺りで大体の骨子は揃った印象を受けますが、それでは実際に開発を進めていかれるにあたってのエピソードや苦労話などお伺いできればと。上田さんからは、先ほど先行で少しお伺いしましたが（汗）

【上田】
なにもかもがみな懐かしい的な記憶しかないのですが。
この開発期間でディレクションというか開発進行全般と絵周り全部というのは無茶だと思いました。

【朝妻】
本来、絵周りだけでも相当な負荷がかかると思うのですが、それにディレクションやら開発進行まで担当されていたというのはかなり驚きです。

【上田】
blackcycの時もディレクター兼ねてたのは普通だったので、今回も始める前は当然のような感じで特に気にしてなかったんですが、あのころは会社の中、チームの中にいたわけで、やっぱ全然違うんですよね。特に自分は抱え込み型なのでmetalogiqの方には迷惑かけまくりでした。

【朝妻】
確かに社内のチームとして進めるのと外部で進めるとでは、勝手が違うところ多々あると想像できます。

【上田】
10月くらいにいろいろパンクしたんで、開発作業を少し手伝ってもらうようにしましたが、それでもなかなか。
ちょっとしたUIとか素材とかチェックとか、ぜーんぶ俺みたいな……。

【朝妻】
元々がミドルプライスの企画だったというのも、スタッフの人数などに影響したのでしょうか？

【上田】
うーん　どうでしょう。
外注でディレクションとか中心になってやるのは意外と大変なんだなって印象ですかね……。なにげにずっと会社所属でスタッフと顔つき合わせて開発して来てたので、今回のような形は楽だけどしんどいなと……。
ほぼ個人製作みたいな。小規模なものならいいんでしょうけど。

【朝妻】
なるほどです。ちょうど開発期間中に上田さんとお会いする機会があったのですが、睡眠できない体質になっていると話されていたのが記憶に残っています。これは大変そうだなと（汗）

【上田】
もう歳だしね（笑）

【朝妻】
なにげに僕を含め、アラフィフの開発チームですね。

【丸谷】
歳はありますね、徹夜がこたえる。徹夜ができても、翌日は使い物にならない。

【朝妻】
丸谷さんはプロットが固まってからは、ひたすら執筆の日々だったかと思いますが、やはり徹夜してしまうこともありましたか？

【丸谷】
最初のうちは時間が無限にあるような気がして（錯覚）余裕があるんですよね……。
三ヶ月先とか、永遠みたいな（大錯覚）

【朝妻】
開発者の大半が陥る罠ですね……。

【丸谷】
執筆後半。特に、月ルートが危ない！　みたいになったあたりから、お察しで。

【朝妻】
実際に前作のデジタル原画集でなんとか月ルートを入れることができたと仰っていましたが、それだけ天使ルートが難産だったということでしょうか。このあたりは、ファンの皆さんも気になっているところだと思います。

【丸谷】
書いても書いても終わらない。特に８月が終わったあたりで……
ふぅ、傑作書いちまったぜ……みたいな気分が（終わってない！）

【朝妻】
ああ、８月大侵攻。実際、プレイされていて、あそこで『魔法少女消耗戦線・完』という気分になった方もおられるのではないかと思います。

【丸谷】
あと８月以降、プロット段階では大きな分岐がひとつ存在して（みのり完全墜ち、キャラハン一時的に大勝利）みたいなのがあって。

【上田】
さっき言ってた分岐整理の時にざっくり切りましたな。

【丸谷】
誰得だったし、イベントCGが割けるわけでもなかったので。それに途中分岐で末路は同じという。だから月ルートほど大きな分岐ではなかったわけですよ。ということで廃止に。

スタッフ対談4

【上田】
このルートは読み手に取ってどういう意味があるかとか、どんなご褒美が、みたいな話を切るときにしたようなしてないような。

【朝妻】
なるほど、ちょっとだけ見てみたかった気もしますが、月ルートと秤にかけるとそれは整理せざるをえないですね。

【上田】
月はみのりたち3人が生き残るルートだから、残さざるをえません。ヤバかったけど。

【丸谷】
月ルートはないとね。そもそも残雪さんが何なのか、よく分からなくなっていたところでした。

【朝妻】
お話を聞けば聞くほど、月ルートはかなり瀬戸際だったのだなというのを感じます。

【上田】
シナリオ作業の終わりがけになると音声収録との兼ね合いがあって、いろいろ調整と収録スタジオさんへの平謝りばかりやってた気がします……。
もちろん自分の絵作業もおわってない！　みたいな……。

【丸谷】
ひたすら申し訳ない。

【上田】
月ルートが無いと、残雪出番ないんで、実際いろいろ大人の都合で切るわけにはいかなかったんですけど、丸谷さんにはもう切るしかないですよみたいな話をしてましたっけね……。

【朝妻】
ついに打ち切りの予告が……！

【丸谷】
されました。本当にぎりぎりでした。凄く迷惑かけました。

【朝妻】
月ルートがないと、ほんとに援軍にやってくるだけの人になってしまいますからね。あとは天使ルートのラストシーンはありますが。

【丸谷】
天使ルートの最後で、残雪をああいう形で出してしまった以上、なんとしても書き上げねば！　みたいな火事場のバカぢからが。

【朝妻】
ではそんなギリギリの戦いをなんとか潜り抜け、丸谷さんの徹夜の甲斐もあってシナリオが完成。上田さんが各方面に調整をされた結果、音声収録に至ったことで、ようやく完成が見えてきた感じだったのでしょうか。

【上田】
実は当初の予定より１ヵ月延期してるんですよね。スクリプトが明らかにおっつかなくて。大晦日から正月にかけて８月大侵攻のスクリプト作ってて、終わらん！　みたいな……。

【朝妻】
確かにそうですね。消耗戦線は戦闘シーンも多いので、スクリプトはかなり大変だったと。

【丸谷】
ヴァーンと死体が出てくるシーンとか。

【上田】
あの辺は楽しいですね。

【丸谷】
戦闘シーンになると銀河英雄伝説の小説版っぽくなる消耗戦線。どういう演出でくるかなぁと。しかもあの辺まったくエロがないし！

【上田】
僕はずっとレン○マンみたいだなーと思ってました。ノリとか戦略とか。大質量隕石ぶつけるとか。

【丸谷】
ああ、確かに新兵器とかが出てくるシーンはそれっぽいですね。Ｘ線自由電子レーザーとか。

【上田】
存在しないけど（笑）
予算獲得のための兵器！

【朝妻】
ノベルパートを効果的に使われている印象を受けました。

【上田】
結構苦肉の策です。
細かい戦況とかどうしようもないんで、確か容量圧縮もかねて、要所要所でそういう書き方にしてもらってましたね。淡々と戦況報告みたいな

【朝妻】
なるほど、シナリオの時点から既に工夫がされていたのですね。
自分はテストプレイで参加させていただいたのですが、個別のＣ．Ｃにもちゃんと絵が用意されていて、アンブレラが破れるビジュアルとかもあったのには驚いた記憶があります。

【上田】
Ｃ．Ｃはすごく楽しかったので、勝手に追加して入れました。
女の子描くより好きですよ。直接の売り上げとかに関係ないし（多分）好き勝手に描けるのがいいですね。

【朝妻】
クリーチャー愛ですね（笑）

スタッフ対談５

【丸谷】
だからFDでは新しいＣ．Ｃを登場させたくて、鮫男爵が。

【上田】
鮫男爵は名前だけ出てきたときに、サメ好きとしてはピピっときたんでFDでレギュラー入りさせてもらいました。ありがとうございます。

【朝妻】
前作のデジタル原画集に載っていた鮫男爵も可愛くて好きですが、本作ではずいぶん立派になったと思います！

【上田】
口から本体？がでてるのは同じですね（笑）

【朝妻】
ＯＰムービーでも結構目立っていましたね（笑）

【上田】
最初はムービーにいなかったので、ギリで追加してもらったやつ（笑）

【朝妻】
スクリプトにお話を戻しますと、やはり音楽が欠かせない要素になりますが、宮内さんに依頼されたのはどういった経緯なのでしょうか。

【上田】
もともとファンだったところに、何の因果かここ数年でお知り合いになって一緒にお仕事をするようになってたりしまして、その縁で今回お願いしました。
アダルト（しかも結構アレな）だけどどうかなーと思って、おそるおそるお願いしたらご快諾いただけました。
宮内さんの書かれる曲は、キャッチ―なメロディとドラマ劇伴としてのバランスが自分の好みドストライクなので。今回もよい曲を書いていただけてありがたいです。

【丸谷】
かっこいい音楽でした。８月の時が特に。

【上田】
８月の曲はあれ用の長い展開の曲なんですが、ゲームのクリックスピードは人によって違うはずなのに、なぜかいい感じにゲーム展開にあった曲展開になるという不思議な曲です。

【朝妻】
実際にユーザーの方からも、楽曲の評価は高いと思います。作中でもかなり貢献されていた印象を受けました。

【上田】
あと、デンカレさんの主題歌があるのですが、主題歌とゲームBGMが別みたいな印象にしたくなかったので、無理言って戦闘曲に主題歌のアレンジメロを入れてもらいました。あれもよかったです。ちゃんと歌もゲーム世界にありますよという感じで。

【朝妻】
勝ち確のテーマこと『特殊戦技兵装、展開！』ですね。あの曲は自分も大好きで、何度もリピートして聴きました。デンカレさんのかっこいい主題歌が、うまいこと取り入れられていたと思います。そんな楽曲の支えもありつつ、ユーザーの方々へとお届けできる状態へと仕上がったと。
それでは、発売されてから振りかえっての感想のようなものを、お二人からいただければと。

【上田】
完成してよかった……。

【丸谷】
完成してよかった……。

【朝妻】
おお、まさに魂のつぶやき的な……！

【上田】
あとはもっと売れたらいいな。

【丸谷】
あ、あとリゼットが人気投票１位とは思わなかった！
一番エロくないキャラなのに！

【上田】
リゼットは最初自分の好みで真逆のイメージだったのですが、丸谷さんの最終形でこういう結果になったので、あ、これはもうFDは全部おまかせしていいやーと思ってます！（笑）

【朝妻】
お二人の健闘があってこその評判と、そこからＦＤの開発へと繋がったわけですので、本当にお疲れ様でした！
それでは、スタッフとしても意外なほどの人気だったリゼットのことも含めて【魔法少女消耗戦線 another record -ちいさきものたちのゆめ-】のお話を伺っていければと思います。

◆【魔法少女消耗戦線 another record -ちいさきものたちのゆめ-】始動

【朝妻】
まずは本作の開発経緯といいますか、どの時点でいわゆるファンディスク的なものを作ろうというお話になったのでしょうか。

【上田】
実はよく覚えてなくて……いつのまにか企画書出すことになってた……。
特殊な背景リソースとかが勿体ないので、FDとか出してもいいんじゃないですかみたいな話はしたかもしれません。

【丸谷】
まあ確かに一般社会を舞台にしたお話では使えない素材ばっかりですね。

【上田】
やるなら、続編は難しいのでFDなのかなとは。

【丸谷】
前作で綺麗に終わってるんでどうしようかと。
ちびリゼットが地球に降りて以降とかの話にすると、天使ルートが正史だと言われそうだったし。

【朝妻】
確かに前作の時点で、綺麗に物語がまとめられた感はありましたね。

【上田】
やるなら前作でカットされたところの補完と考えてたので、小分けのエピソード集の方が、余計なところまで作らなくていいかなと思いました。ルートのことも考えないでいいし。

【朝妻】
なるほど、オミットされた要素が結構あるとのお話でしたので、補完も兼ねてということですね。

【丸谷】
人気投票結果とかを見て、イリューシャと残雪のエロのお話は必要だろうなぁと。

【朝妻】
先ほども少しお話が出ましたが、発売後の人気投票結果はお二人にとっても予想外でしたか？

【丸谷】
イリューシャと残雪が強くて、二人の票が割れたところに、まちがってキニスンが入るのがワンチャンみたいな予想でした。キルケと七虹とチャン副司令が弱いのは予想通り。

【上田】
七虹は見た目は一番好きなんですけどね。描きやすいし。
今回の結果は、ゆるふわウェーブキャラには風当たりが強いです。

【丸谷】
わかる。悟がみんな悪いんや。

【朝妻】
悟が悪い！

【上田】
妙に生々しいのがダメだったのかなとか……。

【丸谷】
やはり男がいる時点で駄目だったのでは。あと、みのりにアレするし。

【上田】
あー蹴りは一線こえてますかね。

【朝妻】
前作をテストプレイして、実際に一番心を抉られたのはキャラハンでもＣ．Ｃでもなく、七虹のアレでしたね（汗）

【上田】
絵にまで描いてしまったのが敗因か。

【朝妻】
いやむしろあれがあってこそという気はします。エグいですが！

【丸谷】
あの絵は必要でしょう。ただ、ライター的には、七虹はクズでもゴミでもないです。あんな環境で辛うじて何かにすがってれば……すがった相手が悪かった。ただユーザーさんが嫌うのも判る。

【上田】
僕は最初から七虹は壊れてるとおもってました。と丸谷さんにも言ってた気がする。

【朝妻】
そしてお話を戻してリゼットですが、まさかのぶっちぎり1位で、あの辺の順位も受けて本作のエピソードが決まっていったのかなと思いました。

【上田】
最初はリゼットメイン話（仮）みたいな枠をつくってましたけど、なんか「リゼット一人称での物語」ってどうなの？　みたいな感じで、結局消えたような。

【丸谷】
ですね。あの人だけは一人称がない感じに。リゼットという現象というか。

【上田】
いろんなエピソードで暴れてる方が魅力的なキャラといいますか。

スタッフ対談７

【朝妻】
人気キャラであるリゼットをどう扱うかは結構議論になりましたよね。自分が参加させていただいたのは、上田さんの方である程度エピソード案的なものが出来たあたりでした。

【上田】
前作で無茶がたたったので、FDやるなら開発を見てくれるディレクターを他の人にやってほしい、というお願いをしまして、OK出たのでちょうどお付き合いのあった朝妻さんにお願いすることにしました。
さすがに全く知らない人に頼むわけにもいかないですし、ゲーム開発経験も丸谷さんとも組んだ経験もあるかたなので、話も早いかなと。
おかげで絵関係に集中できまして、割と最近まで人間の生活が維持できました。ありがとうございました。

【朝妻】
こちらこそ、ほとんど『魔法少女消耗戦線』の1ファンのような気分だったところ、お誘いいただき光栄でした。ありがとうございます。

【上田】
打ち合わせ中にすぐに90年代アーケードゲームとおもちゃの話になることだけが問題でした（笑）

【朝妻】
開発に必要な共通言語だったということで（笑）

【丸谷】
共通言語大事。

【朝妻】
丸谷さんとの共通言語はマイナーな邦画でしたよね。そんな流れでの参加となりましたが、まずは収録するエピソードを固めていこうということに。

【上田】
最初に、必須で入れて欲しいものを幾つかリストアップして、あとはこんな案かなあ、みたいな感じだった気がします。
イリューシャエロと残雪エロが必須にしてたのは覚えてる。両方とも本編で飛ばされてたので。

【朝妻】
そうですね、上田さんのリストアップされたものをベースに、実際にどういったエピソードに落とし込むか打ち合わせを重ねていきました。

【上田】
基本的に、あとは丸谷さんが描きたいものでいいんじゃみたいな、わりといい加減な提案でした（笑）
アリシャを出したいというのもあったかな。どちらの発案だったかは覚えてないですが。

【朝妻】
上田さんのリストアップされた要素と、丸谷さんのやりたいと言われるお話をすり合わせていくのが、自分の初仕事でした。アリシャについては、お二人どちらからも上がってきていましたね。

【上田】
みのりだけはもう前作で十分かなっていうのはありました、みのりごめん。

【朝妻】
みのりさんは前作で存分に働いたので……！

【上田】
もう許してあげてって思いました。

【丸谷】
あれ以上してもなぁ。

【朝妻】
みのりさんは楽にしてあげようというのはスタッフの総意だったので、本作のような結果に。しかし通称クーデタールートであるところの『ちいさきものたちのゆめ』で主人公らしさは発揮できたと思います。

【上田】
リゼットが締めるのは変だし、目立ってるイリューシャというのも違うし。やっぱりみのりさんあってのこの話。
あと、魔法少女フォームでのＨなシーンがあまりに無さすぎたので、それを補完したいとかも話した覚えがあります。

【丸谷】
しました。アリシャと残雪にその辺が反映されているかと。

【上田】
しかし設定的になかなか厄介（汗）

【朝妻】
魔法少女コスのエッチを補完しようというのはありましたね。
問題はＣ．Ｃとエッチすると、もれなく死ぬところで。

【丸谷】
そういえば、ちびリゼットが語り手というのは、どの辺で思いついたんでしたっけ？　紐水着編のあたりかな？

【朝妻】
ちびリゼは元々、彼女自身のエピソードが案としてありましたね。
それとは別にFDとしてエピソード全体の繋がりを何らかの形で持たせようと自分が提案していて、それを丸谷さんにお話したところ「では、ちびリゼが観測している物語で」となったと記憶しています。

【上田】
あーそういえば、ちびリゼと残雪の面白珍道中みたいなのも最初のエピソード案にありました。

【朝妻】
そうですね、天使ルートの続き的な。

スタッフ対談８

【上田】
月ルートの続きの案もあったなあ。
みのりたち3人があと一回だけ変身して活躍する、みたいな。
でも肝心の敵がいなかった！

【丸谷】
地球が敵になるしかないでしょうな。地球でメカゴジラ的な魔法少女を造って火星に攻撃してくる、みたいな。

【朝妻】
メカ魔法少女……！

【上田】
ゾンビもので始まったのに、結局敵は人間同士みたいなノリだ……。

【丸谷】
あと、ここまで光臣くんが忘れ去られるとは思わなかった！

【朝妻】
光臣くん、あんなに重要人物なのに（笑）
ではその辺りの諸々を含めて、本作の各エピソードについて伺っていきたいと思います。

◆アリシャ・オラオンは死んだ

【朝妻】
当初は『赤毛の少女』と呼ばれていたエピソードですね。
前作において一部で大人気となったアリシャさんが、ビジュアルにボイスまで備えてまさかの大出世。

【上田】
こそっとＣ．Ｃ版の絵が差し替わっているのはここだけの秘密です。

【朝妻】
めちゃくちゃカッコよくなったというか、強敵感マシマシになりました！

【上田】
人気投票絵準拠にしました、DVD版で作画が修正される奴。
そしてアリシャ編といえば、タイトルが究極の出オチ。

【丸谷】
死ぬことは決まっていたので。キバキが出てくるまでは、なかなかまとまらなかった覚えが。

【朝妻】
アリシャ編は、当初はアリシャ視点で死ぬまでを淡々とダイジェストで語っていくという案だったのですが、キバキを加えていくことでかなり良い変化が起こった気がします。

【丸谷】
そうです。当初は、本編と同じ構成の裏ルートという感じでした。
アリシャ編が書けたことで、他の特殊戦技兵のキャラを掘っていくのに繋がった面はありました。

【朝妻】
キバキを出すというのは、どういった流れで思いつかれたのですか。

【丸谷】
褐色と黒人、絵になる。というのと、本編でモブ特殊戦技兵の中で名前が出てくるツートップだから。でも、あの話のおかげで一番得したのはアビーさんだった。

【上田】
サンダー。

【丸谷】
サンダーインパクト。

【上田】
先にこれを読んでる人にはさっぱりわからない（笑）

【丸谷】
なんで白馬でサンダーなのかと言うとですね。
実家が金持ちのお嬢さんが最後に見る夢で、しかも外国のお嬢さんで、と考えたら白い馬が浮かんだんです。イギリス人だから豪邸には厩舎と馬場があって、しかも白馬なら絵になると。。アビゲイルさんは、色々とプライド高くて素直じゃない人ですけど、愛馬の前では素直になりそうだなと。
サンダーは単に速そうだから！　という考えであんなシーンに。

【朝妻】
熱いサンダー推し。いやーあのシーンはよかったですね。本作の中でも、一二を争うくらいお気に入りです。アビーはあれ一発で救われてる感が強いですね。

【上田】
朝妻さんが隙あらば、サンダーのシーンのイベントCG優先度を上げてくるんですが。

【朝妻】
可能ならカットイン的なものでもいいのでと上田さんにワガママを言いました（汗）
そしてこの会話からなんとなく察せられるかもしれませんが、最初はキバキさんも立ち絵はありませんでした。

【上田】
Ｈも無いし、ああいうキャラなんで割と好きにゴツい系女子を書けて楽しかったです。腹筋割れてるし。

スタッフ対談９

【朝妻】
それならよかったです！　腹筋は確かにバッキバキですね。

【上田】
魔法少女（少女？）フォームは立ち絵だけだからと、その場の勢いで好き勝手に描いてたら、まさかのイベントCG2枚で描く羽目になって泣きました。めんどい……。

【丸谷】
パイルバンカー。巨大ロボット系魔法少女。

【朝妻】
シナリオを書かれる中でどんどん膨らんでいったキャラになりましたね、キバキ。アリシャとの関係性も、印象的なものになったと思います。
キバキによって、アリシャの物語に幅が出たといいますか。そんな印象を受けました。

【丸谷】
あと、一部で妙に人気があったエマさんも、徐々に掘り下げが……。
アリシャ編で書いたことが『ちいさきものたちのゆめ』編の内容に反映されるとは、執筆当時は思わなかったです。

【朝妻】
後でお伺いする、ユーザーさんより募集した質問にもエマに関するものがありました。
そして本エピソードの主役であるアリシャですが、もっと女王様然とした性格を予想していたのですが、ちょっと印象が違っていてよい意味で意外でした。

【丸谷】
あの世界、各国が特殊戦技兵を少しでも多く送り込みたいんで、ああいう境遇の子が結構多いんですよ。アビゲイルさんみたいなのは異端。

【上田】
『續・月軌道会戦』で、さりげなくアビゲイルの母だか姉だかが英雄になってるのが細かいです。

【丸谷】
姉ですね。兄は最初の月軌道会戦で死んでいるので。

【朝妻】
その辺り、丸谷さんシナリオらしい横のつながりですね。

【丸谷】
シナリオライター的には、アリシャ編が後の話の方向を結構決定づけた気がします。探偵を除いて。

【朝妻】
実際、本作の中で一番最初に上がったのがアリシャ編なのですが、アリシャだけではなくキバキや他の特殊戦技兵など、以降のエピソードにも関わっていく要素が出来上がっていった感じはします。
では次は、その例外である探偵編について。

◆名探偵は事件を捜査しない

【朝妻】
リゼットを活躍させるエピソードは必須ということで、ではどんな話がいいんだとあれこれ議論した結果、この内容に落ち着きました。

【丸谷】
一応、リゼットの妄想力が時空連続体に影響して出来た可能性世界ということになっています。

【朝妻】
最初から選択できるエピソードで、特にちびリゼのモノローグも入らないですが、実はそんな裏設定が。

【丸谷】
一応、前作オールキャスト出演を目指して書かれたのに、もう少しで光臣は忘れられるところだった……。

【朝妻】
あの演説シーンは急遽追加されたものです。上田さんから指摘されなければ僕も見落とすところでした（汗）

【上田】
みのりがいなかったら所詮その程度の男ということかな……。

【丸谷】
一応、ヒモ水着回では、台詞ではちらっと触れられている程度。
FDで取り扱っている部分が、時間的に光臣クンにとっては悪かった！

【朝妻】
どうしても本編の世界軸では先輩3人組が仲良く過ごすというのは難しかったのですが、こういう形でも実現できたのはよかったかなと思います。

スタッフ対談１０

【丸谷】
「引退したら3人で探偵でもやろう！」とリゼットが言ってたのが元ネタ。

【上田】
あの時の残雪の予想と似たようなことになっているのが（笑）

【丸谷】
リゼットに経営能力ないですから！　それに普通の意味で頭はよくないし！

【朝妻】
確かに（笑）
あと貴重な特殊戦技兵装モードのキルケさんを拝めるので、実はリゼットだけではなくキルケスキーな方にもご褒美かもです。

【丸谷】
立ち絵すらないですからなーキルケの特殊戦技兵装。目が光るだけ。

【朝妻】
もともと変身させる予定がなかったのでー！

【上田】
『續・月軌道会戦』で若キルケを実装できただけでもよしとしてください。

【朝妻】
かわいいですよね若キルケ。ゆるふわぽい美少女がなんであんなにおっとこんな時間に誰かきたようだ。

◆續・月軌道会戦 –冥界宙域編–

【朝妻】
そんな若キルケさんが首絞められたり、おっぱい吸われたり散々な目にあうエピソードです。ちなみに『續』が、この字なのはやはり残雪が関係していたりするのでしょうか。

【丸谷】
なんか續の字が好きなので！

【朝妻】
（そんな理由だった……！）

【丸谷】
なんか重々しくてかっこいいから！（リゼットかい！）

【朝妻】
いわゆるカテドラル・ビフォアとしてユーザーの方からも望まれていたエピソードだと思うのですが、シナリオ的には詰め込まなければならない要素が多くて結構大変でした。

【丸谷】
ですね。長かった！
前半キルケメイン、後半残雪メイン＋キルケと決まった時に、これで書けそうだなと。

【朝妻】
丸谷さんからシナリオが凄い勢いで上がってくるのですが、凄い勢いでボリュームも増えていくので喜びつつ青ざめるという。

【上田】
スクリプト大変でしたよ……。

【朝妻】
おつかれさまでした……！

【丸谷】
おつかれさまでした……。

【上田】
残雪とか実は過去の絵って最低限の表情しかなかったんで、今回足りなくて追加しました……予期せぬ作業（汗）

【丸谷】
鮫男爵は出てくるし、最初の８月侵攻はあるし、残雪の腕も脚も切断されるしで。

【上田】
キルケがだんだん邪悪な笑みと素の顔が切り替わっていくあたりは良いですね。

【丸谷】
ブラカーシさんだけは、好きに生きているという。
『ブラカーシと名乗る男が現れたとき！』ですから。

【朝妻】
今回、予告編ぽいテキストは全部書きましたけど結構苦労したんですよ（汗）
なんかあるでしょ予告編とかで、ああいう締め方。

【上田】
ブラカーシさん、過去編だと少し髪が多いです。残雪がそう言ってたので。

【丸谷】
ですね。本編で残雪さんに、生え際が後退したと言われてましたね。

スタッフ対談１１

【朝妻】
そして今回もブラカーシと絡むことが多いキルケさんですが「立て豚」って台詞はかなり好きです。

【丸谷】
キルケさん溜まってたんですよ。

【上田】
自暴自棄になって力に気づく辺り、可愛い人です。
天然ポンコツなあたりが……。

【丸谷】
キルケの悪役スペックの低さが！
あと本エピソードではリゼットのエロを入れねば！　という大事なミッションがあったのですが。

【上田】
あそこはコントシーンなんだと思いました。

【丸谷】
キルケが暴れるからなー。二つあるエロシーンの片方であるモビルアーマーのシーンでは、キルケのせいでなんかエロなのか笑いなのか分からないシーンに（汗）
あれよりブラカーシさんの機械にやられるほうがエロい。

【朝妻】
モビルアーマーのシーンはリゼットよりキルケの方が目立っているような……。

【丸谷】
残雪を放り込むだったのにリゼットを入れる羽目に……あっ、でも、この機械に閉じ込めておけば、リゼットが他の女の子に接触しないで済むじゃないですか！

【上田】
桐桐ちゃんがいるんですが……。

【丸谷】
まあ、あれも死体だから！
おそらく本編で桐桐ちゃんがいなくなっているのは、キルケの嫉妬のせいかと。

【朝妻】
キルケは黒幕ではあるが有能でもないというのが、このエピソードを通してなんとなく伝わるのではないかと思います。ぽんこつキルケ。ただし嫉妬パワーからの執念は凄い。
そして残雪の後輩にあたるトントンこと雨桐の名前が出ましたが、なにげに完全新キャラという。

【丸谷】
最初は、量産型一号っていう名前だったんですけどね。
個人的にはガン○レードマーチで台詞が二つ三つあって死ぬ戦車兵の女の子みたいな。

【朝妻】
上田さんにキャラデザを先行いただいていたのですが、結局どんな子になるのかはシナリオの初稿待ちでした。

【丸谷】
短い時間で印象に残って、ユーザーになるほどと思わせるという点を考えると、残雪さんの後輩ちゃんにするのがよかろうと。
そこから残雪さん生徒会長設定が爆誕。

【朝妻】
その方が残雪の脱走も、より説得力は増しましたね。雨桐との会話だけ妙に学園ものぽいです。

【上田】
一応普通の学園もの幼馴染元気系デザインにしました。

【丸谷】
上田さんのキャラデザがいろいろな意味でグーだったので。力が入りました。
設定が増える度に色々と奪われていく残雪さん、気の毒。

【朝妻】
いそうでいなかった素直＆元気系の後輩ちゃんに。そういえば雨桐といえば、前作のデジタル原画集に載っている特殊戦技兵一覧に『周雨桐』というキャラがいますが、こちらは姉もしくは妹なのでしょうか。

【丸谷】
いいえ、あいだに10年差がありますし、名字が違うので。それに雨桐って中国では人気のある名前らしいです。トントンちゃんは中国系月市民で、周雨桐さんは地球の中国人なので。

【朝妻】
赤の他人だった！　てっきり姉だか妹だかが後を追ってやってきたのかと思いましたが、謎が一つ解けてよかったです（笑）
あと残雪といえば、キャラハンが異様に執着してますね。みのりさんへの偏愛はなんだったのか……。

【上田】
あれはアジア系が好きってことかと……。

【丸谷】
あいつイエローが好きなんですよ。あと、自分になびかない女が。
そういう意味でも何重にも気の毒なキルケさん。残雪を堕とす通過点扱い。

【上田】
「わたしもああいう態度をとればよかったのか！」と後悔する辺りがポンコツかわいい……。

【朝妻】
探偵編や後ほど触れる『ちいさきものたちのゆめ』編を通してキルケさんの人気が上がってくれるといいなと願いつつ……！
キルケと残雪の2人による視点になったのは（ボリュームは増大しましたが）正解だったと思います。おそらくユーザーの皆さんが知りたかったであろう、あれやらこれやらを堪能いただけるのではないかと。

スタッフ対談１２

◆奈落

【朝妻】
では続いて短編ふたつ。まずイリューシャ編ですね。

【丸谷】
アイドルが転落するよくある話です。
しかも、徹頭徹尾売れないアイドルという。

【朝妻】
いきなりファンの皆さんに多人数プレイを強いられるというのはよくあるのだろうか……。

【丸谷】
エロマンガでは。

【上田】
これ、最初は本編でごっそり切っちゃったＣ．Ｃになって実験されるシーンを入れる予定だったんですけどね。

【朝妻】
そうですね、初期案ではＣ．Ｃ化する実験シーンを想定していました。

【丸谷】
個人的には、あのシーンはあまりエロくなさそうだったんで。
なんかエロいの書かなきゃ書かなきゃという強迫観念がすごかったんですよ。
ひとつくらい普通にエロい話がないとだめじゃないか、みたいな。

【上田】
個人的には出だしのインタビューがいいですね。
毎日裸の絵を描いたりしてると、一周回って服着てＨな発言してるところにグッとくる時が……。

【朝妻】
あそこは企画ものＡＶぽさと、イリューシャが開き直って覚悟決めたみたいに感じさせる流れになっているのがよかったですね。
過去編なので本来なら魔法少女コスは出せないのですが、そこはアイドル服がそっくりだったという逆転の発想で。

【丸谷】
着せないといけないんですよ！　使命！

【上田】
デザイン微妙に変わってるんですよ。スコープ？　とかビットとか外してあって。
立ち絵は使い回せるやと思ってたら、髪の色が違う！

【朝妻】
髪の色はそうでしたね（汗）
結果的に魔法少女コスエッチは達成できたので、上田さんの工夫に大感謝です！

【丸谷】
執着してるんですよ、叶わなかった夢なので。だから魔法少女コスも同じ服装に。

【朝妻】
イリューシャ、かわいそうな子……！

◆熱の檻

【朝妻】
では、もう片方のかわいそうな人こと残雪編です。
これはもう徹頭徹尾、丸谷さんの趣味で構成されているという。

【丸谷】
プロット自体は結構はやくできていたけど、今より長かった！

【朝妻】
実は残雪編が一番最後に上がったのですが、本当の本当に締切デッドラインギリギリで、自分はもうボリューム守ってくださいとだけ唱え続けていました……。
手足外されたり大変なことになっていますが、これが月ルートで語られた研究所のエピソードの補完ですね。上田さんの初期案にも含まれていました。

【丸谷】
そういうことです。
研究所の職員達に名前をつけてしまったら、ああいう話に。

【朝妻】
そうですね。最初はひたすら残雪がなぶられたあとで、復活して全滅ザマミロな予定だったのですが。エロシーンというより拷問シーンメインというか。

【丸谷】
アレ書くのに色々調べましたが、水を抜かれると人間弱いっすねー。
合理的に拷問するとロマンないですわ。二次元ドリーム的な変身ヒロインも、エロ拷問より水抜きのほうが効率ええで。でも個人的には「締切厳守で短くしろ！」の圧力のおかげでできたお話。

【朝妻】
違いますよ「適量にしてください」ですよ本当ですよ！　でも結果としてあのラストシーンになったのは大変よかったと思います。
あと、初期プロットではどう計算してもイベントCGが1、2枚オーバーするので、どうしましょうと上田さんに相談していました。
実際に描かれたイベントCGも、特殊戦技兵装を展開途中段階にするとか義手外すとか、絵的にカロリーかかるビジュアルになってしまいましたが。

【上田】
体の欠損が全部右側なので、絵でそれを見せようとすると表情も目が傷しか見えなくて、絵のバランスにちょっと困るキャラでしたね。無くすのを適当にバラければよかったかなとか。
『續・月軌道会戦』で、バランスよく取っちゃいましょうみたいなネタになっていたので良かったですが。

【朝妻】
なるほど、そんな盲点が（汗）
それを感じさせない絵に仕上げていただき感謝です。

◆熱の檻

【朝妻】
こちらは、いわゆる紐水着回です。アニメによくあるような、ほんとに何の捻りもない水着でキャッキャウフフさせつつ、G14三人組の出番を救済しようというエピソードだったはずなのですが。
ちびリゼの観測視点が加わり、ある意味本作を通してのターニングポイントになるエピソードとなりました。

【上田】
完全に門外漢なので、明るい萌ゲーを数多く手がけられたお二人にお任せしました（笑）

【朝妻】
ここだけPULLTOPタイトルを開発していたころのような気分に（笑）
スクリプトも、長らく一緒にお仕事していた御剣ヒロさんにお願いしています。
紐水着編と探偵編だけ、いわゆる萌えゲー的な演出になっているのは意図的なものです。

【丸谷】
なんの問題も闇もない唯一のはなし！　スイカ割りだしね！

【朝妻】
実質、七虹が主役のエピソードですね。七虹も救われたんや。

【丸谷】
あんまり深く考えずに書けた気が。軽すぎてこれで大丈夫か、とは思いましたが。

【朝妻】
あと、このエピソードについて上田さんと話していた際に、そういえばこんな展開に似合う曲は前作にないのではということに。

【上田】
明るい日常曲が存在しないゲーム、消耗戦線。

【朝妻】
本当になかったという……宮内さんに新曲をお願いすることになりました。

【上田】
探偵は枠を２曲持っていきましたけどね（笑）
あと、延々と語られていた紐水着がようやく絵になったという意義のある話です。

【朝妻】
これまでイリューシャが散々ネタにされていましたが、3人仲良く揃って紐水着。

【上田】
プレゼント用色紙で世界に1点だけイリューシャ紐水着の絵はありますけどね。あれはあれでまた別ということで。こっちはお揃い仕様。

【朝妻】
おお、そうだったんですね。

【丸谷】
ヒモヒモ言ってましたからね。
実はヒモよりエグいことをやらされていたわけですが。

【朝妻】
イリューシャは紐水着のプロなので……！
いわゆる箸休め的なエピソードではありますが、以降の展開にも影響を与えるという大事な要素も含んでいる、よいアクセントになったのではないかと思います。

【丸谷】
うまく繋がってよかった。

スタッフ対談１４

◆ちいさきものたちのゆめ

【朝妻】
さていよいよ隠しルートともいうべきエピソードですが。開発中はクーデタールートと呼ばれており、本作を締めくくる物語として用意されたものになります。
元々はイリューシャが８月侵攻で別の行動をとっていたら……のIFから生まれたお話でしたよね。

【丸谷】
前作でも、イリューシャが別命を受けていることは示唆されていたので。

【朝妻】
そうでしたね、最初に案を伺ったときはもう少しコンパクトなお話になるのかなとも思いましたが、いつの間にか魔法少女消耗戦線そのものを締めくくるようなスケールに。

【丸谷】
光の巨人は使わないとね、というのがあったし。

【上田】
最後のまとめとして、こういう話があるのは良かったです。
ただ短編集が散らばってるだけだと、なんとなく取り留めないですし。

【朝妻】
そうですね、ある意味ファンの皆さんも見てみたかったであろう共闘や和解も含まれる、夢の展開となったのではないかと。

【丸谷】
最初は関係者をなるべく全員生き残らせて、かつ特殊戦技兵達の手で決着をつけるという漠然とした考えしかなかったんですけどね。

【朝妻】
元々、丸谷さんの構想として第3のエンディングとなるべき物語があり、そこにちびリゼットの観測及び介入という本作の構造を活かした視点が入り、さらにプロットを進めていく段階で女神合体（仮称）が加わったという。

【丸谷】
うーん、第3のエンディングというほど明快な構想ではなかったですね。ただ、あの時、初年度兵達が撤退を完了していたらどうなっただろう……というのは頭に残ってはいました。

【朝妻】
なるほど、あくまでIFありきだったのですね。
そして合体といえば、リゼットとみのりが合体する時点で「えーあーこれどうするんだろ……」と上田さんに相談した記憶があります。

【上田】
光の巨人だから、そのまま2倍にふわっと強そうならいいんじゃないのかなくらいの発想しかありませんでした。

【朝妻】
いつの間にか二段階変身することに。

【上田】
前作の時は、予定にない絵だけど、どう考えてもないと間が持たないので、大急ぎででっち上げました。で、今回はそのでっち上げタッチのままでバージョン違いが……。

【丸谷】
失楽園との戦いについては何も決まってなかったので、最後までどうすればいいか色々迷ってました。
さらば宇宙○艦ヤ○トみたいにキルケが特攻するなんてことも、ちらっと考えたりしてました。

【朝妻】
ラスト周りの展開は何度か改訂が入っていて、最初はキルケが捨て身で失楽園を葬りつつ皆をカテドラルまでワープさせ、そこからの脱出でしたね。

【丸谷】
そうそう。最初からキルケとキニスンは死ぬ予定だった。ついでにブラカーシ先生も。

【朝妻】
そして次のバージョンでは魔法少女たち全員で光の巨人に合体。
この時点では、あくまで物理的な力での勝利な予定でした。

【丸谷】
この時、一瞬だけ『あ、これならキルケも生き残らせられるかもしれない……』と思って相談した記憶が。

【朝妻】
ありましたね。キルケも一緒に合体しちゃおうか、でもそれは許されるのかみたいな悩みが。そこで上田さんより、少し方向性を変えたらよいのではという意見をいただいた記憶があります。

【丸谷】
最終的なエンディングは、書いているうちにああいう展開に落ち着いたという感じに。
単に宝石泥棒がたくさん出てくるじゃ、本編のキルケメカvs失楽園と変わらんなーと。

【朝妻】
それは確かにそうですね。

【丸谷】
今ふり返ると、前作の対失楽園戦って結構あっさりしてましたね。
まぁ完全状態のキルケメカがそれだけ強かったんですが。
今回は前作と違って、部品であった男性士官達がごっそりありませんから。

スタッフ対談１５

【朝妻】
なるほど、未建造であったがゆえの差が。天使ルートでは確かに比較的あっさりと失楽園が倒される印象がありますが、一方で「キルケ／人造魔法少女もいずれ自分より強大な相手に遭遇して滅ぼされてしまうのだろう」とあったのが印象に残っています。
ＳＦぽいなあと。
そして話をやや戻しますと、ラストの「手を繋ぐ」という展開は、いわゆる物理的な合体に対して魂の結びつきみたいなものの方がよいのではという上田さんの意見があり、それが天使ルートにてみのりが顕現した力にも繋がるとなったのを覚えています。であるならば、死者とも繋がれるはずなので、アリシャたちやキルケも補完できるなと。

【丸谷】
それに本編では、キルケが蹂躙するように失楽園を破壊するのと、みのりちゃんたちがキルケを静かに収めるという対比もあったんで。

【朝妻】
確かにトーンの違いがはっきりと出ていましたね。

【丸谷】
あの『手をつないだ』というコンセプトを思いついた瞬間、『これは書ける！』と思いました。手をつなぐ、というのは双方の関係がないとできないじゃないですか、そこがいいなと。

【朝妻】
なるほど、それが魔法少女たちだけではなく、Ｃ．Ｃすなわち、おおいなるものも含まれ、メインアンカーの真意に繋がっていくと。魔法少女消耗戦線がファーストコンタクトものであることは、なんとなくは示唆されていましたよね。

【丸谷】
メインアンカーはね……ずっとふわっとした設定で『なんかむかしむかしの文明の遺跡』みたいな感じだったんですが。

【朝妻】
前作でも何度か名称は出てきましたが、実はユーザーの皆さんもよくわからないブラックボックスみたいな印象を受けておられるのではないかと思います。

【丸谷】
前作を書いている時は、冥界宙域とあわせて漠然と『捕獲装置なのかな……』くらいなイメージで。
失楽園＝おおいなるもの　も何かに捕獲されて観察されている、みたいな。ただ、それ以上は余り考えてなかったんですね。

【朝妻】
では今回のお話を執筆するにあたって、丸谷さんの中でも答えが出た形でしょうか。

【丸谷】
そうですね。ああ、こういうことだったのか、みたいな。
まぁでも、話は違いますけど、クーデタールートを書いていて『特殊戦技兵初年度兵の名前と出身地全員決めておいてよかった！』と思いました。

【朝妻】
結果的に手を繋ぐという展開によって、メインアンカーの真実も描き出せたのでベストだったと思います。
このお話は冒頭から大半が戦闘シーンで構成されていて、スクリプトを担当いただいた上田さんにも多大なご苦労があったのではないかと思いますが、ラスト周りは一転して穏やかな流れになりましたね。

【丸谷】
やっぱりみのりさんで終わらないと。

【上田】
スクリプトは今絶賛入れ込み中で終わってないです。皆さんがこれを読んでいるということは無事に完成してるのでしょう。ドキドキしていただければ幸いです。

【朝妻】
うおお、よろしくお願いします……！

【上田】
宇宙で立ち絵を使わないという縛りなんてやらなきゃよかったという後悔も（汗）
なんか360度空間に立ち絵って変じゃないですか？　という発想で安易に決めちゃった……故にほぼずっと戦闘してるクーデター編は大変ですね。前作の８月侵攻も逃げようかと思いましたし。
でも入れていて楽しくなる展開が多いので、やり甲斐を感じつつがんばってます。

【朝妻】
前作と比較しても、最も演出的にハードな展開になりますからね……ここは上田さんしかできないところなので、大変ありがたいです。よろしくお願いしますー！

【丸谷】
そういえば、私がエロゲーでがっつり集団戦闘シーンって書いたのは『魔法少女消耗戦線』が初めてかも。
今までは戦闘シーンがあっても、参加人数はヒトケタでした。

【上田】
最近だと、私はだいたいどこかしらかに戦闘がある作品しか関わってない気がします。

【丸谷】
上田さんの絵には、戦闘がよく似合っている気が。

【上田】
似合ってるかどうかはわかりませんが、モンスターを描く機会があるのは嬉しいです。

【丸谷】
アリシャがメチャクチャパワーアップしてるのもモンスター枠？

【上田】
モンスター枠ですね。
前回のは一般ゾンビを最低限改造しただけの手抜き版なんで直せ

てよかった。
と言いつつ、直したの顔だけですけど。

【朝妻】
Ｃ．Ｃのエースといった雰囲気でおそろかっこよい感じに仕上がったと思います。アリシャといえばキバキとの決着は、シーンの流れも相まって静かな感じにする絵となりましたね。

【上田】
ちょうどさっき、そこのシーン組んでました。
なかなかエモい（死語か）感じになったんではないでしょうか。
キバキも声がついてよかったね。

【朝妻】
そうですね、最初は音声は入らない予定でした。Ｇ０２の皆さんも……！

【丸谷】
あの辺の展開は、アリシャ編があってこそなので。アビゲイルさんのサンダーがねー。

【朝妻】
アリシャ編からはじまった本作ですが、諸々をまとめ上げる形で本エピソードにたどり着くことができ、集大成的なものにできたと思います。ユーザーの皆さんも楽しんでいただければ幸いです！

◆シリーズを振り返り

【朝妻】
では、お二人にとって本シリーズを振り返っていただくということで、印象に残ったシーンとお気に入りのキャラについてお伺いできればと。

【丸谷】
お気に入りのキャラは難しいですね。ポッと出てきたキャラも結構お気に入りになったので。

【上田】
みんなよい。

【朝妻】
お二人にとっては、ある意味全員何らかの思い入れがあるでしょうからね。
印象に残ったシーンの方はどうでしょう。

【丸谷】
自分で書いておいてなんですけど、サンダー。
アビゲイルさんって、正直、能力的にはかなりアレな人なんだけど、あそこでなんかキャラとしては爆上がりしたんですよ。

【朝妻】
（激しく首を縦に振る）

【丸谷】
おそらく特殊戦技兵のネームドキャラのなかでは、一番戦力として低いんですけどね。

【上田】
億単位で人が死んでいく天使ルートのラストとか。

【朝妻】
あそこは凄いカタルシスですね。なんか規模が大きすぎて、ひたすらうおーと思いながらテストプレイしていました＞天使ルートラスト

【丸谷】
あ、前作もいいのか！
前作なら「特殊戦技兵はもういない、でも魔法少女はここにいる」かな。

【朝妻】
前作も全然ありですよ。

【丸谷】
あと「リゼットリゼットリゼット！」ってキルケが絶叫するところ、バカだろうお前、でもわかる！　みたいな。

【朝妻】
キルケの気持ちが理解できるユーザーさんも多そうですね（笑）

【上田】
つまんない理由なんですが、あの辺り戦闘が多くて「スクリプトがしんどい！」という思い出しかないんですが、作戦司令室のキルケパニック劇場シーンになると組むの楽なんですよ。それであのポンコツさを見せられて、あー救われたな……という思い出。

【丸谷】
事態が予想外の展開になると、全く無力になるキルケさん。

【朝妻】
黒幕が正体を現したかなと思ったら案外パニくるシーンですね。
キルケさんは今回地味に出番も多いですし、ポンコツキャラとして愛して貰えればといいなと思います。

【丸谷】
あとシナリオとしては、熱の檻の最後とか、それよりも好田さんって竿役を書いてしまったところかな……あれはまぁ色々。それにリゼットとみのりが合体するところもかな。

スタッフ対談１７

【朝妻】
丸谷さんは、ちょっと絞り切れないくらいありそうですね。

【上田】
あえてキャラのお気にいりを一人選ぶならイリューシャですかね。
なんでアイドル時代にあの子が売れてないのか理解できない。よほど歌と踊りが壊滅的なんでしょうか。それでもドジっ子属性で生き残れるはず……。

【丸谷】
おそらく単に運が悪かったり、事務所が悪かったりしたのだと思います。

【朝妻】
なるほど、不幸属性だったのか……。
普通に考えると売れそうですよねイリューシャ。気が利くので重宝されそうですし。

【上田】
変な事務所にスカウトされちゃったか……たしかに酷い事務所だった。

【丸谷】
結局は最後、運ですよ。

【朝妻】
イリューシャといえば、みんなのトラウマ首刎ねシーン。
「いま殺しちゃったよおおおおお！」

【上田】
七虹のセリフが真っ当すぎておかしいんだけど悲しいやつだ。

【丸谷】
七虹さんはね。個人的にはいちばんフトゥーなんですよ。あの子も、例えば学生時代にイリューシャとかみのりと会ってたら、あぁならなかったかも。

【上田】
悟じゃなくてもっといい男にあってれば・・・

【朝妻】
『ちいさきものたちのゆめ』で悟と別れる発言してくれたので安心しました。

【上田】
別れる発言は前作の月ルートでも一応。
根本的に変革が無いと別のダメンズに引っかかってそうですね。

【朝妻】
なんとかバンカーあたりで……あっ死んでた。

【丸谷】
まぁ精神共有してるので、誰かに依存する必要が激減したから大丈夫かと。

【朝妻】
それを聞いて僕も、そしておそらくユーザーの皆さんも安心しました（笑）
ちなみに、自分も語ってしまってよいのでしょうか？

【丸谷】
どうぞー。

【朝妻】
ありがとうございます。やっぱりシーンはサンダーですね。なにあれずるい、くらいの勢いで。あそこは絶対印象に残るシーンになるので、やはりイベントCGが……と結構駄々をこねました。
ディレクターが私情に走るのよくない、ダメ絶対。
あと、キバキがアリシャを『救ってあげた』あと、髪の毛を指に結ぶところがとてもお気に入りです。

【丸谷】
あそこねー。赤毛だし綺麗かなと。

【朝妻】
指に結ぶあたりが、なんかこう縁（えにし）っぽいなと。いわゆる百合ともちょっと違うような。赤い糸ではありますが。

【丸谷】
なんというか、エロゲーというのは変なジャンルで、構造的に出てくるのが女の子ばかりなので、横のつながりを書くとああいうのはありかなーと。

【朝妻】
それまでと一転して静かなことも相まって、大変印象的なシーンでした。
そしてお気に入りキャラは、はいアビゲイルですね。常に怒っているあたり、余裕がなくてとてもいい感じです。作中では描かれないですが、あの気位の高いアビーさんもキャラハンたちにガンガンやられてしまっているわけなので、さぞかしぶっ殺してやると言わんばかりに睨みながらなんだろうなと思うとグッときます。

【上田】
マグロだのなんだの言われてるのが不憫です。

【丸谷】
マグロで下手とか言われて……。

【朝妻】
感じてるフリすらできなさそう（だがそれがいい）

【丸谷】
初年度兵達の中で、唯一ほんまもんのお嬢さん。

【上田】
そういえばちょっと聞きたいことがあったんですが、性感開発が必要なら、基本一人Ｈを推奨するとか、女の子同士とか、そういう方法を提案すればキニスン司令は通したのではないか……と思うのですが、そこは。

【丸谷】
あれは、キルケの悪意でしょう。
自分もあんな酷い目にあったんだから、お前らも！

【上田】
なるほど。一人Ｈ＆百合Ｈですむなら、このゲームの雰囲気も大分明るくなったのになあと思ったり。

【丸谷】
だってお前らは、機械に入ってるとはいえ、リゼットと一緒に戦えるじゃない！

【上田】
だいたいキルケと悟のせい……。

【丸谷】
それに男性士官を通じて、女性をコントロールできますしね。

【上田】
イリューシャあたりが進言しても、裏で手を回してそうならないようにしちゃうかー。

【丸谷】
もし、キルケがもっと頭良くて自信家であれば、別の方法もあったんでしょうけどね。
それに、男しかコントロールできないというのもハンディでしたし。

【朝妻】
実際の戦力としては特殊戦技兵の方が男性士官よりはるかに上ですしね。
男性上位にしておく必要があったと。

【丸谷】
だから完全な支配下にもおけないんですよ。

【上田】
キルケが普通の特殊戦技兵のままでいられたら、残雪あたりがとっくに改革して女性だけの基地になってそう。

【丸谷】
キニスンの能力も大幅に残さないといけないし、ある意味、信頼出来る味方は性格破綻者のブラカーシさんしかいないし。
だから脅威は徹底的に抑圧するしかない。しかも準備が出来るまでＣ．Ｃに負けるわけにもいかないという。キルケ視点で見れば、めっちゃ孤独な戦いですね。

◆おしえて！　消耗戦線

【朝妻】
ここからは、公式サイトでユーザーの皆さんから募集した質問から幾つかピックアップして、お二人にお伺いしようと思います。
ご質問お送りいただいた皆さま、ありがとうございました。それでは早速いきますね。

◆◆Question!!
今後グッズ展開で魔法少女達の抱き枕カバーを販売しませんか？
とてつもなく欲しいです。

【上田】
あったらいいですね。会社に要望を出しましょう！

【丸谷】
抱き枕はほしいですね！
だが、あっても使わないのが抱き枕。というか飾ってる人ですら少数派なんだろうなぁ。

【上田】
うちにあるのはそのまま畳んで置かれてますね……。

◆◆Question!!
お気に入りのキャラ教えて～

【朝妻】
これは先ほどの対談内容と被りますが、あえて1キャラ選ぶならということで。

【上田】
一応イリューシャで。

【丸谷】
１キャラかぁ。男ならブラカーシ（判断はやっ！）
女なら……うーん、僅差で残雪さんかなぁ。

【朝妻】
僕はアビゲイルちゃん！

◆◆Question!!
率直に、DeadΩAegisの意味と、このタイトルになった理由とか。
おしえて！！

【上田】
私の場合、タイトルは最初にポンと出てこない場合、なかなか決まらなくなるのですが、今回は全然決まりませんでした。
苦し紛れにそれっぽい単語とか響きとか厨二感でいろいろ出して組み合わせました。
背水の陣で戦う戦士っぽいかなとか。あとΩ好きなんでここに厨二感を込めました。

スタッフ対談１９

◆◆Question!!
バンカーちゃんはとても軍人さんなんてやるような性格じゃないように見えますがどうして軍人さんになれたのでしょうか？
（性欲の力？）

【丸谷】
結局、男だってほぼ帰って来ないわけで。あそこに送り込まれる人たちは、参謀を除けばろくな人間じゃないんですよ。
おそらく、カテドラル枠的なものがあって、かなり問題がある士官でも送り込まれてしまうのでしょうね。

【朝妻】
キャラハンを見ていると説得力があり過ぎますね。ということはバンカーも、なんらかの問題児だったと？

【丸谷】
バンカーさんは就職口がなくて、ただで入れる国営の教育施設が軍隊だったのでは。
そのまま卒業後は一般に出ようと思ったら、不運にもカテドラル送りに……。

◆◆Question!!
マーママーマ！質問よろしい？
キニスン司令はなんであんな体型なの？
あとなんであんなぬいぐるみ作ってしまったの？
採算とれたの？

【上田】
ぬいぐるみについては会社に訊いてみましょう。
私はおそろしくて聞けません……。

【丸谷】
キニスンですが中身はＣ．Ｃですし、デスクワークばっかりやってるからです。
それに、おそらくストレスが溜まっているのでしょう。

【朝妻】
デスクワーク太りだった……。

【上田】
身に染みる……。

◆◆Question!!
エマの好きな映画！これは聞きたいですね。
あの子は天使ルートで途中からフェードアウトしてしまいましたが、どのような物語を辿ったのですか。
最後には彼女は救われたのでしょうか……。
これからも消耗戦線を展開していくご予定はありますか？
彼女の物語も見たいです。

【丸谷】
なぜか、地味に気にする人が多いエマさん。

【朝妻】
一言も台詞がないのに、なぜか結構名前のあがるエマさんですね。

【丸谷】
彼女は、芸術とか文芸っぽい映画よりも、アクション映画や恋愛映画が好きです。
『ダイ○ード』とかは間違いなく好きでしょう。
『マッ○マックス　怒りの○スロード』とか。

【朝妻】
『バッ○ボーイズ2バッド』とか『イ○ライザー』も好きそうですね。

【上田】
うっかり『ス○ーカー』とか借りてきて寝る奴。

【朝妻】
タ○コフスキーは睡眠導入効果があるので……。

【上田】
あわてて起きても同じシーンが続いてるから大丈夫です。

【丸谷】
そうそう。タ○コフスキーとかはだめでしょうね。
ヒッチ○ックは好きそう、ペ○ンパーとかも。
『七○の侍』『用○棒』あたりも好きでしょう。
ただ『市○ケーン』とかも好きそう。

【朝妻】
エマの辿った運命というのは、どうなんでしょう。

【丸谷】
八月侵攻は生き残ってます。その後は天使ルートでも、月ルートでも、キルケに取り込まれています。
彼女の造っていた映画同好会みたいなのは、七虹のジェントルマン組織より少し早い時期に崩壊してるので。あとは家畜化されて映画を見る時間も奪われて、牝として尊厳を剥奪されていたかと。
ただ、彼女は、みのりをいじめていたりはしないと思います。他人に関心がないので。

【朝妻】
なるほど、では彼女もまた本作で救済された形ですね。
これからの消耗戦線の展開については、いかがでしょう。

【上田】
とりあえずはFDが出てから考えようと思います。

◆◆Question!!
如月七虹の好きな『女の子症候群』はどんな話ですか？
また、ジャンルは何ですか？（少女漫画と予想）

【丸谷】
少女マンガです！　ちょっとドジな女の子の恋のドタバタです。
本人はイケてないから頑張るのですが、なぜかそれがモテモテ。
次から次へと男に惚れられるのですが、本人は気づかない。

もちろん、本命の男も彼女に惚れているのですが、こいつはこいつでクールをこじらせて態度を示さないので、彼女は嫌われてると思っているのだが、でも負けない！　みたいな。

◆◆Question!!
ぶっちゃけお嬢はレズビアンですか？
リゼットとキルケに対する感情が
明らかに友情を超えているように見えるんですが……

【丸谷】
でも二人と肉体的な関係はないです。

【朝妻】
残雪は全編を通して、あまり恋愛感情的なものを見せなかった印象があります。

【丸谷】
彼女は異性愛者である可能性が高いかと。
困っている人や、困った人を放っておけないタイプで、人を嫌いになるよりも、どっかで妥協点を見つけて双方があまりイヤにならない関係を造ってしまうタイプなんですよ。
だから、あんなキャラハンともそれなりにうまくやるし（相手には勘違いされてますが）、生徒会長とかにもされてしまうんですよ。
そういう彼女から見ると、リゼットとキルケは戦友でもあるし、キルケは精神的にちょっと危ない状態だしで、メチャクチャ放っておけないですよね。

【朝妻】
恋愛というよりは身内の面倒を見ている感じですね。

【丸谷】
そうですね。彼女はひとこと『情が濃い』ですね。
現代社会では確実に貧乏くじをひくタイプ。しかも有能なので余計に。

◆◆Question!!
天使√エンディングの世界観が非常に自分好みで気に入っているのですが、あの世界観でリゼットや残雪を主人公とした続編を製作する予定はないのですか？　かなり面白そうな世界観なので何事もなく終わらせるには勿体無い気がしてしまいますが
しかしあの世界、あのまま死者が無尽蔵に増えていっては、いずれ死者の霊魂でパンクしてしまうのではないかと、つまらないことを危惧してしまいますが、その辺りどうなのですか？

【丸谷】
おそらく、ある程度、恨みのある生者に影響を与えたり（破滅させたり）したあたりで、声は聞こえなくなるのでは。それに、あれは霊魂というよりは、刻み込まれた残留思念に近いかなと。霊魂という意味では『ちいさきものたちのゆめ』のエンディングでてくる死者達の方が霊魂に近いと思います。
ああいう世界であえて犯罪をする、というミステリーはありですね。テレパシストの捜査官がいるのに完全犯罪を実行しようとする犯人とテレパス捜査官の攻防を書いたＳＦもありましたし。
ただ衝動的な殺人はなくならないでしょうね。

◆◆Question!!
もしよろしければリゼット・残雪・キルケの馴れ初めの話を聞きたいのですが……お願いします
そういえば悟と七虹はどういった馴れ初めなのでしょうかね？

【丸谷】
リゼットとキルケは幼なじみ。残雪とは士官学校で出会いました。班を組まされたのが馴れ初めです。ふたりを受け入れてくれた珍しい人間であった残雪に、リゼットとキルケが心を許し、残雪もいろいろアレなふたりが（主にリゼット）が放っておけず、３人で行動することが多くなった感じです。

【朝妻】
出会いの時点から残雪の苦労が始まっている感がありますね。
七虹と悟はどうでしょう。

【丸谷】
遊びにいった先でひっかけられたのでしょう。

【上田】
ちょろい……。

【丸谷】
悟にとっては七虹は金づるのひとつでしかないです。ちなみに悟が裏で純愛とかしてて、その相手には金を注ぎ込んでいる、とかはないです。

【上田】
彼にいいところはないのかな……。

【丸谷】
顔とペニス。あとテク。

【朝妻】
さすが人気投票最下位の男。やはり悟は死ぬべき。

◆◆Question!!
とても面白い作品でした！
ところで、どうして魔法少女モノを作ろうと思ったのか…キッカケ？
的なものがあれば教えてください！

【上田】
企画誕生の経緯でも触れましたが、まず見た目華やかな要素が欲しかったので、アイドルか魔法少女のビジュアル要素を入れようと思いました。アイドルは以前作ったので、今回は魔法少女だなと。魔法少女というより戦うヒロインものになってしまいましたが、そっち系も結構作って来たから、僕の好みでもありますね。

【朝妻】
最初に前作をテストプレイした際、思っていた以上にバトルものだったので驚いた記憶があります。

スタッフ対談２１

◆◆Question!!
イリューシャちゃんの好きなタイプを教えてください。
性別は問いません。よろしくお願いします。

【丸谷】
イリューシャは公正に自分を評価して見てくれる人が好きです。容姿はあまり関係ありません。おそらくアイドルの時に組んでいた二人も、グループだからではなく、イリューシャをちゃんと見てる人たちだったのでしょう。

◆◆Question!!
私はおおいなるもの萌えなのですが、おおいなるものの声を演じてらっしゃる演者さんはどなたですか？

【上田】
柏木逢花さんです。

【朝妻】
おおいなるものとキルケが同じ方というのも、なかなか感慨深いものがありますね。

◆◆Question!!
光臣とキルケは実はNTR属性持ちでしょうか？
普通は耐えられないと思うのですが。
キルケもリゼットを男たちに差し出して仕方ない、とあっさりした態度。
光臣なんて親戚にもみのりちゃんをヤられてますし、そのことで揉めたりはしなかったのでしょうか？

【丸谷】
光臣は内心イラッときたから、バーゲンホルム氏を恫喝してたんだと思いますよ。
それに光臣は、自分がみのりさんをあそこまで好きだとは判っていなかったんだと思います。だから、カテドラルへ行かせてしまったんでしょう。
キルケはね。とにかく、Ｃ．Ｃ倒して地球のゴミも皆殺しにしないと未来はない、と考えていたんで、少しでも早くそれをするために、ああするしかなかったんでしょう。ちなみにリゼット自身には、接待した記憶は全くないです。

◆◆Question!!
ヒロインたちがどのような家庭、環境で育ったのか知りたいです。
特にななちゃんの悟愛はご両親にどう思われてるのか、だとか破天荒なリゼットの親はどんな人だったのか、とか。
裏設定ありましたら教えてください。

【丸谷】
七虹の兄には、悟はダニのように嫌われています。
ただ、両親は不仲です。子供達に大して関心がありません。七虹が選ばれて旅立ってのちインタビューでも受ければ、いい家庭ぶりっこをする、そんな両親です。

【朝妻】
あの笑顔の裏にそんな家庭環境が……なかなかに生々しい。

【丸谷】
あとリゼットの親は放任主義です。あれだけ多量の映像ソフトを見ているあたり、その放任っぷりが伺われます。小さい頃からあいう作品ばかりが友達だったのでしょう。リア友はキルケ。ひとりあそび大好き、それがリゼット。ただ家は金持ちです。

◆◆Question!!
キャラハンさんって結局みのりのことLOVEなの？
お嬢はリゼットのことLOVEなの？

【丸谷】
キャラハンはみのりのことラブです。FDをやると分かることですが。彼は、自分に屈服しない女が大好きです、それが黄色人種ならもっとこだわってしまいます。
お嬢はリゼットを親友という意味ではラブです。ですが、リゼットとキルケをセットで考えている割合が高いです。

【朝妻】
本作ではえらく残雪にご執心でしたしね。キャラハン。

◆◆Question!!
ルドンの目が数年後宝石泥棒という別名で呼ばれるようになった訳は？

【丸谷】
ルドンの目は、最初期の仮称。月を人類の手から奪ったので『宝石泥棒』と呼ばれるようになったと。

◆◆Question!!
メタヲ先生、丸谷先生、朝妻先生お疲れ様です！！
6月24日を心待ちにしているファンです。
リゼットについてたくさん知りたくて、1番は自我がある時に男と性交はしたのかどうかです。
（リゼットの裏設定や性格についてポロリ溢して頂ければと思います。）
宜しくお願いします！！

【丸谷】
リゼットは、自分の意志で多人数としたことはありません。あれはキルケとキニスンのブラフです。仕掛けている側に立てば「リゼットもああしていた」と言えば、みのりみたいなタイプは受け入れるという計算はあったでしょう。

◆◆Question!!
アリシャというダークホースが出てきた今！
今こそヒロイン達の中で誰がおっぱいが大きいのか大きい順に教えて下さい！
天使編の天使みのりや転生後のリゼットを含めた全キャラを戦闘力順に並べるとどういう並びになるかも知りたいです！

スタッフ対談２２

それと冊子詳細出ましたけど、こういうモブキャラたちの掘り下げ大好きです！　今後またこういうのやってくれたりはしませんか？

【上田】
おっぱいのサイズについて。
『キルケ＝アリシャ＝七虹＞みのり＝リゼット＞残雪＝イリューシャ』です。イベント絵だとつい大きくなるんで嘘つきと言われるかもしれませんが、絵の指針はこれです。

【丸谷】
戦闘力は
『リゼット＞（越えられない壁）＞残雪＞みのり＝イリューシャ＝七虹＝強行偵察部隊メンバー＞（越えられない壁）＞
一般的な特殊戦技兵＞キルケ＞＞＞＞＞アビゲイル』

【朝妻】
アビー涙目。

◆◆Question!!
メタヲさんが魔法少女消耗戦線のヒロイン達にヘヴィメタを勧めるとすれば何を勧めますか？

【上田】
まず私の好きなラウドネスの魔界典章を全員に聞かせて適性を見ます。

◆◆Question!!
ずばり続編の可能性はありますか！？

【上田】
どうでしょうねえ、そういう流れになったら。
今はＦＤやってね。

【丸谷】
こればかりは反響次第ですかね。
ただねー。個人的に直接つながる話は見当がつかない。どのルートもキレイに終わってるんで。あと隙間っていったら、ちびリゼットが降りてくるまでの残雪さんくらい？
他の特殊戦技兵の話も書こうと思えば書けますけど、どうせみんな死ぬ！

【朝妻】
個人的な意見ではありますが、大きな物語としては本作で一区切りついたのではと思います。今後については皆さまの応援と売上次第ということでひとつ……！
それではお二人とも、本日は長時間ありがとうございました。

【丸谷】
ユーザーのみなさまへ。
『魔法少女消耗戦線ＦＤ　ちいさきものたちのゆめ』を購入してくださってありがとうございます。プレイした後なら（この対談、プレイ前に読むと面白さがそれなりに減ると思う）、満足して貰えてると嬉しいです。
それなりに売れて、またmetalogiqからお仕事が来るといいなぁ。

【上田】
前作本編のことはもうほとんど忘れてたんですが、今日話してたら色々思い出してきましたね……。
そして今この瞬間もテスト真っ最中の「ちいさきものたちのゆめ」ですが、前作と合わせて楽しんで頂ければ幸いです。
ありがとうございました。

特殊戦技兵一覧（『怒りの日』作戦　参加者）１

★印は『２１０９年冥界宙域戦闘第３０９号（２１０９年危機）』における
強行偵察部隊メンバー。

・Ｇ０１
ガブリエラ・ナシメント・レイチ　（突撃前衛　ブラジル）
★オリビア・グレゴリー　（重装後衛　北米）
★アディラ・イシャーン・シャストリ　（射撃後衛　インド）

・Ｇ０２
フーシン、胡杏　（突撃前衛　中華）
ワンジャイー、王佳怡　（重装後衛　中華）
サラ・スナイダー　（射撃後衛　北米）

・Ｇ０３
★チュジュェラン、朱菊蘭　（突撃前衛　中華）
アヴィン・コルダフェシャリ　（重装後衛　イラン）
アリアナ・エリオット　（射撃後衛　北米）

・Ｇ０４
アマンダ・ロジャース　（突撃前衛　北米）
ファモンファ、何夢華　（突撃前衛　中華）
ツァオチュン、曹純　（重装後衛　中華）
アシュレイ・ペイン　（射撃後衛　北米）

・Ｇ０５
リーッタ・レイノネン　（突撃前衛　フィンランド）
納田春菜　（射撃後衛　日本）
マルヤム・マハマド・ハシン　（重装後衛　マレーシア）

・Ｇ０７
ソフィア・キャロル　（突撃前衛　北米）
エリザベス・タッカー　（重装後衛　北米）
ゼルマ・レーヴェンタール　（射撃後衛　ドイツ）

・Ｇ０９
★アモンディ・キバキ　（突撃前衛　エチオピア）
スルマ・チュンピタス　（突撃前衛　ボリビア）
ソリナ・ドゥミトレクス　（射撃後衛　ルーマニア）

特殊戦技兵一覧（『怒りの日』作戦　参加者）２

・G１０

ヴァネッサ・バダンテール	（突撃前衛　フランス）
★ハンシェンメイ、韓神美	（重装後衛　中華）
エマ・キーナン	（射撃後衛　北米）

・G１１

ヂォンシュエイジン、鄭水晶	（突撃前衛　中華）
アリッサ・ライリー	（重装後衛　北米）
シュユーチェン、徐宇春	（射撃後衛　中華）

・G１４

★飯塚みのり	（突撃前衛　火星）
★如月七虹	（重装後衛　日本）
★イリューシャ・ペトロヴナ	（射撃後衛　ロシア）

リゼット・オージュロー	（フランス）
キルケ・ベルンハルト	（※『大鴉』操縦者　ドイツ）
麗残雪	（月）



編集・文責：上田メタヲ/朝妻ユタカ　協力：丸谷秀人　メタロジック